中西部 ヤングサッカーニュース 1990 1

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

平成３年 高校総体に向かって



中西部高校部長
河村　駿

平成二年ともなりますと、平三総体まで一年半ということになります。県下の高校を上げて、一人一役運動がもう始まろうとしています。又各会場近くの中学校も練習会場として協力態勢に入っているようです。

過日も中央よりサッカー会場となる四つのグランドを視察にまいりまして、すべてOKであると、おほめのお言葉をいただきました。平成二年度から平成三年前期にかけて会場内及び会場周辺の環境整備等を終了させる準備が進められております。今現在決定しております日程及び会場等をお知らせしておきます。

大会は八月一日より始まり、試合初日は八月二日となりますが、おそらく七月二十九日より各練習会場に県外からの出場チームが入って来ると思います。この静岡総体サッカー焼津、藤枝会場をさせるのは、やはり地元チームの出場でありますと。そして現在の中学二年生から高校一年生が該当します。今年度県民スポーツ祭（高校一年生）大会では、市対抗で藤枝東が優勝、町村対抗では、吉田が準優勝しております。又CTC、Jユース合宿に、藤枝中学校二年生の山田陽久君、太田渉君、そして青島北中学校二年生の石川有二君が参加、



平３総体は俺たちが（藤枝東１年）

又県ジュニア対策強化合宿に、大洲中学校の高橋卓士君、藤枝中学校の安藤達也君、丸山淳士君、吉野友三君、西益津中学校の小柳津高雄君、相馬孝正君、大井川中学校の鈴木紀昭君、島田第二中学校の河村聡君、島田附属中学校の寺田清君、県競技力向上合宿に、大井川中学校の青島一城君、望月学君、西益津中学校の望月康利君、秋定実君、和田中学校の実石知之君、焼津中学校の山村博士君、高洲中学校の杉本和博君、藤枝中学校の小黒祐輔君、大富中学校の池谷光由君、藤枝東高校の牧田一幸君、藤枝北高校の菊川一穂君、焼津中央高校の宮嶋輝君、吉田高校の飯塚稔文君、静清工業高校の和田一也君と多くの本大会にむけて有望とされる選手が選抜されたり実績を上げて来ています。これらの選手諸君を中心として各チーム静岡総体をめざして競い合って下さい。中西部地区においてもトレーニングセンターを中心に指導者と選手が一丸となって当面の目標である総体を大成功させるべき最善をつくしてゆきたいと考えております。



平成３年に期待される藤中の太田渉君

大会に勝ち残ってゆく要素の一つに個人技術が有ります。この個人技術は永い年月を経て身につくものであり、習慣的になるまで徹底的に練習をくりかえしてほしいと思います。トップスピードの中で正確にプレー出来なければなりません。そして自分の好きな事、やりたいプレーは思い切りやってほしいと思います。指導者に教えられるだけでなく、自分で学ぶ姿勢が大切です。平成三年総体はもうそこまで来ています。

中学生諸君、高校生諸君、小さな夢に妥協しないで大きな夢をめざして頑張りましょう。選手諸君の健闘を期待しています。

建設大臣　原田昇左右



新年あけましておめでとうございます。皆様の日頃のご支援に対し、心より御礼申し上げます。

「健全な精神は健全なる肉体に宿る」という言葉があります。心身の健康を図る上で、スポーツの持つ意義は非常に大きく、また他人との協調性、思いやりの心を育てるなど青少年の人格形成上でも非常に大きな役割を果たしております。今やスポーツは教育面においても欠かせないものとなっており、自治体もより国をあげてその振興を図る時に来ていると思います。特にサッカーは、スポーツの持つ素晴しさを全て兼ね備えた大変魅力ある競技と言っても決して過言ではないでしょう。

我が静岡県はサッカー王国として永年にわたり全国一のレベルを誇り、多くの名選手を輩出してきました。また、毎年元旦に行なわれる全国高校サッカー選手権においては、常に抜群の成績を残しており、これは誠に驚嘆すべき事であり、選手の皆さんの日頃のたゆまぬ努力、精進、そして関係各位のご熱意に対し、心より敬意を表する次第です。

来たる平成三年、第二十九回高校総合体育大会が、我が静岡県において開催されます。この大会においては、是非とも静岡県勢が優秀な成績をあげるよう期待しております。また、焼津・藤枝を会場に行なわれるサッカー競技では、是非地元中西部の高校が出場され、大活躍される様、心より熱望いたしております。そしてその実現にむけて選手の皆さんのたゆまざるご努力と地元の皆様方の益々のご支援、さらには焼津・藤枝・島田の自治体のご尽力を賜わります様、心よりお願いいたします。最後に皆様方の益々のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

がんばれ!! 中西部のサッカーマン

郵政大臣　大石千八



謹しんで新春をお慶び申し上げるとともに、ヤングサッカーニュース二十号記念発刊を心からお祝い申し上げます。

中西部サッカー協会の皆様には、日頃大変お世話になり、私も昨年郵政大臣に就任させていただきましたことをこの場をお借りして深く感謝申し上げる次第であります。

協会の皆様には、サッカーを通して志太榛原地域の活性化の為、少年から社会人並びに婦人等幅広い人材の健全育成に心血を注がれておられる事に深く敬意を表します。

さて昨年は、全国社会人サッカー大会では中央防犯チームが、全国自治体職員サッカー大会では藤枝市役所チームがそれぞれ優勝の栄に輝き、少年でも焼津西小がフジパンカップ東海大会で優勝を飾るなど、中西部サッカーの名に恥じぬ成績を収められ、さらに本年もより良い成果が期待されるところです。

言うまでもなく本県はサッカー王国として全国にその名を轟かせておりますが、かつてその王座に君臨していた中西部地区は残念ながら清水を中心とする中東部地区にその座を譲っています。しかし、ここ数年このヤングサッカーニュースの刊行や、サッカーフェスティバル開催等など活発な活動を通じて更に裾野の広い競技層の育成に努められており、平成三年には全国高校総体サッカーが中西部を中心に開催される予定ですが、本年を契機に中西部地区の皆様の協力の輪のもと、再びその名声の復活へ向け一層のご発展をお祈り申し上げる次第です。

私も競技施設の充実等、皆様のご要望に応えるべく国政の場で努力を続けて参ります。

ヤングサッカーニュース発行責任者　滝本義三郎



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

県中西部サッカー協会（志太・榛原）の月刊新聞が発刊されて二年を経て二十号が刊行されました。

サッカーは全世界九十数ヶ国で行なわれており、世界最大の競技人口を誇るスポーツとして愛されております。

当地域においては藤枝市を中心に古くから親しまれ、藤枝東高の校技として、全国高校サッカー大会では九度の全国制覇を達成。中学校では、全国中学校サッカー大会に西益津中（一回）藤枝中（二回）の全国制覇。という、輝かしい戦績を築いたサッカーの町として有名です。

「ヤングサッカーニュース」はサッカーを通して当地域の活性化を図り、青少年の健全育成と連帯感ある「地域づくり」を目指すために発刊されました。

サッカーは、創造性、協調性を育てるスポーツとしていへん適しております。

プレーヤーが自分の意志で状況に応じて局面を判断し、打開しゴールをめざす。さらにチームプレーで連帯感を身につける。まさに人間形成を追求するスポーツでもあります。

さて、平成二年度はサッカーファンが興奮する四年に一度のワールドカップの開催年であります。また、平成三年度はいよいよ全国高校総体サッカー会場として、藤枝市民G、中外製薬G、焼津市民G、石津浜Gの当地域四会場が使用され、全国に名をとどろかす事でしょう。

「ヤングサッカーニュース」が未来に向って生きる子ども達のために役立つ新聞として益々期待されるでしょう。そして地域に根ざす新聞として第三種郵便の認可を受けました。サッカー関係者だけでなく、皆さま方に親しまれるよう編集委員を代表してあいさつを申し上げます。

藤枝市長　飯塚正二



静岡県中西部サッカー協会の日頃のご活躍に対しまして深く敬意と感謝を申し上げると共に、活動内容広報誌「ヤングサッカーニュース」二十号発行記念を心からお祝い申し上げます。

当市のサッカーの歴史は古く、輝かしい伝統とその歩みの中から市民がサッカー競技に楽しむ素地が築かれ「サッカーのまち藤枝」として発展し、小・中・高校生はもとより、社会人さらには婦人に至るまで数多くのサッカーチームが他のスポーツと共に市民の中に広がり活発に活動が展開されております。

しかし、最近における当市のサッカーは他地域のサッカー熱の高まりのもとに厳しい状況におかれているのが現状だと思います。

こうした中で関係者において「よみがえれサッカーのまち」を目指して、それぞれ努力されているところであります。

そのひとつとして藤枝市をはじめ志太・榛原地域の活性化と住民の連帯感と青少年の健全育成を目的とした「ヤングサッカーニュース」を発行されますことは、平成三年度に開催される高校総体の成功に向けて大変意義深いものと思われます。

終りに、静岡県中西部サッカー協会の益々の発展と会員皆様方のご健勝を心から祈念いたしましてお祝のことばといたします。

焼津市長　服部毅一



ブラジルの小野勝利氏はベレの後援会長、昭和五十四年ブラジルへ外遊した時知り合った仲。今から六年前頃ベレが日本へ来られた時、是非焼津へ来ていただきヤングサッカーのご指導をしていただく計画しましたが、時の首相、中曽根先生との会談が突如入ったので止むなく断念。後日を約して帰宿されましたが、その後贈られたユニフォームとサイン入りボールは、焼津中学校に進呈しました。

サッカーと言えば清水、藤枝が断然群を抜いて東海地区を飾ってくれてはおりますが、やはり我田引水と言われても地元贔屓は人の常。せめて場所だけは、陸上競技場中央部と石津へ芝生張りのコートを作りました。

平成三年のインターハイは県スポーツ振興会長としても誘致建議をし、当市もレスリングとサッカーの一部を引き受けました。平成十五年には是非国体を誘致すべく、これも過日知事宛建議を致しました。やはりこのような大競技を我が郷土で行うことは、血湧き肉躍るものであり、それが斯道奨励に連なることであります。

私は市長に就任して、第一に念じたことは『市民よ健康であれ』ということでした。それには身体を練ることです。楽しみながら練成するにはスポーツに越したことはありません。スポーツ都市宣言を行い、場所を整える行政側の責を果たすべく努力しておりますが、充分には行き届きません。インターハイに備え、愈々総合体育館建設に取り組み、明後年三月には完成します。

宮崎市体育協会長がこの程「スポーツ振興に熱心な市長にそうそう断念しなくてはならない」「お返しとは優勝することだ」とのお言葉に答えられた焼津西の快挙は見事。続々の必勝を祈ります。

90年代に翔け!!
平3総体の代表を中西部から

中西部サッカー協会
会長　松田真平



中西部サッカー協会長という大役をお引受けさせて頂いて八ヶ月、役員の皆さん始め関係各位の温かいご支援ご協力によって平成元年度をつつがなく過す事が出来ました。かえり見て私にお寄せ頂いたご厚情に心から感謝し厚くお礼申し上げます。

サッカーが青少年の育成に大きく貢献している事は言うまでもございませんが、最近は清水を中心とした中東部地区の台頭にともなって、かつて王座に君臨していた我が中西部地区が、だんだん後退する様になった現状は、いかにも残念であります。小学、中学、高校の若い世代に大いなる期待をよせて、昔の夢をとりもどさなくてはならないと思います。しかし謙虚に現況を反省する時、例えば高校で県大会に出場して相手と対等に戦えるチームが果してどの位あるかきびしい目で見ればそれは数チームしかないと思われます。中学生が中西の高校サッカーから離れない様にするにはどうしたらよいか。今こそ高校側を中心にみんなで真剣に考え、この問題にとりくんで行かなければならない重要な時だと思います。

よい指導者のもとで、しっかりと基本を身につけて、県代表をめざして自分の意志で、やる気をもって努力して行く生徒を養成して行きたいと思います。

平成三年には全国高校総合体育大会が藤枝市と焼津市のサッカー競技場で行われます。私も微力ではありますが、みなさんからご意見をうかがいながら最善を尽して行きたいと思いますので、よろしくご支援ご協力をお願い申し上げてごあいさつと致します。

中西部サッカー協会
理事長　石上瞬二



ヤングサッカーニュース発刊20号おめでとうございます。地域の活性化と子供達の夢を育てるために刊行されたこのニュースも初期の目的を達成され前進し続けるのも影で大変ご苦労されてる編集委員の皆様のご努力と感謝しております。更に未来に向って充実、発展することを願ってやみません。

よりよいチームは、指導者・選手・環境（後援会等）の整ってる時にでき上がると言われます。又「無事これ名馬なり」とも言われますが、目標にむかって努力することの大切さに加え、病気やケガに気を配る自分のコンディション調整ができるチームとなってほしいと思います。

自分を大切にし、相手にも気を配る好チームが覇を争った時、素晴らしいゲームとレベルアップが図れるでしょう。

ご存知のように来年八月は高校総体が静岡にやってきます。総体の準備委員会も発足しましたし、地域をあげて若人の祭典を成功させましょう。運営、受け入れ、そして代表チームに地元中西チームがなるように今後の高校部の健闘を中・高の連携に期待します。

社会人部長
臼井郁夫



ヤングサッカーニュース発刊20号という事で、もう一つなになるのかなという程、月日の過ぎる早さを感じさせられる毎日ですが、新聞に携る方々の御苦労に比べれば忙しいとは言っておれません。中西部のサッカーマンにとり、よりよい情報源となり中西部協会の骨組の核として末長く発刊出来る様、心から念願しています。

中学生部長
青島信裕



新年明けましておめでとうございます。

中学生部は、ここ3年間ほど東海一中に全国の場を奪われているのが現状です。しかし、今年の藤枝中学を中心とした充実ぶりには目を見張るものがあります。少年団での指導を引き継ぎ、より一層みがきをかけた中学生部にご期待ください。

少年部長
山本輝雄



新年にあたり少年団部の目標にむかって押し進めたい。

その一は、全日本少年サッカー大会への出場をはたす事。その二は、静岡県少年団大会の制覇。その三は、減少しているサッカー少年を各地域の努力で増加方向にもっていくこと。その四は、優秀な指導者の育成を計ること。この四つの目標にむかって中西部少年組織の充実を計りたい。

また、小、中、高の一環指導体制をもっともっと押し進め優秀な選手育成につとめたい。

第4回県中学生新人戦
藤中、大井川中、大洲中が出場

県中学生新人戦は平成二年一月二十一日(日)・一月二十八日(日)の二日間清水市で開催される。

先の中西部地区予選の上位三校が出場する。下馬評どおり藤枝中学校が大井川中に苦戦したものの圧倒的な強さで一位となった。二位大井川中は候補西益津中を破り見事に大会出場となった。三位大洲中は少年団の強化が実を結び初の県勝候補として当然マークされるであろう。エースの太田渉を中心に山田鴨久、安藤達也・吉野友三・丸山敦士は県選抜候補選手である。しかし他の選手との力の開きがあり現段階では攻守にバランスがない。

したがってチーム戦術ができていない面、個々の技術でカバーしている。

県中学校の名門校として久しぶりに脚光を浴びるチームとして育ちつつある。

「メンバーは別紙」



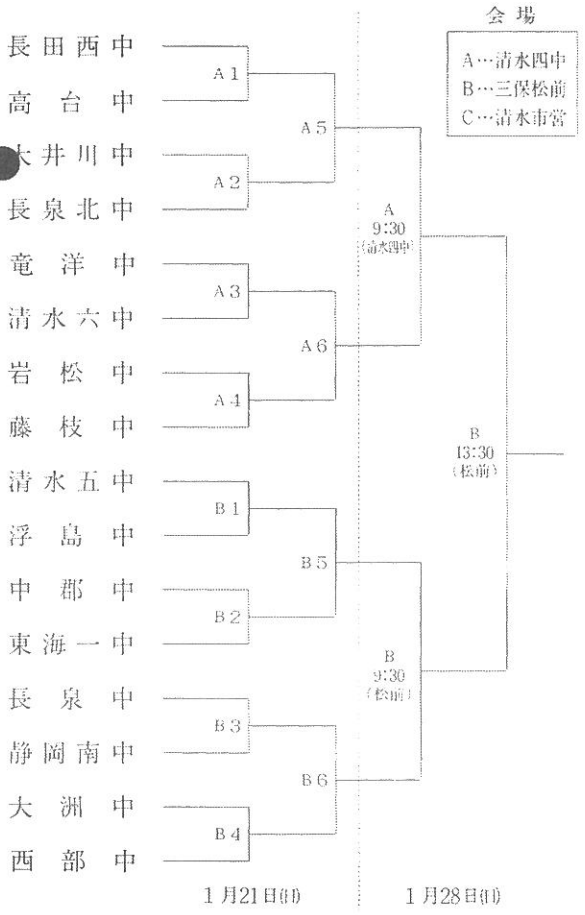
藤枝中学校

監督　滝本義三郎　　コーチ　大野　富夫

No.	背番号	選手名	ポジション	学年	生年月日
1	1	荒浪　央嗣	GK	2	S50. 6. 1
2	4	浅見　典彰	DF	2	S50. 12. 28
3	5	吉野　友三	DF	2	S50. 9. 4
4	3	丸山　敦士	DF	2	S50. 10. 2
5	2	谷下　達也	DF	2	S50. 6. 18
6	7	安藤　達也	MF	2	S50. 7. 14
7	8	沢本　貴司	MF	2	S50. 4. 20
8	6	山田　暢久	MF	2	S50. 9. 10
9	9	増田　真也	FW	2	S50. 5. 4
10	10	太田　渉	FW	2	S50. 5. 11
11	11	小山　淳	FW	1	S51. 10. 25
12	15	鈴木　健児	GK	2	S50. 5. 5
13	12	村松　初	DF	2	S50. 4. 19
14	13	本多　広一	DF	2	S50. 10. 13
15	14	原木　和成	DF	2	S50. 6. 30
16	16	森崎　正行	MF	2	S50. 4. 10
17	17	松本　佳浩	MF	2	S50. 11. 18
18	18	青木　豊美	MF	2	S50. 6. 18
19	19	朝比奈真人	FW	2	S50. 9. 22
20	20	久保井大助	FW	1	S51. 4. 13

第５回 静岡県中学生新人サッカー大会 組み合せ

会場
A…清水四中
B…三保松前
C…清水市営



1.9:00～ 2.10:05～ 3.11:10～ 4.12:15～ 5.13:30～ 6.15:00

第22回県スポーツ少年団サッカー大会

中西部地区から16チーム出場

第二十二回県サッカースポーツ少年団大会が一月二十七日、二十八日、二月四日、十一日に富士市総合グラウンドなどを会場に開かれる。大会には県下各地域予選を勝ち抜いてきた六十四チームが出場し、白熱した試合を展開する。

この大会に中西部地区から十六チームが出場する。今回出場する十六チーム中、最多の出場回数は藤枝少年団と藤枝中央少年団の二十回。今年二十二回目の大会でほぼ毎年出場している常連チーム。そなく、当地区代表の十六チームにも十分優勝の可能性はある。今回は県大会に出場する十六チームの監督、主将、出場回数を紹介することにした。

各地区の上位の実力は大差ない。初陣を飾るかも楽しみなところだ。


藤枝・島田地区1位の西益津

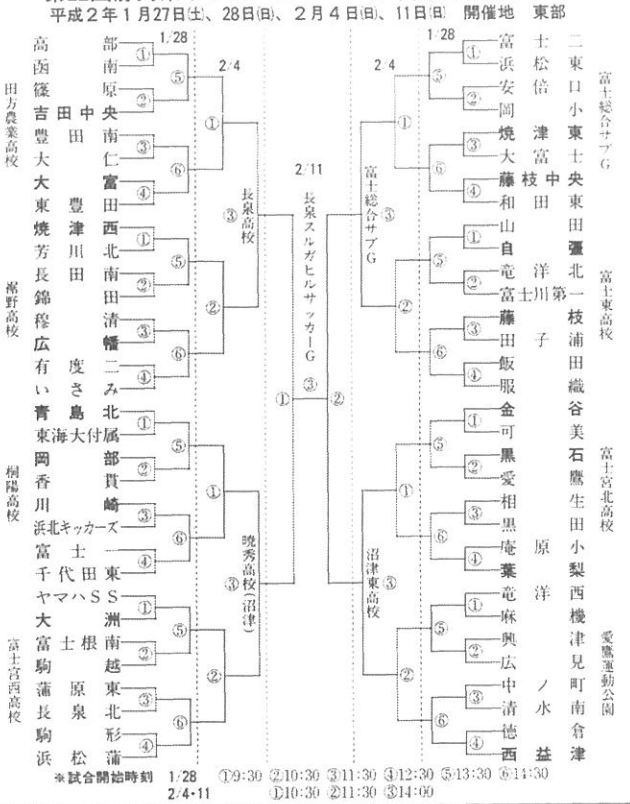

志太地区1位の焼津西



榛原地区1位の金谷

第22回静岡県サッカースポーツ少年団大会組合わせ

平成2年1月27日(土)、28日(日)、2月4日(日)、11日(日)　開催地　東部



藤枝島田地区代表

☆西益津少年団（一位）
▽監督　桑原　栄
▽主将　青島伸幸
▽出場回数　11回
☆大洲少年団（二位）
▽監督　相馬強市
▽主将　鈴木　仁
▽出場回数　初出場
☆藤枝少年団（三位）
▽監督　江端進吾
▽主将　本多茂之
▽出場回数　20回
☆広幡少年団（四位）
▽監督　河守正記
▽主将　滝沢宣伸
▽出場回数　2回
☆藤枝中央少年団（五位）
▽監督　神村邦昭
▽主将　示沢達也
▽出場回数　20回
☆青島北少年団（六位）
▽監督　有馬知秋
▽主将　森木　洋
▽出場回数　初出場
☆葉梨少年団（七位）
▽監督　小柳仁志
▽主将　福井　誠
▽出場回数　5回

志太地区代表

☆焼津西少年団（一位）
▽監督　栗科金雄
▽主将　桜井孝司
▽出場回数　8回
☆焼津東少年団（二位）
▽監督　山村喜芳
▽主将　飯田　晋
▽出場回数　3回
☆岡部少年団（三位）
▽監督　数崎匡洋
▽主将　大塚浩一
▽出場回数　10回
☆黒石少年団（四位）
▽監督　曽根保次
▽主将　増田直也
▽出場回数　2回
☆大富少年団（五位）
▽監督　新村東市
▽主将　池田幸一
▽出場回数　3回

榛原地区代表

☆金谷少年団（一位）
▽監督　大石昌徳
▽主将　杉浦陽介
▽出場回数　11回
☆川崎少年団（二位）
▽監督　小池勝彦
▽主将　柴田真希
▽出場回数　8回
☆吉田中央少年団（三位）
▽監督　野中伸行
▽主将　杉山豊己
▽出場回数　10回
☆自彊少年団（四位）
▽監督　鈴木正美
▽主将　山内康弘
▽出場回数　7回

県教育長杯大会

Aは大井川中・小、Bは岡部中・小が優勝

県教育長杯争奪教職員サッカー大会がこのほど開かれ、Aブロックで大井川中・小がBブロックで岡部中・小がそれぞれ優勝した。

Aブロックの大井川中・小は決勝で大井川高校を4対1、岡部中・小は浜松南高を3対1でそれぞれ下した。大井川中・小は2年振り5度目の優勝となった。大井川中・小はスピード・技・力ともずば抜け、他をまったく寄せつけなかった。


Aブロックで優勝した大井川中・小

焼津信用金庫サッカー部



▽監督　阿井　誠
▽主将　山内　稔之
▽所属リーグ　中西部一部、焼津一部
▽部員数　30人
▽創立　昭和45年
▽主なタイトル　平成元年度中西部リーグ代表チーム

我③サッカー部は、中西部リーグ一部で頑張っていますが、新入部員が少なく平均年令が上がってきてしまうのが悩みです。仕事柄充分な練習ができないが、豊富なサッカー経験を生かし、県リーグ進出を目指しています。中盤を大切にしたオーソドックスな展開を軸に、オーバーラップもできる固い守りにより、堅実で負けない事が信条です。

日本リーグ後期公式戦

2月10日(土)　PM2:00キックオフ
会場・藤枝市民グラウンド

本田 VS 日立

前売りは1月下旬より中西部地区のスポーツ店で

	一般	中・高生	小学生
前売	700円	400円	200円
当日	1,000円	600円	300円

第８回 全国中学生選抜岐阜招待サッカー
中西部TCが見事優勝



第八回全国中学生選抜岐阜招待サッカーが十二月二十七日から二十九日まで各務原市の那加中学校などを会場に開かれたが、この大会で中西トレセンが見事二年振り三回目の優勝を飾った。

大会には全国から三十チームが参加し、予選リーグ、順位リーグ、決勝戦を争った。

中西トレセンは予選リーグを３勝１敗、順位リーグを１勝１分けで決勝へ。決勝は同じ静岡県の東海一中。前後半０対０で延長戦へもつれ込み、この延長戦も０対０。決着はＰＫ合戦となり、３対２で中西トレセンが優勝した。強豪、東海一中を下しての優勝だけに価値のある優勝だった。

藤枝招待 焼津が２位に

第六回藤枝市招待中学生サッカー大会が一月三日と四日に藤枝市民グラウンドと藤枝中学校を会場に開かれ、熱戦を展開した。

同大会には藤枝ＴＣ、焼津選抜など地元六チームに加えて東京・群馬など合計十二チームが参加した。順位結果は次のとおり。

①群馬県トレセン②焼津選抜③岐阜県選抜④東京都トレセン⑤藤枝トレセン⑥徳島県選抜⑦藤枝中⑧大井川中⑨相模原市トレセン⑩榛原選抜⑪島田選抜⑫韮崎東中

高校新人サッカー大会 中部予選

平成元年度高校新人サッカー大会中部予選が行われる。

☆ブロックリーグ戦
一月十四日・十五日・二十日・二十一日

☆トーナメント戦
一月二十八日・二月三日・四日

○試合時間は次の通り

＊試合時間
（日・祭）
①10時00分－11時15分
②11時30分－12時45分
③13時00分－14時15分
④14時30分－15時45分
（土）
⑤13時30分－14時45分
⑥14時50分－16時05分

※ブロック別組合せ
第１シード第２シード

A	藤枝東	清水工	島田学園	静清工		
B	清商	焼津中央	聖光	焼津水産		
C	庵原	静岡南	川根	静岡市商		
D	静学	静岡工	静商	島田工	相良	
E	藤枝北	大井川	島田	島田商		
F	清水東	静西	タチバナ	明誠		
G	東海一	吉田	東海大工	静高		
H	静岡北	静岡市立	静岡東	清水南	榛原	

中西部リーグ 参加チーム募集



静岡県社会人サッカー中西部リーグでは参加チーム募集している。参加を希望するチームは、平成二年一月二十日までに実行委員長の池谷明人さん（〇五四六）22－〇九七〇まで。

つま恋少年サッカー大会 支部予選

第十六回つま恋少年サッカー親善試合（五年生以下選抜チームの大会）島田・岡部・大井川地区予選が行われ、上位二チームが出場を決めた。

（戦評）

第一代表のオール島田は、三チームの中でチームとしてのまとまりと、戦う姿勢が一番勝っており、第一代表にふさわしい戦いを、岡部・大井川戦で示した。今後の精神により本番での活躍が期待される。

一方、第二代表の大井川選抜は個人のボールキープ力が三チームの中で一番すぐれているので、パワー不足とスピードの保持を克服すれば、活躍が期待される。

第一代表 オール島田五年
第二代表 大井川選抜五年

	島田	大井川	岡部	順位
オール島田５年		○ 2－1	○ 5－1	1
大井川５年選抜	● 1－2		○ 5－2	2
岡部５年選抜	● 1－5	● 2－5		3

藤枝市社会人サッカーリーグ日程

藤枝市社会人サッカーリーグ日程表

節	月日	グランド（当番）	第1試合 9:00～10:05	第2試合 10:10～11:15	第3試合 11:20～12:25	第4試合 12:30～13:35	試合のないチーム
1	1/21	警察学校（農協）	博多っ子×藤北（農協）	農協×栄OB（藤北）	自衛隊×パンヤン（栄OB）		大井川町
2	1/28	志民グランド（博多っ子）	藤北×パンヤン（博多っ子）	博多っ子×自衛隊（パンヤン）	農協×大井川（自衛隊）		栄OB
3	2/4	自衛隊（自衛隊）	農協×博多っ子（自衛隊）	自衛隊×大井川（博多っ子）	パンヤン×栄OB（大井川）		藤北
4	2/11	志民グランド（大井川）	パンヤン×博多っ子（大井川）	大井川×藤北（パンヤン）	自衛隊×栄OB（藤北）		農協
5	2/18	大岡中（藤北）	自衛隊×農協（藤北）	藤北×栄OB（自衛隊）	大井川×博多っ子（栄OB）		パンヤン
6	2/25	浄化センター（パンヤン）	博多っ子×栄OB（パンヤン）	パンヤン×大井川（博多っ子）	藤北×農協（大井川）		自衛隊
7	3/4	（栄OB）	農協×パンヤン（栄OB）	栄OB×大井川（農協）	藤北×自衛隊（大井川）		博多っ子
8	3/11	（農協）					
9	3/18	大岡中					

藤枝市社会人サッカーリーグ日程表

節	月日	グランド（当番）	第1試合 9:00～10:05	第2試合 10:10～11:15	第3試合 11:20～12:25	第4試合 12:30～13:35	試合のないチーム
1	1/21	志民グランド（住友）	磐田×スポーツ（栄A）	磐田×藤枝（栄A）	住友×スポーツ（藤枝）		静岡
2	1/28	浄化センター（ドランカーズ）	静岡×住友（ドランカーズ）	ドランカ×藤枝（スポーツ）	磐田×藤枝（静岡）		栄A
3	2/4	志民グランド（住友）	静岡×ドランカ（住友）	住友×藤枝（ドランカーズ）	藤枝×磐田（スポーツ）		静岡
4	2/11	（藤枝）	住友×栄（藤枝）	藤枝×栄（静岡）	スポーツ×静岡（栄）	ドランカ×磐田（住友）	
5	2/18	磐田中（磐田）	藤枝×静岡（磐田）	静岡×ドランカーズ（住友）	栄×ドランカーズ（スポーツ）	磐田×スポーツ（栄）	
6	2/25	警察学校（スポーツ）	ドランカ×磐田（スポーツ）	スポーツ×住友（ドランカーズ）	藤枝×栄（住友）	静岡×磐田（栄）	
7	3/4	浄化センター（静岡）	藤枝×スポーツ（静岡）	静岡×住友（藤枝）	磐田×ドランカーズ（住友）	藤枝×栄（磐田）	
8	3/11	（磐田）					
9	3/18	磐田中					

1・2月の予定

少年団

- 1月7日・14日・15日
  - 第23回藤枝ＪＣ杯争奪新春少年サッカー大会（藤枝市民Ｇ）
  - 第19回藤枝ライオンズクラブ杯争奪ジュニア少年サッカー大会（藤枝市民Ｇ）
- 1月27日・28日、2月4日・11日
  - 第22回静岡県サッカー少年団大会（沼津市）

中学

- 1月21日・28日
  - 第５回静岡県中学校サッカー新人大会（清水市）
- 2月11日
  - 東海地区中学生選抜サッカー大会（愛知県口論義サッカー場）

高校

- 1月14日・15日・20日・21日・27日・28日、2月3日・4日
  - 県高校新人戦中部大会

社会人

- 1月21日～3月4日
  - 藤枝市長杯社会人リーグ
- 1月下旬
  - 中西部リーグ閉会式

ヤングサッカーニュース年間購読申し込み書

ヤングサッカーニュースの年間購読を
年間購読料(郵送料込み)2,000円を添えて申し込みます。

平成　　年　　月　　日

氏名　　職業

住所　　TEL

●藤枝・岡部地区
山本輝雄
藤枝市兵太夫305-6
TEL〈0546〉35-5481

●島田・榛原地区
飯塚喜好
島田市岸町1286-2
TEL〈0547〉35-1166

●焼津・大井川地区
深津敏夫
焼津市小川927-1
TEL〈0546〉28-7783

●榛南地区
海瀬敬
榛原郡榛原町細江1070-4
TEL〈0548〉22-3099

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 2

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

第５回静岡県中学生新人サッカー大会

藤枝中が準優勝、大井川中は３位に

藤枝中・大洲中・大井川中が出場

第五回静岡県中学生新人サッカー大会が、平成二年一月二十一日・二十八日の二日間、東海大松前グラウンド（清水市）を主会場に行われた。中西部地区からは、藤枝中・大井川中・大洲中の三チームが出場。



準決勝 中西部（藤枝中 大井川中）の戦いに



決勝は、下馬評どおり中東部一位の清水五中と、中西部一位の藤枝中の闘いとなったが、なかなか勝負がつかず再延長にまでもつれこんだ。結局、再延長残り一分に清水五中のエース平島が劇的なシュートを決め、これが決勝点となり清水五中が優勝。藤枝中は健闘むなしく敗れた。

総評

大洲中

大洲中は、一回戦西部一位の西部中と対戦。GKの高橋が活躍し、FWの大石が得点をあげ、健闘をみせたが、一対二と惜敗した。

藤枝中

藤枝中は、一回戦岩松中。二回戦は清水六中を破って勢いに乗る竜洋中を三対〇と下した。

準決勝はMF安藤がハットトリックの活躍で三対一と大井川中を破った。

決勝は、昨年の県一年大会（さなるカップ）と同じ顔合せとなった。清水五中が前半押しぎみに展開したのに対し後半は、藤枝中が押しぎみの一進一退のレベルの高いゲームとなった。

延長に入って、やや疲れの見えた藤枝中は清水のオープン攻撃にあぶない場面が多くなった。

再延長になり後半終了直前右からのセンターリングを見事なシュートで決められ、初優勝を飾ることができなかった。

藤枝中は、集団カゼのあおりで練習ができず、前日の土曜日に西益津中との調整ゲームのみで、決勝戦の延長でスタミナが切れてしまった。

藤枝中イレブンは健闘したが、敗因としては、サイドからのオープン攻撃が藤枝中にできなかった事と、エース太田が相手ディフェンダーに押え込まれたため攻撃が単調になった事があげられる。

平成二年度の中西部地区はレベルが高い。八月の全国大会（香川県高松市）・第二回ジュニアユース大会に向けて、ひとりひとりのプレイヤーがレベルアップを図ってほしいものである。



藤枝中イレブン

大井川中

北大井川中は、東部二位の長泉北中と対戦した。

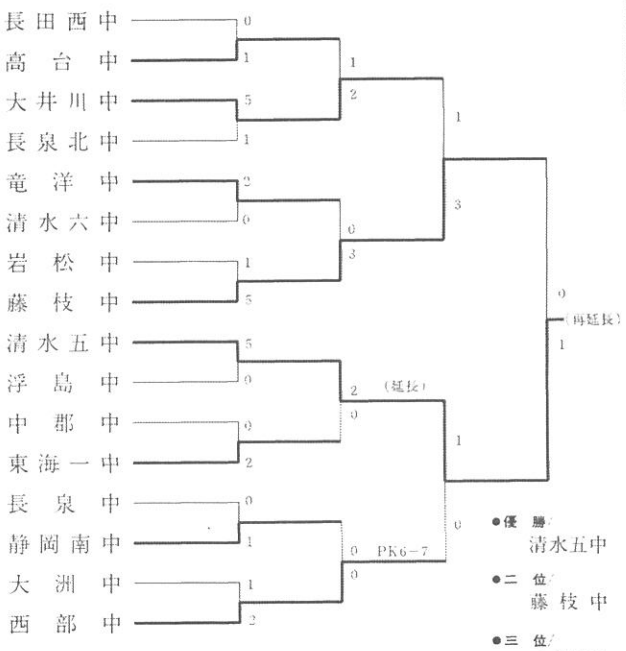
ゲームメーカー鈴木を中心にして左右のオープン攻撃から五点を奪う見事な試合であった。

二回戦の浜松高台中は、長田西中を破っての進出であり、力強いサッカーで苦戦したが一対一で迎えた後半二十分過ぎにMFの鈴木が左サイドの山下へ絶妙のパスを出し、ゴール前へ走り込み、相手をかわして見事な決勝シュートを決めた。

準決勝では、中西地区同志の対戦となったが、藤枝中が三点を先制したため勝負があっさり決った。

大井川中は二年生が多く来年が楽しみである。

第５回　静岡県中学生新人サッカー大会組み合せ



●優勝／清水五中
●二位／藤枝中
●三位／大井川中　浜松西部中

大活躍した 安藤達也君（藤枝中二年）



―サッカーを始めた動機は？

周囲の人達が入っていて僕もサッカーが好きだったから。

―得意なプレーは何ですか。

ドリブルからのシュート・ヘディングの競り合い。

―ライバルは誰ですか。

県選抜に入っている選手には負けたくない。

―今後の目標は？

攻守の切り替えを素早くし、攻めでは得点に結びつき、守りでは早めにチェック・マークにきちんとつくこと。

県新人サッカー大会では、一回戦岩松中、準決勝大井川中にハットトリック、二回戦竜洋中では2アシストの大活躍。今大会最多得点をあげ、攻撃的MFとして非凡なプレーを示した。

一月の清水招待では県選抜の一員としてベストディフェンダー賞を獲得した。

今後の課題として、まわりの状況をつかんで、素早くボールをコントロールし、タイミングのよい正確なパスが出せるようになれば、大型の攻撃的なMFとして全国レベルの選手になる可能性を十分持っている。今後の努力を期待している。

（監督　談）

藤枝ＪＣ杯（五・六年生）
藤枝ライオンズクラブ杯（四年生以下）
西益津 青島北 優勝

第二十三回藤枝ＪＣ杯争奪各種大会で優勝を分けあった新春少年サッカー大会及び第十九回藤枝ライオンズクラブ杯争奪ジュニアサッカー大会が、一月七日に開催された。新春恒例のこの大会、六年生にとっては小学校最後の大会となるだけに、熱の入った試合が最後まで展開された。

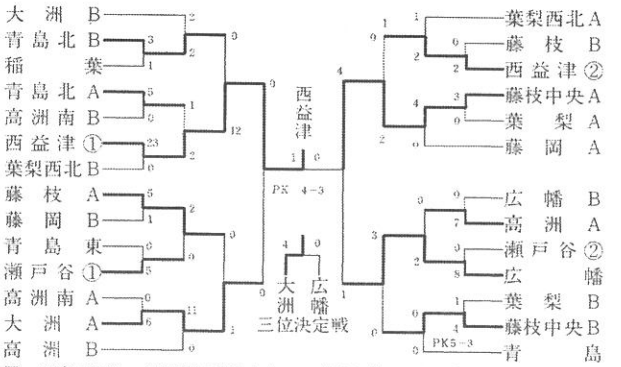
藤枝ＪＣ杯大会は、今年度西益津と大洲の両チームの優勝争いと予想された。しかし準決勝でこの両チームが対戦し、０対０で延長戦でも決着がつかずＰＫ戦となったが、結局西益津に軍配が挙がり、決勝に進出。また、逆ブロックからは最近調子の波に乗る藤枝中央が決勝戦に勝ち上がり、西益津対藤枝中央という決勝戦になった。試合は終始西益津ペースで展開され、ＣＦ滝本の一点を守り切った西益津が見事優勝した。

又、藤枝ライオンズクラブ杯大会は、四年生以下のチームで競う大会。決勝まで熱戦・接戦の連続で進み、決勝は青島北と西益津の対決となった。しかし、少年団発足六年目にして初の決勝進出に燃える青島北が見事一点を挙げ、逃げきった。父兄の大声援の中、青島北チームの初優勝で幕を閉じた。


藤枝ＪＣ杯

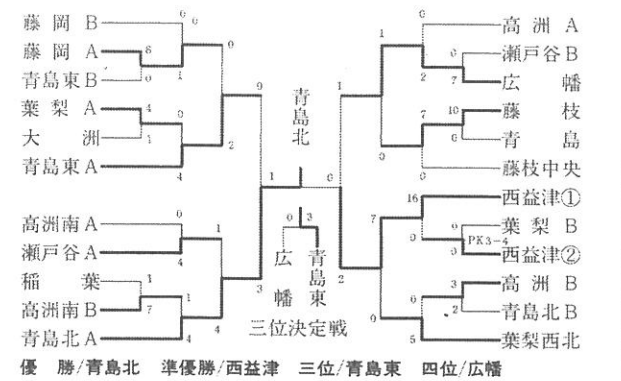

藤枝ライオンズ杯

藤枝ＪＣ杯争奪 新春少年サッカー大会



優　勝／西益津　準優勝／藤枝中央　三位／大洲　四位／広幡

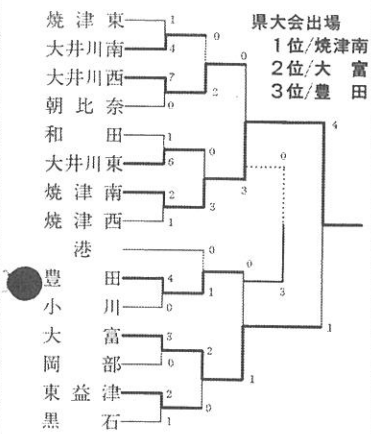
藤枝ライオンズクラブ杯争奪 ジュニアサッカー大会



優　勝／青島北　準優勝／西益津　三位／青島東　四位／広幡

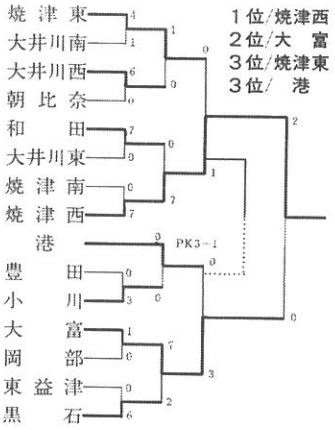
第５回 ジュニアサッカー選手権（5年生以下）

準決勝



県大会出場
1位／焼津南
2位／大　富
3位／豊　田

第５回 志太少年サッカー選手権大会（６年生）

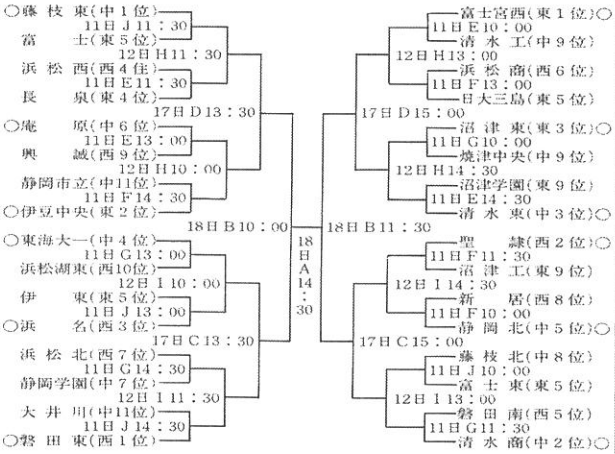


1位／焼津西
2位／大　富
3位／焼津東
3位／　港

島田ロータリー杯争奪 少年サッカー大会 島田第二小 優勝


優勝した島田第二小サッカー少年団

◇県高校新人サッカー大会組み合わせ◇



【会場】Ａ＝トヨタ東富士球技場、Ｂ＝トヨタ東富士グラウンド、Ｃ＝沼津工、Ｄ＝沼津東、Ｅ＝清水工、Ｆ＝静岡北、Ｇ＝焼津中央、Ｈ＝藤枝東、Ｉ＝清水商、Ｊ＝藤枝北　（○印はシード校）

県高校新人サッカー大会 藤枝東・藤枝北 焼津中央・大井川 出場

平成二年度の高校サッカー勢力図を占う、県高校新人サッカー大会が、二月十一日から開幕する。

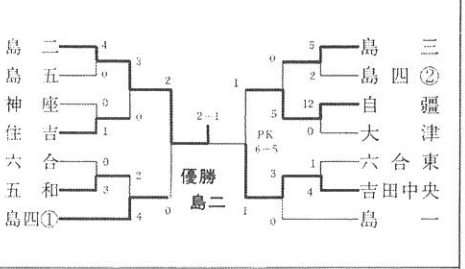
中西部地区からは、中部一位の藤枝東をはじめ、藤枝北、焼津中央、そして大井川の四校が参加する。

特に清水商を下して中部大会を制した藤枝東に期待が集まるが、他の三校にも上位にくいこむチャンスがある。

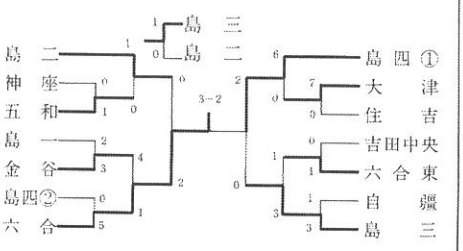
この時期は、チーム力が安定せず、本命と呼ばれるチームが予想外の敗北をすることもある。

中西部チームが、コンディションを整え、大会で健闘することを期待する。

Ａチームの部



Ｂチームの部



社会人 チーム紹介

FCグリーン



監督▽市川　雅司
主将▽岩ヶ谷　収
所属リーグ▽中西部一部リーグ
部員数▽30人
創立▽昭和43年
F・C・グリーンは昭和43年（一九六八年）に結成され今年で23年目を迎える中西部リーグ内でも歴史あるチームになりました。
中西部一部リーグに昇格してから14年間（だと思いますが）連続して残留しているのは我がチームだけであり、それが自慢であり欠点でもあります。
5年前から新規部員を加え、今では平均年齢24才のチームに若返り、なんとか再度県二部を狙えるチームとなりました。果たしてライトグリーンか？それともダークグリーンになるのか？こう御期待!!

FCバイオレンス



監督
▽鈴木　隆行
主将
▽柴山　勝巳
所属リーグ
▽中西部一部リーグ
部員数
▽21人
創立
▽昭和58年7月
主なタイトル
▽県スポーツ祭二位
▽静岡工業高校と島田工業高校のOBが中心になって結成されたチームである。
若々しいスピードとキレをチームカラーに、多彩な攻めができる。名前どおりのバイオレンスな面もあるが、次代の中西部リーグを担う資質を持ったチームであり、今後の活躍が期待される。
チームとしての熟成が進めば、県リーグも夢ではないだろう。

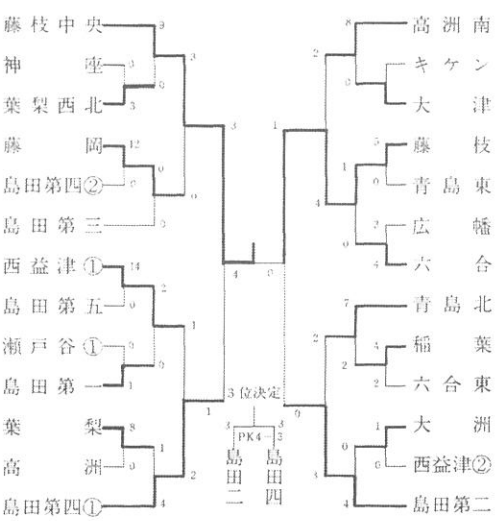
瀬戸谷SC



代表
▽福井　伸之
部員数
▽29人
創立
▽昭和48年4月
主なタイトル
▽S57・クラブ杯優勝
▽平成元年度一部復帰
本年度県一部リーグに復帰し、11位となりリーグの中位を確保。来年は上位をめざしたい。
▽平均年齢二十四才の若いチーム。試合に勝っても負けてもおいしいビールを飲むために、日夜努力しています。
練習日は毎週金曜日、瀬戸谷中でPM7時より。サッカーの大好きな方、我々と一緒に汗を流しましょう。
尚、マネージャー兼親衛隊大募集しています。

県ジュニアサッカー選手権大会（5年生）
藤・島予選開催

藤枝中央・藤枝・島田第一 県大会へ



平成元年十二月二十四日、三十日、三十一日、第五回静岡県ジュニアサッカー大会の藤枝・島田支部予選が行われた。
優勝は藤枝中央、藤枝が準優勝、三位が島田二という結果に終わった。また、これら三チームは、三月二十一日から榛原郡で開催される県大会に出場する。活躍を期待したい。



第3回 榛原町招待サッカーカーニバル開催

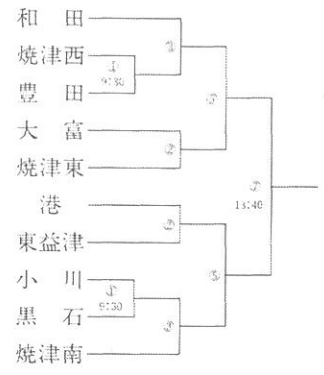
地元川崎がA・Bチーム優勝

第三回榛原町招待サッカーカーニバル（静岡新聞社・SBS静岡放送などが後援）が一月十五日、榛原町営グラウンドにおいて順位パートで行われた。
参加したのは、町内の四チームと以前から交流のある山梨県・愛知県から招待した八チーム。
決勝は、川崎チームと榛原西トレセンチームの地元どうしの対戦となり、川崎チームが初優勝を果たした。
当日は、試合だけでなく、地元の父母の協力で豚汁のサービスがあり、おおいに交流の場を盛りあげた。
試合の結果は次のとおり
〈一位パート〉Aチーム
川崎　0－0（PK4－3）　榛原西
〈二位パート〉
川崎　5－0　榛原西
〈三位パート〉
知立　3－0　若草
〈B決勝〉
白羽　2－0　坂部
〈B決勝〉
川崎　1－0　坂部



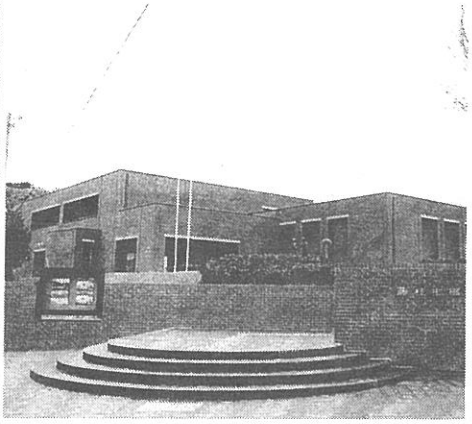
和田カップ新人戦 組み合わせ決まる

来たる三月四日に行われる第15回和田カップ新人戦の組み合わせが決定した。会場は焼津市の和田中グラウンドと和田教育広場。



藤枝市郷土博物館 企画展でサッカーの歴史

「サッカーのまち藤枝」3月17日から5月13日まで サッカーの発展を期す



藤華寺池公園内にある藤枝市郷土博物館は、三月十七日から五月十三日まで、企画展「サッカーのまち藤枝」を開催する。

大正十三年、初代校長錦織先生の英断により、開校間もない志太中に、蹴球すなわちサッカーが校技として取り入れられた。当時、郡下の小学生にも蹴球が奨励され、大会が開かれたことは意外に知られていない。その後、多くの人々の尽力により、静岡県はもとより、日本サッカーのリーダー的な役割を果たしてきたのは周知のとおり。今でこそ、サッカーは、日本中どこでもさかんに行なわれているが、博物館の展示に取り上げられるほどの豊富な実績を誇ることができるのは、藤枝をおいて他に無い。六十年以上も街をあげて一つのスポーツを育て、盛りあげてきた。藤枝にとってサッカーは、市の歴史の一側面であり、市について語る時に欠くことのできないものとなっている。

藤枝に育つ子供の多くは、いつのまにか、サッカーボールを蹴り始める。「今回、藤枝サッカーの歴史と伝統を、子供達をはじめ市内外の多くの人々に知っていただき、今後の発展につなげてゆく機会にしたいと考えています。」と博物館ではPRしている。

県中学選抜16人決定 中西地区からは 藤中の太田君ら6人

静岡県サッカー協会中学部は中学生選抜選手を決定した。選抜選手はジュニア合宿、清水市招待など第五次選考を経て十六人を選出した。選抜された十六人の内分けは、藤枝が四人、島田が二人、清水が八人、静岡が二人となっている。

ポジション別に見ると、GK二人、DF五人、MF七人、FW二人となる。キャプテンは清水五中の鈴木伸幸君が務めることになった。

この中西部地区から選ばれた選手は安藤達也（藤枝中・DF）、山田暢久（藤枝中・MF）、太田渉（藤枝中・FW）、寺田靖（附属島田中・MF）、高橋卓士（大洲中・GK）河村聡（島田二中・MF）と六人となっている。

県選抜チームは二月三日、四日に焼津石津浜スポーツ広場で強化合宿を行った後に二月十一日、愛知県口論議運動公園で開かれた東海地区選抜大会に出場。

優勝した県を中心に東海選抜チームを編成し、三月下旬の全日本中学生選抜大会へ出場する。平三総体ではこの十六人の中から活躍する選手が一人でも多く出ることを期待したい。

静岡県中学校サッカー選抜選手名

No.	選手名	位置	所属	地区
1	川口　能活	GK	東海一中	静岡
2	鈴木　章史	DF	清水庵原	清水
3	小川　雅巳	DF	清水袖師	清水
4	田中　誠	DF	清水二中	清水
5	安藤　達也	DF	藤枝中	藤枝
6	山田　暢久	MF	藤枝中	藤枝
7	平島　敬太	MF	清水五中	清水
8	河村　聡	MF	島田二中	島田
9	•鈴木　伸幸	MF	清水五中	清水
10	太田　渉	FW	藤枝中	藤枝
11	伊藤　亘	FW	東海一中	静岡
12	平井　寿弥	MF	清水六中	清水
13	落合　博之	DF	清水五中	清水
14	寺田　靖	MF	附属島田	島田
15	清水　龍三	MF	清水五中	清水
16	高橋　卓士	GK	大洲中	藤枝

監督	青木　平八	清水市立小島中
コーチ	二見　有	焼津市立大富中
コーチ	岡本　知之	浜松市立江南中

ヤングサッカーニュース 購読者を受け付け

ヤングサッカーニュースでは現在一般購読者の受け付けを行っています。

ヤングサッカーニュースは中西部地区の青少年のサッカー向上を目的に月一回発行しているもので、地域のサッカー情報や県の情報などを満載して、今回で21号を数えます。

この一般購読者の売上の一部はサッカー育成のために使われることになっています。

この新聞の趣旨にご賛同していただける方は次のところまで年間購読料二千円を添えて申し込んでいただければ幸いに思います。

中西部社会人リーグ終了 一部はバンヤン 二部は焼津FC 三部はドランカーズ それぞれ優勝

平成元年度中西部社会人サッカーリーグが終了し、一部リーグではバンヤン・ヒューストン、二部リーグは焼津FC、三部リーグはFCドランカーズがそれぞれ優勝した。また得点王は一部が八木澄人、池田徹（バンヤン・ヒューストン）で11得点、二部は鈴木達夫（焼津FC）、伊藤智（金谷チャッキリーズ）それぞれ9得点、三部はⒶ堀田則昭（碌々産業）九得点Ⓑ藤野大（大井川町役場）11得点だった。結果は次のとおり。

▽一部 ①バンヤン・ヒューストン②焼津信用金庫③バイエルン④日清紡藤枝⑤清紡島田⑥FCバイオレンス⑦FCグリーン⑧科研製薬⑨島商クラブ⑩東海積水（棄権）

▽二部 ①焼津FC②FCジャパン③自衛隊静浜④金谷チャッキリーズ⑤豊友クラブ⑥博多っ子⑦ファインFC⑧FCオリーブ⑨ツムラ（棄権）⑩遠州榛原（棄権）

▽三部 ①FCドランカーズ②大井川町役場③テクニシャンズ④矢崎ゆワイターズ⑤碌々産業⑥富士フィルム⑦ニシダFC⑧東海パルプ⑨オカモト⑩島田理化⑪バルテール⑫島田信用金庫⑬村上開明堂⑭ロートル島商（棄権）

■藤枝・岡部地区■
山本輝雄＝藤枝市兵太夫三〇五－六、TEL35－5481番

■焼津・大井川地区■
深津敏夫＝焼津市小川九二七－一、TEL28－7783番

■島田・北榛地区■
飯塚喜好＝島田市岸町一二八六－二、TEL35－1166番

■榛南地区■
海瀬敬＝榛原郡榛原町細江一〇七〇－四、TEL22－3099番

島田サッカーフェスティバル開催

主催　島田市サッカー協会
期日　三月十一日（日）
会場　島田市民サッカー場
日程
九時　開会式
九時三十分　少年団の部決勝
十時二十五分　中学生の部決勝
十一時四十分　女子の部エキジビション
十二時三十五分　高校の部エキジビション
十四時　社会人の部決勝
十五時十五分　閉会式

2月・3月の予定

少年団
- 2月17日(土)、2月18日(日)
  第16回つま恋招待サッカー大会　（掛川市つま恋サッカー場）
- 2月25日(日)、3月4日(日)、3月11日(日)
  第4回ヤオハンカップ県ミリン少年サッカー選手権大会
- 3月4日(日)　藤枝・島田支部予選
  第15回和田カップ新人戦　（焼津和田小G他）

中学
- 3月4日(日)
  ヤングサッカーフェスティバル

高校
- 3月4日(日)
  ヤングサッカーフェスティバル
- 3月17日(土)、18(日)　県高校新人サッカー

社会人
- 藤枝市内リーグ
  県女子サッカーリーグ
- 2月18日(日)、2月25日(日)（静岡山崎新田G）

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■
▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽ホテルシルビア（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽松田園（二口）
▽ダックユニオン㈱（二口）
▽ヤマミ水産㈱
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱翌桧建設
▽㈱ぼたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック檸
▽静穏倉庫㈱
▽東洋オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ滝井
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈲スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽一品料理 磯乃屋
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス㈱
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽少年委員会榛原支部
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油㈱
▽ライフスポーツ
▽ベンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽佐藤工業所㈱
▽㈲竹下冷市商店
▽レンタルプラザ㈱
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽㈱中部エージェンシー
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建

■個人■
▽山口森三　▽中山春尚
▽松永　臻　▽後藤美喜保
▽和田三司（二口）
▽平木理平
▽青島武夫
▽鈴木喜好　▽柴田二郎
▽滝本義三郎　▽深津敏夫
▽丸山慎也　▽松田真平
▽海瀬　敬　▽鈴木昌則
▽小黒久男　▽見崎充洋
▽山竹利一　▽原田昇左右
▽石上瞬二　▽加藤金吾
▽山本輝雄　▽植田永二
▽松永信夫　▽岩田　規
▽八木敏夫　▽杉本久雄
▽山村候史　▽勝沢　勝
▽橋本譲嗣　▽大塚博己
▽斉藤寛之　▽半田一雄
▽鈴木啓文　▽若杉　要
▽大石悦郎
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽詩田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽彬寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽龍寿し（大井川町）
▽御前崎観光ホテル
▽前田書店
▽ヴィヴィエール榛原（二口）
▽㈱飯塚工務店
▽㈱セイナン・アート
▽斉藤設計事務所
▽日新観光

特別賛助・購読会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご理解を賜り、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集しております。

藤枝市高柳一丁目一八－二三
共立印刷株式会社
☎0546（二五）四六五一

＊特別賛助会員　一口　一万円
＊定期講読会員　年間二、〇〇〇円
●現金または切手
●送料共

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 3

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

第22回NTTカップ静岡県サッカースポーツ少年団大会

ベスト4に西益津・焼津西・大洲

西益津小第一が初優勝



背No.	選手名	学年	背No.	選手名	学年
1	西形信吾	6	10	安達元志	6
2	小沢達	6	11	水嶋大雄	6
3	上口直也	6	12	増田透	6
4	山本祥久	6	13	西形裕介	6
5	水沢敏紀	6	14	小田大助	6
6	青島伸幸	6	15	飯田剛士	6
7	服部昌利	6	16	酒沢直哉	6
8	塚口哲也	6	17	堀江啓介	6
9	滝本将史	6	18	横山純子	6

総評

二月十一日、第22回静岡県サッカースポーツ少年団大会が長泉スルガヒルサッカー場において行われた。

同大会の決勝は西益津小第一が過去準優勝二回の名門焼津西を2対1で下し、初優勝を飾った。

後半三分に焼津西CF桜井に先制点を許したが、その直後の五分に西益津のCF滝本が同点ゲット。両チームCFのがんばりで互角のゲームとなった。

試合は延長かと思われた後半十九分にまたも滝本が二点目を挙げ、鮮やかな逆転勝ちをおさめた。

この日は、折りからの強風と雨でグラウンド状態は最悪で、両チーム選手は泥だらけになりながらの大接戦となった。

この大会は、県内予選参加が320チームを数え、まさに大熱戦の大会だったが、中西部管内の大洲・焼津西・西益津の3チームがベスト4に残る活躍を見せ、まさに「サッカーの町中西部」を思わせる大会だった。

特に優勝した西益津チームは、CF滝本を柱にMF青島・DF小沢・GK西形と中心選手に優秀なプレーヤーを配置し、県大会六試合を完勝した。中でも小沢を中心としたDFのがんばりは目を見はるものがあり、総失点1に相手を抑えこんだ。

また攻撃陣も6試合21点とどこからでも点の取れるサッカーを展開し、「サッカーは攻撃なり」を見事に見せてくれた。

この大会を機会に、中西部サッカーのますますの発展と次年度第23回大会は藤枝地区の開催となるので、現五年生の今後の活躍を期待したい。

西益津小第一 監督 桑原栄

三年生の時、上級生（六年）になったら、県大会に出場する事を説明、約束しました。

十二月十日地区予選一位で出場が決まってから、子供たちと、「三年生の時、約束したことができたね」と全員で喜びました。そこで私は、「本大会はとにかくベスト8入りを目標に頑張っていこう。ベスト4に入ったら、どこのチームと対戦しても必ず勝つと強い信念を持って試合に望んでもらいたい」と約束し、それが優勝につながったのだと思います。

三年生の時サッカーボールで遊ぶ事を指導し、四年生になって遊びの中のゲーム、五年生では、三、四年生で学んだ基本を重点に練習の中に取り入れ、強いパス・シュート・ボールタッチ等指導してきました。六年生になって、練習試合を多くやり、試合の中で良い事悪い事を自分で学び、パス出し・走り込み・攻める事・引く事・頭を使ったプレーを自分たちで考える事を指導しました。特にラフプレーを強くしかり、逆に良いプレーをした時は全員で喜ぶようにしました。私もおおいにほめてやりました。

暑い夏休み中、二月の寒い時期の県大会に良い結果が出ると一人一人言い聞せ、はげしい練習を繰り返し、遠征も多く取り入れました。

また、十一月の松永杯に必ず勝てると子供たちに言い、私も子供たちに多く接し、子供たちは「コーチも頑張っているから僕たちも頑張ろう」とリーグ戦が終った頃から自然に目標に向かっていました。

松永杯に参加する頃私の目には、子供たち一人一人が、強い頑張りの気持ちを持った巨人のように映りました。

苦しい時全員で頑張り、一緒に笑い泣いた。それが現在の強いチームになった理由だと思います。

子供たちも私もお互いを信じ、太いパイプ（信頼感）で結ばれている事を確信して県大会に望みました。

その結果、初のベスト4入り、優勝の二文字を勝ち取ることができたのだと信じています。

不勉強な指導者の私が、優勝できたのも子供たちと一緒に遊び、子供たちから学んで来たからだと思います。また皆様方の温いご支援ご指導本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

主将 滝本将史

西益津小は、今まで県大会で一回も優勝したことがなかった。だけど初めて第22回大会で優勝することができた。

三年生のころから、六年の県大会に向けてみんなでがんばってきた成果が出て優勝する事ができた。

僕たちが大会中特に注意した事は、かぜがはやっていたのでかぜをひかないようにする事、練習などでけがをしないという事です。もし、かぜやけがの人が一人でもでたらいつもの力が出せず困るからです。

こういう事が守れたので一人ひとりの力が出せて優勝につながったと思います。

決勝戦では、雨と風がとてもひどくどろんこ試合になってしまいました。

前半が0対0で終わり、後半始まってすぐ点を取られてしまったけど、まだまだ時間があったので、一点取り返せると思っていたからあせらなかった。思っていたとおり、すぐ一点取りもどせた。最後に一点入れて優勝できた。すごくうれしかったです。

県大会のためにがんばって優勝でき、とても良い思い出になりました。



西益津小第一サッカー少年団



監督 桑原栄



コーチ 須藤博





































東海地区選抜大会
静岡県選抜2年ぶり10回目の優勝

中西部トレセンから五人が東海選抜チームへ

去る二月十一日、東海地区選抜大会が愛知県ロ輪議サッカー場で行われ、静岡県選抜チームは二年ぶり十回目の優勝を果たした。

結果は次の通り。

〈一回戦〉

県選抜3（1－1／2－0）1愛知県

〈決勝〉

県選抜2（0－1／1－0／0－0／1－0）1岐阜県

あいにくの天候であったが技術の差、闘争心が最後まで途切れなかった事が勝因であろう。しかし、年々他県との差は縮まっている。今後の課題として、①より激しいプレッシャーの中で発揮できる技術の向上を図る②運動能力・体格に優れた素材の発掘を図る事が必要である。

また、この大会で活躍した選手十六名が東海選抜チームとして、第十三回全日本選抜中学生サッカー大会へ出場する。中西部トレセンからは五名が選ばれた。

この全日本選抜大会は、『日本サッカー協会では従来の短期的選手強化の繰り返しを反省し、「トレーニングセンター構想」を設定した。中学生年齢層の優秀な素材に良い環境を与え、一貫指導によりトップレベルにまで育成強化するトレーニングセンターの基盤となる各都道府県トレーニングセンターと千葉船橋スポーツセンターの二ヶ所。

試合日程は次の通り。

27日（巣鴨）東海1－中国（10時）／東海1－関東（14時30分）

28日（千歳）東海1－トレセンF（13時）／東海1－北信越（16時）

29日（巣鴨）東海1－北海道（13時）

30日（巣鴨）A・Bブロック優秀選手対抗戦（10時）／決勝戦（11時30分）

手が漏れなく吸い上げるよう、大会の充実を計りたい』を趣旨として三月二十六日から三十日まで開催される。会場は東京・巣鴨スポーツセンターと千葉船橋スポーツセンターの二ヶ所。


全日本選抜大会へ挑む東海選抜チーム

日本代表

日本ユース代表（20才以下）

日本ジュニアユース（16才以下）

全日本選抜中学生サッカー大会

各地域トレーニングセンター(9)

各都道府県トレーニングセンター(47)

第10回 全国中学校交歓サッカーフェスティバル 開催

第十六回全国中学校交歓サッカーフェスティバルが、三月二十五日より三十一日まで藤枝中グラウンド他七ケ所の中学校グラウンドを会場として開催される。

【参加チーム（順不同）】

摂津三・丸岡・豊正・南総・名張・蘇原・古河一・梅坪台・吹田六・大槌・那加・神川・平城西・大谷口・伊藤・北宇治・東松山東・西笹川・太秦・日比野・海南二・阿武野・結城南・堺・豊田TC・大庄東・駒留・乙川・高田・高槻四・佐屋・壬生・石橋・松本松島・如是・石神井東・大淀・北本西・富士松・韮崎東・姉崎・大高・高針台・刈谷南・山の下・富田・楠・津幡・関・藤枝・青北・丸岡・高洲・榛原・大洲・六合・御前崎・島田二・初倉・瀬戸谷・大村・鬼怒・西益津・港・大富・和田・大井川・島田一・青島・島田付属・豊田・相良・小川・吉田・焼津・東益津・藤

東海選抜チーム選手名簿

指導者	青木平八	清水小島中	指導者	青島信裕	島田一中
	岡本知之	浜松江南中		岡村和彦	大井川中
	西村　勉	清水興津中		高田和宏	各務原市鵜沼中

○は中西部地区の選手

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	川口能活	東海一中	9	鈴木伸幸	清水五中
2	鈴木章史	庵原中	⑩	太田渉	藤枝中
3	田中誠	清水二中	11	伊藤亘	東海一中
4	小川雅巳	袖師中	12	平井寿弥	清水六中
⑤	安藤達也	藤枝中	13	木村力	名古屋県立登正中
6	平島敬太	清水五中	14	森直樹	四日市市立常盤中
⑦	山田鳴久	藤枝中	15	小原武志	組合立境川中
⑧	河村聡	島田二中	16	高橋卓士	大洲中

県女子サッカーリーグ結果

二月十八日
焼津Q1（0－0／1－0）0静岡レディース

二月二十五日
藤（0－0／1－0）0常葉大学

本田技研VS日立製作所
藤枝市民Gで開催





"観戦記" 中西部サッカー協会少年部長 山本輝雄

中西部サッカー協会の運営による日本リーグの試合が、二月十日に藤枝市民グラウンドにおいて会場に入り切れない程の大観衆の見守る中で行われた。試合に先立ち、中西部サッカー協会・松田真平会長の歓迎の挨拶と地元大洲サッカー少年団出身で本田技研チームの主将・倉田選手への花束贈呈などのセレモニーが行われた後、午後二時試合が開始された。

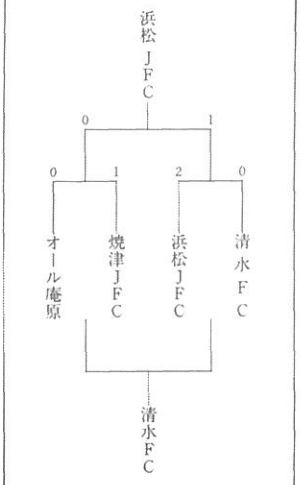
試合は、日本リーグの先輩格の本田技研チームが総攻守とともに勝り、終始押し気味に進みながら前半は0対0で終了。

しかし後半五分、本田技研のベテラン関塚が先制点を挙げ、その後も多彩な攻撃を仕掛けるも、日立DFの体を張った守りに1対0のまま試合が続いたが、36分本田の北澤が決定的な2点目を挙げ、試合は決まった。

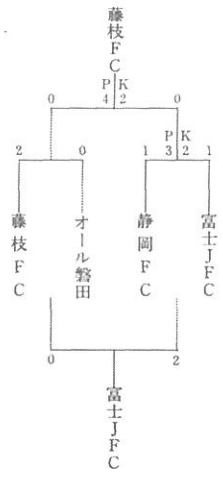
念願の日本リーグの開催・運営にあたり、中西部サッカー協会の組織力をフルに動員し、運営並びに観衆動員に当たられた各種別の役員に敬意を表すと共に、次回開催を期待するものです。

つま恋少年サッカー選抜大会（５年生）
焼津ＪＦＣ準優勝

1位トーナメント成績



2位トーナメント成績



第十六回つま恋少年サッカー選抜大会（５年）が、二月十七日、十八日の両日、つま恋サッカー場で開催された。

いつもこの時期に開催される本大会は、雨と寒さがここ数年続いていたが、今回はめずらしく２日間とも好天に恵まれ、好試合が続出した。



十七日、県内から選抜された十六チームは四チームずつ四ブロックに分かれ、リーグ戦二試合を行った。中西部地区からは、焼津ＪＦＣ、大井川ＦＣ、藤枝ＦＣ、オール島田、榛原東、榛原西の六チームが参加した。翌十八日は残されたリーグ戦一試合を行った結果、焼津ＪＦＣが一位トーナメントに進出、二位トーナメントにオール島田、榛原東、榛原西、四位トーナメントに大井川ＦＣという結果になった。

中西部の期待を担った焼津ＪＦＣは、準決勝で強豪のオール庵原を一対〇で一蹴。清水ＦＣを破った浜松ＪＦＣと優勝を争うことになった。

初優勝を狙う焼津ＪＦＣと過去二度優勝している浜松ＪＦＣは午後二時半、全員が見守るなかキックオフ。序盤戦から白熱した好試合となった。試合開始と同時に焼津ＪＦＣは果敢に攻め込んだがゴールならず。一方、浜松ＪＦＣも徐々にペースをつかみ10分、左からのセンターリング、これを焼津ＪＦＣのＧＫ柳田が好捕した。しかし一進一退で前半は〇対〇で折り返した。

後半に入り開始直後の二分、浜松ＪＦＣは左から強烈なシュートを放ち焼津ＪＦＣのＧＫ必死にとめたかに見えたが前にはじき、これを素早く浜松に蹴り込まれ先制点を許した。先行された焼津ＪＦＣは四分、右コーナキックのチャンスをつかみ、混戦の中からシュート。ゴールを割ったかに見えたが相手ＢＫにクリアーされ、惜しいチャンスを逸した。

その後もはげしいプレーで選手が二度三度と倒れるシーンがあり、お互いあくなき勝利への執念が浮きぼりにされた。しかし焼津ＪＦＣの必死の追撃もあと一歩及ばず、一対〇で涙をのんだ。

今回の大会は四月から始まる全日本予選の戦力分析をする格好の大会である。

惜しくも優勝を逸した焼津ＪＦＣを筆頭に中西部地区他５チームも、これからの精進次第では全日本大会出場も夢でもないような気がした。

なお個人賞で最優秀ＤＦ賞に焼津ＪＦＣ柳田崇選手が選ばれた。



ヤオハンカップ県ミリン少年サッカー大会志太予選
港小優勝

ヤオハンカップ県ミリン少年サッカー大会志太予選が二月二十五日、焼津港小グラウンドで行われた。

上位三チームが五月三日から浜松で開かれる県大会へ出場する。

【一回戦】
和　田　1－0　東益津
焼津東　3－1　黒　石
港　1－0　焼津南
岡　部　3－1　小　川

【二回戦】
大井川西　2－0　和　田
焼津西　3－0　焼津東
港　2－1　大　富
豊　田　4－0　岡　部

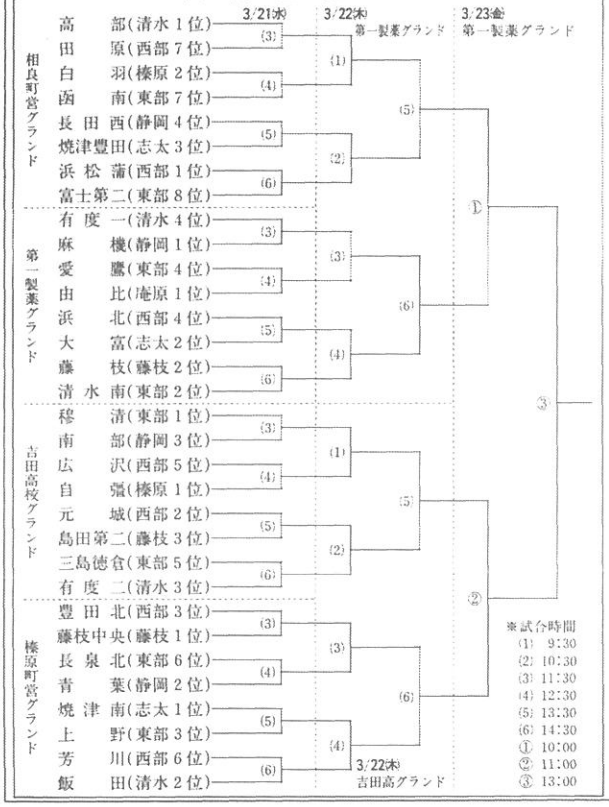
【準決勝】
焼津西　7－1　大井川西
港　5－0　豊　田

【三位決定戦】
豊　田　6－0　大井川西

【決　勝】
港　3－1　焼津西

第５回 静岡県ジュニアサッカー選手権大会（５年生）

大会組合せ



平成元年度静岡県高等学校新人サッカー大会



会場：Ａ＝トヨタ東富士球技場、Ｂ＝トヨタ東富士グランド、Ｃ＝沼津工
Ｄ＝沼津東、Ｅ＝清水工、Ｆ＝静岡北、Ｇ＝焼津中央、Ｈ＝藤枝東
Ｉ＝清水商、Ｊ＝藤枝北

〇印はシード校（東部１～３位、中部１～６位、西部１～３位

県高校新人サッカー大会
藤枝東 惜しくもベスト8

二月十一日から十八日にかけて、平成元年度、静岡県高等学校新人サッカー大会が行なわれた。

中部大会を制して期待された藤枝東だが、惜しくもベスト8に終り、王座奪回にはまたもならなかった。

春のフェスティバルも近い。ますますの練習を積んで、今度こそ、県制覇して欲しい。

高校県選抜のメンバー決る

東高の前田君がキャプテンに



藤枝東高の前田君

島田一中から藤枝東高校へ進み、そして現在藤枝東高校の主将を務める前田仁崇君が静岡県高校選抜南米遠征チームの主将に選ばれた。そこで彼に今後の抱負などを聞いてみた。

ー藤枝東高の主将として今年の目標は？

高校総体、高校選手権の本大会に出場することです。また今までの伝統に恥じない成績を残すようチームをまとめ、長谷川監督の指導のもとにがんばります。

ー県選抜チームの主将に選ばれた今の気持ちは？

服部監督（庵原高校教諭）から聞いた時は全然予想していなく驚きました。中学から今まで県選抜チームに選ばれたのはこれが初めてですが、選ばれたからには、責任を果たすようがんばってきます。南米のサッカーについては静岡のサッカーがどのくらい世界に通用するか楽しみです。また、本場の技術・戦術そして戦う意識の違いを肌で感じ、学んできたいです。

ー今回の遠征には、永井克俊君（藤枝東高校）も選ばれ参加します。二人の活躍を大いに期待したいものです。

日程

3月21日成田発、24日からブエノスアイレス（アルゼンチン）で試合、3月27日からサンパウロ（ブラジル）で試合し、4月2日帰国

平成2年度中西部リーグ編成

	1部リーク	2部リーク		3部リークA
1	遠州コスモス	科研製薬	1	テクニシャンズ
2	バンヤンヒューストン	島商クラブ	2	富士フィルム
3	焼津信用金庫	自衛隊静浜	3	ニシダFC
4	バイエルン	金谷チャッキリーズ	4	島田理化
5	日清紡藤枝	豊友クラブ	5	島田信用金庫
6	日清紡島田	博多っ子	6	村上開明堂
7	FCバイオレンス	ファインFC	7	岡部キッカーズ
8	FCグリーン	FCオリーブ	8	共立印刷
9	焼津FC	FCドランカーズ	9	東海積木
10	FCジャパン	大井川町役場		3部リークB
11			1	矢崎ゆワイターズ
12			2	碌々産業
13			3	東海バルブ
14			4	オカモト
			5	バルテール
			6	ユンケルFC
			7	夢 盟
			8	遠州榛原

東高OB会会誌「千南原」発行

新年初懸り会に参加した有志よりOBの相互連絡と現役激励を兼ねて会誌を発行する事に決定しました。

志太中一回生より現在までの部員より原稿を広く募集して四月中には発行の予定です。OB会総務委員・庶務委員が主になって編集委員会を開催順次発行の運びとなっています。

3・4月の予定

少年団

- 3月21日、22日、23日
  第5回静岡県ジュニアサッカー選手権大会（第一製薬G他）
  （藤枝地区）
- 4月8日、4月22日、5月3日
  第14回全日本少年サッカー大会地区予選（藤枝市内小G）

中学

- 3月25日～31日
  サッカーフェスティバル
- 3月27日、3月30日
  第13回全日本中学生選抜サッカー大会

高校

- 3月28日～4月2日
  中西部高校サッカーフェスティバル

社会人

- 3月下旬
  榛南社会人トーナメント大会（会場相良総合他）

がんばっています

北高マネージャー杉原さんと塚本さん



塚本真紀さん



杉原夕子さん

藤枝北高サッカー部には、二人のマネージャーがいます。情報科学科二年の塚本真紀さんと、杉原夕子さんです。

二人ともサッカーが大好きで、入学するとすぐにマネージャーを志望し、以来ほとんど欠席もなく二年間続けてきました。主な仕事は、スコアの記録と医薬品の管理、それにビブスの洗濯等ですが、他にもこまごまとした仕事を黙々とこなしています。

去年の四月に、やっと部員としての登録が認められ、名実ともにサッカー部の仲間になった彼女達ですが、放課後に早々と帰宅する友人達がうらやましく思えることもあるようです。

寒い冬のグラウンド、遅くまで練習を見つめる彼女達をささえるのは「サッカーが好き」という、ひたむきな気持ちだけです。

華やかなプレーヤーの陰で、こうしたマネージャーの努力が、チームを支えていることを、忘れてはならない——そう思えてなりません。

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

（三口）
▽大光自動車㈱
（二口）
▽井川商店
▽ホテルシルビア
（三口）
▽㈱サンショップ
（二口）
▽松田園
▽ダックユニオン㈱
（二口）
▽ヤマミ水産㈱
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱翌桧建設
▽㈱ぱたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック櫛
▽静穏倉庫㈱
▽東洋オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ滝井
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈲スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽龍寿し（大井川町）
▽御前崎観光ホテル
▽前田書店
▽ツツヅエ化学研究所
（三口）
▽㈱飯塚工務店
▽㈱セイナン・アート
▽斉藤設計事務所
▽日新観光

■個人■

▽山口春尚
▽松永 璋
▽後藤美喜保
▽和田三司（二口）
▽平木理平
▽鈴木喜好
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬 敬
▽小黒久男
▽山竹利一
▽石上瞬二
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽山村悦史
▽橋本謹嗣
▽斉藤寛之
▽鈴木啓文
▽大石悦郎
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽蒋田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽彬寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽見崎充洋
▽原田昇左右
▽加藤金吾
▽植田永二
▽岩田 規
▽杉本久雄
▽勝沢 勝
▽大塚博己
▽半田一雄
▽若杉 要

特別賛助・購読会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご理解を賜り、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集しております。

藤枝市高柳一丁目一八一三
共立印刷株式会社
☎0546（二五）四六五一

＊特別賛助会員
一口 一万円
＊定期講読会員
年間二、〇〇〇円
●現金または切手
●送料共

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 4

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

第５回 静岡ジュニアサッカー選手権大会

藤枝中央初優勝 島田第二は第３位

第５回、静岡県ジュニアサッカー選手権大会（５年生）は、３月21日、22日、23日の３日間榛原地区で開催された。

21日は、県下の予選を勝ち抜いた32チームが、９時30分より第一製薬グランドにて開会式を行ない、その後四会場にわかれ一回戦を戦った。

22日はベスト４をかけた熱き戦いが行われ、ベスト４には藤枝中央、島田第二が残り優勝の２文字に夢をはせた。

23日は準決・決勝が行われ、決勝は島田第二を破った藤枝中央と清水勢の有度一の戦いになった。その結果、藤枝中央が有度一を２対１で退け、県選手権に続いてまたもや中西部勢が優勝を飾った。

また準決でおしくも破れた島田第二も健闘し、第３位に入った。

なお22、23日のウィークデーにもかかわらず運営に御協力していただいた榛原の役員の方々に紙面を借り、厚く御礼申し上げます。



第３位の島田第二チーム



初優勝を飾った藤枝中央

藤枝中央 メンバー紹介



敬田武彦　神村代表　池谷監督



提坂大吾　小宮規央　杉田修一



曽根宏文　大石友一　小林修平　村松洋助　池谷隆宏



杉山裕基　沢本知秀　室賀拓馬　滝　正晴　片岡宏太



青山友瀞　山本将義　小宮章弘　植谷　卓　松沢栄幸



高井雅明　赤坂　暁　遠藤秀一　鶴田龍一　鈴木卓馬

監督 池谷君男

第五回静岡県ジュニアサッカー選手権大会が三月二十一日、二十二日、二十三日の三日間、第一製薬グラウンドをメイン会場とし、榛原地区で開催された。藤枝地区一位で本大会に出場した私たち藤枝中央小少年団が優勝を飾った。

地区予選一位で出場が決まってから子供たちと「ベスト４を目標に頑張ろう」と本大会に望んだ。一回戦は西部四位の豊田北を４対０、二回戦は東部六位の長泉北を１対０、三回戦は清水二位の飯田を２対２（PK６対５）、準決勝は藤枝三位の島田第二を２対０で下し決勝へ進んだ。

得点をみてもわかるように、初戦を除いては、けして大勝はしていない。試合内容は、自分達のペースでゲームをしていたように思えた。相手の攻撃を押えたGKを含めたバックス、中盤のハーフ、前線のフォワードと素晴しいサッカーをした。

特に準々決勝の飯田戦はタイムアップ寸前においつかれ延長戦へ。チャンスはあったものの点が取れずPK戦となってしまった。中央小が先行で五人目が止められた時は、正直「もうダメだ」と思った。しかし、最後まであきらめなかった選手達は、心憎いほど落ちついており、八人目で決着が付いた。

決勝戦は清水四位の有度一。バックの後に大きく鋭り込むキック・アンド・ラッシュ、スピードのあるチームだった。

試合は前半４分に有度一に先制点を許したが、同11分に追いつき、後半10分に逆転に成功。鮮やかな逆転勝ちをおさめた。タイムアップのホイッスルを聞いた瞬間、思わず「やった!!」と叫んでしまった。選手はもちろん応援にかけつけてくれた父母の人達もベンチでもなく、応援団の中にいた五年生の団員のガッツポーズがとても印象的でした。

この大会を振り返ってみると選手一人ひとりが自分の役目というものを充分理解し、頑張った大会だったと思う。

一つの目標が達成された今、次の目標（６年生大会）に向って更に成長する事を期待しています。最後に県大会優勝という素晴しいプレゼントをありがとう。

代表者 神村邦昭

六年生の県大会では過去六回の優勝を重ねている藤枝中央が、この度、五年生の県大会で初優勝を飾ることができました。御支援くださった方々の御期待に応えることができ、本当によろこんでおります。ありがとうございました。

技術的にも、チームとしても、まだまだこれからのチームですが、日頃の練習をみんなで一生懸命がんばってきたことが、団員一丸となった試合展開にあらわれ、勝つことができたと思います。優勝の瞬間の、コート上でもなく、暗くなってもダッシュをやりました。ときどきいやになったけど、がんばって続けてきました。今年の大会では、苦戦もしたけど、決勝まで勝ちのこりました。決勝戦では、くいのないようにがんばって勝てた。また、六年になっても、県下一になりたいです。

W・F 室賀拓馬

ぼくたちは、四年生の県大会のときに準決勝で負けてしまい、とてもくやしい思いをしたので、来年はぜったい優勝するぞという気持で練習をしてきました。県大会が近づくと、練習が終ってから毎日中盤をせいして攻げきができた。後半に室賀君が決め2対1とリードしたが、有度一の攻げきがはげしく、DFも体でふせいで勝つことができた。この試合は今までに一番いい試合だった。皆が一つになって、もてる力を十分に出して、いい型ができ、得点のチャンスがあった。曽根君がフリーキックを決め同点においついてからは、中央ペースでトは、最後まであきらめず、ボールをよく見て、室賀君のつっこみがきいたのだ。

この大会でみんなの力が一つになった。この大会をもとに選手として出たい。かんとくの言うことを聞き、力いっぱい練習し、ワンプレーで終らないように努力したい。

G・K 牧田武彦

決勝戦の試合前、みんなきんちょうしていたので、いつものプレーができるか心配でした。

試合は、立ちあがりに１点を取られたがFWがんばって、いい型ができ、得点のチャンスがあった。曽根君がフリーキックを決め同点においついてからは、中央ペースで攻げきができた。後半に室賀君が決め2対1とリードしたが、有度一の攻げきがはげしく、DFも体でふせいで勝つことができた。この試合は今までに一番いい試合だった。皆が一つになって、もてる力を十分に出して

第13回 全日本選抜中学生サッカー大会

東海選抜チーム惜しくも予選通過ならず

■三月二十七日十時～
巣鴨スポーツセンター
東海選抜　2－0　中国選抜
（前半1－0）
〈メンバー〉▼GK川口▼DF鈴木章、山田、安藤、田中、小川▼MF河村、平島、鈴木伸▼FW伊藤、太田

前半二十九分、相手のGKのオーバーステップで得た間接フリーキックを味方が少し触った後、安藤が直接ゴールを決め0対0の均衡を破った。両チームとも力の差がなく、むしろ中国選抜に良い形を作られていただけに貴重な得点となった。後半終了間際には平井がゴール前をドリブルで突破し2点目をあげた。決定力の差が勝敗を分けた試合であった。

■三月二十七日十四時三十分～
巣鴨スポーツセンター
東海選抜　0－1　関東選抜
（前半0－1）
〈メンバー〉▼GK川口▼DF鈴木章、山田、安藤、田中、小川▼MF河村、平島、鈴木伸▼FW伊藤、太田

前半は立ち上がりから関東の激しいチェックに合い、中盤を支配することができず苦しい試合展開となった。前半十分には東海陣内へ押し込まれたなかでDFの安藤がハンドリングの反則をとられペナルティーキックを与えたが、辛うじてGKの川口がはじきセンタリングが上がったところをDFの田中がまたしてもハンドリングの反則をとられ、今度は関東選抜が確実に決め先取点をあげた。ペナルティーキックの1点ながら、ゲームの中で東海陣内へかなり押し込まれていたのがこの1点につながったとも言える。

後半になり、東海選抜も序々に調子を取り戻しチャンスを作ったが、関東選抜の堅い守りを崩せないままタイムアップとなった。

東海選抜もよく健闘したが、それ以上に関東選抜の激しいチェックと堅い守りが光り、またそれだけでなく一人一人のしっかりした技術も関東選抜に勝利をもたらしたと見える試合であった。

■三月二十八日十三時～
千葉船橋スポーツセンター
東海選抜　2－0　CTC（F）
（前半1－0）
〈メンバー〉▼GK川口▼DF鈴木章、山田、田中、小川▼MF木村（平井）、平島、鈴木伸、安藤▼FW伊藤、太田

前半の立上がりは両チームともドリブルや壁パスなどの局面からチャンスを作ろうとしていたが東海選抜のDFは相手の攻撃を良くしのいだ。東海選抜も時折、右からスルーパスをとおし速い攻撃を試みるがなかなか得点に結びつけることが出来なかった。しかし、前半二十九分右からドリブルで突破しようとした安藤が反則をうけ、自ら右四十五度から約二十mのフリーキックを決めた。後半になり少し動きのよくなった東海選抜であったが、2トップの最終ラインとMFのコンビネーションがなかなか合わず、しかもストライカーの不在で得点を上げることが出来なかった。後半二十五分に中盤からボールを受けた太田がキープしたところへ、相手DFがハンドリングの反則を犯し、太田がペナルティーキックを決め2対0とした。

■三月二十八日十六時～
千葉船橋スポーツセンター
東海選抜　4－0　北信越選抜
（前半1－0）
〈メンバー〉▼GK高橋▼DF鈴木章、山田、田中、小川▼MF平島、鈴木伸、森▼FW伊藤、太田、小原（平井）

前半は立上がりからゲームの主導権を東海選抜が握った。前半二十分、右から平島がドリブルで上がり速く低いボールをゴール前に送り、DFの小川がとびこみ先取点を上げた。後半に入っても、中盤は東海選抜が支配した。後半十分には太田がゴール前で平井から浮玉のパスを受け、鮮やかなボレーシュートを決めた。更に後半二十分にも太田が左からドリブルで突破し、GKも抜いて三点目を上げ、終了間際には平島が平井の右からのセンタリングに合わせ4点目を上げた。この試合で東海選抜は、いままでの2トップから3トップに変えたが、相手のレベルが高くないせいもあったが個人、チームとも戦術的にはかなり安定したようであった。

中西部の選手の活躍と今後の課題

▼GK高橋（大洲中学）
本大会の中では、高いボールに強い川口の起用が多く東海選抜では除に隠れた感じであったが、二日目のゲームではセンタリングのボールにも鋭い反応を見せ好プレーを随所に見せた。

▼DF山田（藤枝中学）
東海選抜ストッパーとして安定したDFを見せた。時々見せたオーバーラップも有効に働くことが多かった。もっと強い選手を相手にしたときのDF、攻守の切り替えの速さ、MFとしての力、リーダーシップなどが今後の課題であろう。

▼DF安藤（藤枝中学）
一日目はDFとして出場し、二日目はMF、FWとして活躍した。守りではやや安定性がストライカーの不在で得点が突破力があるだけにFWとしての動きやボールのもらい方などの今後是非身につけて頂きたい。



雑感

初めてこの大会を取材したのに加え、大会の全部を見たわけでないので間違った見解もあるかもしれないが、幾つか雑感を述べてみたいと思う。

まず、大会そのものであるが、本大会は全日本選抜中学生サッカー大会とはうたっているが地域によってレベルに余りにも差があるために内容が伴っていない感があること。さらに歴代の優秀選手が必ずしも育っていないことに反省の余地があるのではないだろうか。十三年間に二百名の優秀選手を出してはいるが日本代表になった選手は堀池巧、長谷川健太、大榎克己、佐藤康之、松山吉之、武田修宏だけである。

二百余名のうち静岡県出身者は約七十人程であり、ずば抜けて多い。とりわけ清水の選手が多いのは言うまでもないが、今年のCTCのメンバーも三十人のうち静岡県出身者は十三人であり、さらに清水出身者はそのうち九人である。地方では選手を見つけ出す組織が弱いことを割り引いても、これでは日本代表は永久に一つの地域に頼ることにもなりかねず、もっと広く選手が選ばれて行かなければ日本全体のレベルアップは難しいのではないだろうか。

中西部の中学生サッカーに話を戻したい。本大会の静岡県出身者の活躍を見る限り、今年も中西部のチームは苦しい戦いであるのは疑いの余地がないようだ。特に清水五中の生徒の活躍は素晴らしく、とりわけ平島啓太はドリブル突破力、センスとも一番印象に残った選手である。少し厳しいかもしれないが藤枝中学の選手は全体的にやや「天狗」になっている所はないだろうか。彼らにとって、もっと精神的にハングリーになることと、挑戦者としての気持ちを忘れないことがこれからは大切な気がしてならない。

先日、千葉遠征（三月二十七日～二十九日）に来ていた西部中の竹山氏と南部中の増井氏と千葉市内の宿舎で話をする機会に恵まれた。両氏の話からも静岡県西部のチームの熱い闘志を今年も充分感じることができた。藤枝中学、清水五中以外にも虎視眈々と全国大会を狙っているチームが多く在ることを忘れてはならない。これからの中西部のチームの奮起を祈りたい。

（中西部トレーニングセンターコーチ（島田市立六合中学校教諭）池谷英人）



大会の中では、どこのチームも2トップに対するDFがしっかりしていたのに加え、体格的にも相手のDFが優る場面が多く、苦しい状況でプレーすることが多かったようだ（2トップがチーム戦術の中で、やや苦しい所があったこともあるが）。二日目の二試合目に東海選抜はフォーメーションを4－3－3にかえたが、そのときはウイングとして2得点と大活躍をした。太田に今後期待することとしては体力的に優る相手DFに対してのボールのもらい方、キープ力、速い判断力と速いパス、突破力など一層磨いてほしいと思う。2トップとしても十分活躍できる技術、戦術を身につけた選手を目指し頑張ってほしい。

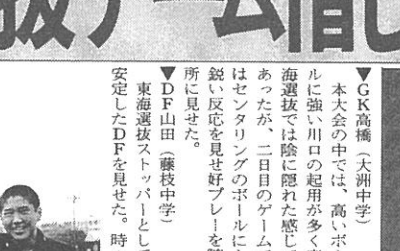
第14回 全日本少年サッカー大会組み合わせ

榛原地区



試合時間/①9:00～ ②10:00～③11:00～ ④12:30～ ⑤13:30～

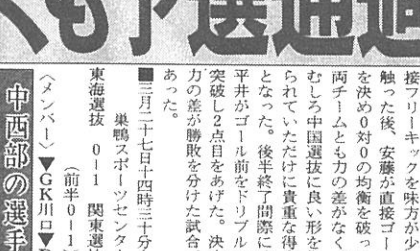
藤枝地区



会場/A西益津　B神座　C藤枝　D瀬戸谷
E藤枝中央　F藤枝市民グランド
試合時間/1.9:30 2.10:30 3.11:30 4.12:30
5.13:30 6.14:30

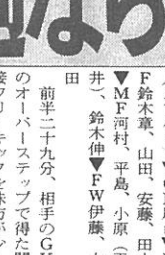
志太地区

〈焼津市予選〉



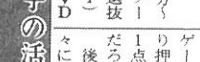
試合時間/①9:00 ②10:00 ③11:00 ④12:00 ⑤13:00 ⑥14:00

〈決勝トーナメント〉4/22 石津浜G



試合時間
①10:00
②11:00
③14:00

〈岡部町予選(岡部小G)〉



試合時間/①9:30 ②10:30

〈大井川町予選(大井川南小G)〉

	大井川FC	大井川東	大井川南	大井川西
大井川FC		1－0	12－0	5－0
大井川東	0－1		4－0	3－0
大井川南	0－12	0－4		0－0
大井川西	0－5	0－3	0－0	

試合時間/9:00・9:50・11:20・12:10・13:40・14:30

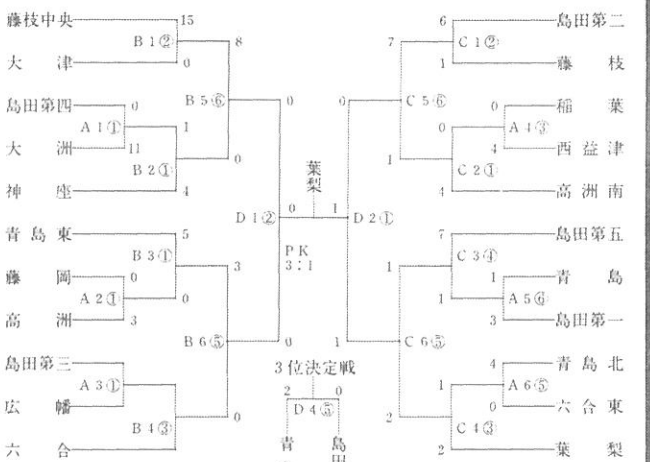
第5回ヤオハンカップ 静岡県ミリン少年サッカー大会（地区予選・四年生）

葉梨が優勝、藤枝中央、青島東も県大会へ

第五回ヤオハンカップ静岡県ミリン少年サッカー大会（四年生県大会）の藤枝・島田地区予選が、二月二十五日、三月四日、十一日の三日間にわたり藤枝市内小学校Gで行なわれました。今年の五月三日から浜松で開催される県大会出場めざし、新四年生のチビッコ選手が三チームのわくをめざして熱戦を展開しました。その結果、藤枝市内の三チームが上位入賞し、本大会への出場権を得ました。

優勝は葉梨小、準優勝は藤枝中央小・第三位は青島東小となりましたが、この三チームはすばらしい選手を多く擁し、本大会での上位入賞が期待されます。特に葉梨小は、強力なFWを擁して県大会優勝をめざす実力を持つすばらしいチームです。昨年度の六年西益津、五年藤枝中央に続き県大会独占をめざし頑張ってほしいものです。

組み合わせ



優勝　葉梨
準優勝　藤枝中央
3位　青島東
上位3チーム県大会出場

平成元年度を振り返って

高校生部長　河村駿

中西部地区には、高校のチームが十五チームあります。少年団、中学校のレベルアップもあって、榛原地区、島田地区、藤枝地区、大井川地区、いずれの地区のチームも力が接近してまいりました。新人戦、県総体、選手権をふりかえってみますと、やはり藤枝東チームが技術的にも精神的にも安定した力を出しております。特に運動量、スピード、トップスピードの中での正確なプレー、は他のチームが模範としなくてはなりません。県の上位に勝ち進む要素として、これらのプレーを身につけてほしいと思います。

今一歩で勝ち残れない原因として、相手のディフェンスとの一対一の場面でのボールのよりの遅さが、自分のプレーの余裕をなくし、ミスパス、心のこもっていないパスにと展開し、チームに悪い状態を作ってしまうケースが多く見られました。これは一つの例にすぎませんが、まだまだチームによっては反省材料は、たくさんあると思います。

初心にかえって基本的なプレーをもう一度みなおしてほしいと思います。この地区の高校レベルも上がってまいりました。選手一人一人が自信と余裕をもてれば今まで以上の成績はまちがいないと思います。日頃の学校での部活動で精一杯努力し常に目標を高く持って頑張って下さい。今年度は藤枝東チームが優勝はのがしたものの、選手権では準決勝まで進みました。優勝の二文字のプレッシャーの中で力のすべてを出し切って頑張ってくれました。この気持ちを新チームの選手諸君もプレーの中で現わして下さい。又他のチームもサッカーは一対一で戦うものではありません。十一対十一の戦いです。高い目標にむかって若いエネルギーを爆発させましょう。

中学生部の活動を振り返って

中学生部長　青島信裕

平成元年度はじめて中学生部長という立場に立ち一年間校務教育のため、たいへん各学校の部活動に対しての考え方、方法等にちがいがあり、充実した活動ができたと言い切れないところがあったと感じます。その充実を目標に来年度ができました。この紙面をおかりしてお礼申し上げます。

さて、反省点としては、義務の過ぎました。力不足で充実した活動はできませんでしたが、各学校の顧問の先生方の協力のおかげで終了することができました。この紙面をおかりしてお礼申し上げます。

第5回静岡県女子サッカーリーグ結果

第五回静岡県女子サッカーリーグが終了した。中西部地区の藤枝姉妹FC、焼津クィーンズの両チームは、ともに二位、三位と健闘したが、まだ清水FCには及ばず、レベルの大きな差を感じさせた。

また、四月二日には第五回女子サッカーリーグの反省会と第六回リーグについての話し合いもたれ、広く意見交換が行なわれた。

ただ今、藤枝姉妹FC、焼津クィーンズでは会員を募集中。問い合わせ、申し込みは藤枝姉妹41―0667杉山、焼津県大会独占をめざし頑張ってほしいものです。

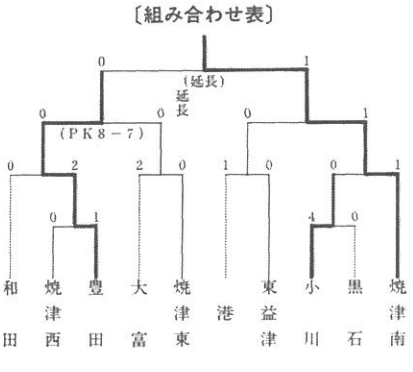
3深津まで。

第5回　静岡県女子サッカーリーグ成績表

チーム＼対戦相手	沼津沢田クラブ	焼津クィーンズ	藤枝姉妹FC	清水FC	清水FCママ	静岡レディース	常葉大	勝	分	敗	勝点	得点	失点	得失点	順位
沼津沢田クラブ		0-0	0-11	0-11	0-1	0-2	1-0	1	1	4	3	1	25	−24	6
焼津クィーンズ	0-0		2-2	0-15	3-1	1-6	1-0	3	2	1	8	7	18	−11	3
藤枝姉妹FC	11-0	2-2		0-10	2-0	3-0	1-0	4	1	1	9	19	12	7	2
清水FC	11-0	15-0	10-0		11-0	7-0	8-0	6	0	0	12	62	0	62	1
清水FCママ	1-0	1-3	0-2	0-11		2-2	4-0	2	1	3	5	8	18	−10	5
静岡レディース	2-0	0-1	0-3	0-7	2-2		3-0	2	1	3	5	7	13	−6	4
常葉大	0-1	0-1	0-1	0-8	0-4	0-3		0	0	6	0	0	18	−18	7

第15回和田カップ新人戦 焼津南優勝

〔組み合わせ表〕



中西部社会人リーグ試合日程決まる

（会場は全て日清紡藤枝グランド）

1部リーグ日程表

節	日程	当番チーム（審判）	第1試合（9：00～10：25）	第2試合（10：35～12：00）	第3試合（12：10～13：35）	第4試合（13：45～15：10）	第5試合（15：20～16：45）
1	4/15	焼津信用金庫	コスモス－FC ジャパン（FCグリーン）	焼津信用－FC グリーン（ヒュートン）	ヒュートン－焼津FC（バイエルン）	バイエルン－バイオス（日清紡藤枝）	日清紡－日清紡田（焼津信用）
2	4/22	コスモス	バイエルン－日清紡田（焼津FC）	コスモス－焼津FC（バイオレンス）	焼津信用－バイオレンス（ヒュートン）	ヒュース－FC グリーン（コスモス）	
3	5/13	ヒュートン	日清紡－焼津FC（バイオレンス）	ヒュース－バイオレンス（FCグリーン）	コスモス－FC グリーン（日清紡田）	焼津信用－日清紡田（バイエルン）	バイエルン－FC ジャパン（ヒュートン）
4	5/20	バイエルン	FC グリーン－焼津FC（日清紡藤枝）	バイエルン－日清紡田（日清紡島田）	ヒュース－日清紡田（コスモス）	コスモス－バイオレンス（FCジャパン）	焼津信用－FC ジャパン（バイエルン）
5	5/27	日清紡藤枝	バイエルン－FC グリーン（焼津信用）	日清紡藤枝－焼津FC（バイオレンス）	バイオレンス－焼津FC（FCジャパン）	ヒュース－FC ジャパン（日清紡島田）	コスモス－日清紡田（日清紡藤枝）
6	6/3	バイオレンス	バイオス－日清紡枝（FCグリーン）	FC グリーン－FC ジャパン（コスモス）	コスモス－バイエルン（焼津FC）	日清紡－焼津FC（バイオレンス）	
7	6/10	日清紡島田	バイオレンス－FC ジャパン（FCグリーン）	日清紡田－FC グリーン（焼津FC）	焼津信用－焼津FC（コスモス）	コスモス－日藤（ヒュートン）	ヒュース－バイオレンス（日清紡島田）
8	6/17	FCグリーン	ヒュース－日清紡枝（バイオレンス）	FC ジャパン－バイオレンス（FCジャパン）	日清紡－FC ジャパン（バイエルン）	バイエルン－焼津FC（焼津信用）	焼津信用－コスモス（FCグリーン）
9	6/24	焼津FC	日清紡－FC グリーン（FCジャパン）	焼津FC－FC ジャパン（コスモス）	コスモス－ヒュース（焼津信用）	焼津信用－バイオレンス（日清紡島田）	日清紡－バイオレンス（焼津FC）

2部リーグ日程表

節	月日	当番（グランド）	第1試合（9：00～10：25）	第2試合（10：35～12：00）	第3試合（12：10～13：35）	第4試合（13：45～15：10）	第5試合（15：20～16：45）
1	4/15	科研（大井川町両川敷）	自衛隊－FC（科研）	科研－ドランカーズ（金谷チャッキーズ）	金谷チャッキーズ－島商（博多っ子）	博多っ子－FC（大井川町役場）	豊友－大井川町役場（ドランカーズ）
2	4/22	島商（大井川町両川敷）	博多っ子－FC（自衛隊静浜）	自衛隊－島商（FCオリーブ）	豊友－FC オリーブ（ドランカーズ）	科研－大井川町役場（科研）	科研－島商
3	5/13	自衛隊静浜（自衛隊静浜）	島商－博多っ子（金谷チャッキーズ）	自衛隊－金谷チャッキーズ（大井川町役場）	豊友－FC オリーブ（ファインFC）	豊友－ファイン FC（FCオリーブ）	科研－FC（自衛隊静浜）
4	5/27	金谷チャッキーズ	自衛隊－ドランカーズ（博多っ子）	金谷チャッキーズ－博多っ子（FCオリーブ）	FC－大井川町役場（ファインFC）	科研－ファイン FC（豊友クラブ）	豊友－島商（金谷チャッキーズ）
5	6/10	豊友クラブ	FC－ドランカーズ（金谷チャッキーズ）	金谷チャッキーズ－豊友クラブ（自衛隊静浜）	自衛隊－博多っ子（ファインFC）	ファイン－大井川町役場（島商）	科研－島商（豊友クラブ）
6	6/24	博多っ子	ファイン－FC オリーブ（ドランカーズ）	博多っ子－ドランカーズ（島商）	島商－大井川町役場（科研）	科研－金谷チャッキーズ（自衛隊静浜）	自衛隊－豊友クラブ（博多っ子）
7	7/1	ファインFC	科研－自衛隊静浜（ドランカーズ）	ファイン－FC（島商）	島商－FC オリーブ（豊友クラブ）	豊友－博多っ子（大井川町役場）	金谷チャッキーズ－大井川町役場（ファインFC）
8	7/8	FCオリーブ	島商－ファイン FC（金谷チャッキーズ）	金谷チャッキーズ－FC オリーブ（科研）	科研－博多っ子（大井川町役場）	自衛隊－大井川町役場（ドランカーズ）	豊友－ドランカーズ（FCオリーブ）
9	7/15	大井川町役場（大井川町両川敷）	金谷チャッキーズ－ファイン FC（博多っ子）	博多っ子－大井川町役場（自衛隊静浜）	自衛隊－FC オリーブ（豊友クラブ）	科研－豊友クラブ（島商）	島商－ドランカーズ（大井川町役場）

予備日：5/20、6/3、6/17、7/22、7/29

藤枝サッカーの歴史がひと目で

藤枝市郷土博物館で5月13日まで



郷土博物館学芸員　鈴木路子

すでにヤングサッカーニュースを始め、新聞・テレビなどでお知らせしたとおり、現在藤枝市郷土博物館で企画展「サッカーのまち・藤枝」を五月十三日まで、開催しています。

博物館に入って、エントランスホールには昭和三十九年高校サッカー選手権大会で藤枝東高校が初優勝したときのパレード写真が特大パネルに引き伸ばされて展示されています。優勝を心から歓ぶ市民の表情が生き生きと伝わってきます。「サッカーのまち」を象徴する写真です。

展示室入口には、竹と縄で作ったゴールを置いてありますが、これは旧制志太中一回生が、練習中に自分達の手で作ったと言うゴールを再現したものです。

展示は、藤枝サッカーの歴史を理解してもらえるように構成されているもので、蹴球が志太中の校技として取り入れられた頃の資料から始まっています。志太中卒業生二人が出場した一九三六年ベルリンオリンピックの貴重なアルバムやメダル。また優勝チームは野球のユニフォーム姿といった、志太中主催の郡下小学生蹴球大会の写真は今の小学生に是非見てもらいたいものの一つです。

さらに、戦後の復興期を経て、いよいよ「サッカーのまち」へ歩み出した頃の天皇杯会場、国体蹴球会場風景の写真・パンフレット・バッジなど記念品の数々を展示しています。「サッカーのまち」の名を不動のものとした高校サッカーの軌跡、東高卒業生が出場した東京、メキシコオリンピックの資料。山口芳忠氏のご好意によりメキシコオリンピック銅メダルも出品していただきました。

そのほか、市内各チームのユニフォームやベンチコートなど小・中学生、社会人、女子チームの活躍を示す数多くの品々が所狭しとばかりに展示してあります。また、フットボールの歴史や江戸時代に藤枝でも行われていた蹴鞠（けりまり）についての説明もあります。

春休み中は、中西部地区に全国から小・中・高校生がサッカーフェスティバルに参加され、他県のサッカー関係者にも多く来場していただきました。藤枝サッカーの歴史の深さを十分理解していただけたのではないでしょうか。

四月から五月にかけては、蓮華寺池公園が大いに賑わいを見せる頃です。一人でも多くの人に、藤枝サッカーの歴史を、また常設展で藤枝の歴史についても知っていただければ幸いに思います。

輝やく戦士④

第十三回全日本選抜中学生サッカー大会が三月二十七日より三十日の四日間、東京で開催された。この大会は全国十地域の選抜チームとCTCチーム（全日本少年サッカー大会優秀選手）で編成された合計十二チームを二つのブロックに分け、一位チームが優勝を争う大会である。

東海選抜チームには中西部トレセン所属からは高橋卓士（大洲中）安藤達也、山田暢久、太田渉（以上藤枝中）河村聡（島田二中）が出場した。

東海選抜チームはAブロックで関東選抜に惜敗し、二位となり決勝戦に出場できなかった。

この大会は、将来の日本代表チームの登竜門になる大会であり個々の能力を高める大会でもある。

試合終了後、最も大会で活躍した優秀選手が発表され、山田暢久、安藤達也の二選手が選出された。

安藤選手は、スピードがあり、得意のドリブルとFKで二得点をあげ活躍した。

山田選手はストッパーとして全試合に出場し、時折見せるオーバーラップがチームの攻撃のリズムに厚味を加え、チームに貢献した。

二人の今後の活躍が楽しみである。



安藤達也君



山田暢久君

4月・5月の予定

少年団

- 4月15日・22日・5月3日
  第14回全日本少年サッカー大会藤枝島田地区予選会　（藤枝市民G他）
- 4月22日
  全日本少年サッカー大会志太支部決勝　（石津浜グランド）
- 5月3日～
  第25回藤枝市少年サッカーリーグ戦、開会式第一節　（市内小学校G）
- 4月30日～5月3日
  フジパンCUPジュニアサッカー大会志太支部予選　（大井川河川敷）
- 4月22日・4月29日
  第14回全日本少年サッカー大会榛原地区予選　（金谷第一製薬G他）
- 4月30日～
  榛原郡少年サッカー春季リーグ戦　（各小学校G）
- 4月29日
  第16回島田市小学生サッカーリーグ戦開会式　（島田市民グランド、神座スポーツ広場）

中学

- 4月18日
  中西部中学生部総会　18：00市役所
- 4月22日
  中西部トレーニングセンター選考会　藤枝中
- 4月29日・30日
  松永杯（兼ふれあいカップ中学選手権大会中西部予選）　（藤中・西中他）
- 5月6日
  松永杯準決・決勝　（藤枝中）

高校

- 4月15日・21日・22日・29日・30日・5月3日・4日・6日
  高校総体　中部地区予選　（各校グランド）

社会人

- 4月15日・22日・5月13日
  中西部リーグ1～3部リーグ戦
- 4月15日～22日
  焼津社会人リーグ
- 5月13日
  第6回県女子リーグ開幕

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■（三口）
▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽㈱中部エージェンシー（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽松田園（二口）
▽ダックユニオン㈱（二口）
▽ヴィヴィエール平安閣（二口）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぼたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽鈴木食品工業
▽静穂倉庫
▽東洋オートパーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽㈲永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ペンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽蒋田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽彬寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光
▽原田造園㈱
▽㈲大杉組
▽喫茶 章
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈲水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルベンディング

■個人■
▽山口森三
▽松永 臻
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田 規
▽杉本久雄
▽大塚博己
▽半田一雄
▽若杉 要
▽橋渡温徳
▽中山かんじ
▽武田義邦
▽神戸晴士
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬 敬
▽山竹利一
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽山村民史
▽斉藤寛之
▽鈴木啓文
▽大石悦郎
▽鈴木正治
▽池谷敏一
▽阿井利夫
▽八木金平



XEBIO TIGER　adidas　PUMA
Admiral　PATRICK　MIKASA
Kappa Sport　molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 0546(41)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 0546-43-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長　埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成２年９月９日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、
054－6XX－電話番号です。
くわしくは、最寄りのNTT営業所または、
116番にお問合わせください。
NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 5

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

高校総体静岡県大会中部地区予選

静清工15年ぶり県大会進出



静清工高イレブン

平成二年度高校総体静岡県大会中部地区予選において、常連の藤枝東、藤枝北にならんで、静清工業高校が、十五年ぶりの県大会進出を決めた。

予選リーグでは、第一シードの庵原を直接降しての第一位。さらに一位トーナメントでは、藤枝北を破った清水工を退け、中部ベスト四に躍りでる活躍ぶりに、各会場を大いに沸かせた。

準決勝では藤枝東に、三位決定戦では静岡北に敗れはしたが、それでも中部第四位、県大会シード権獲得の大健闘であった。

この勢いを保って、新人戦に続いて中部を制した藤枝東、徐々に調子をあげつつある藤枝北とともに、県大会で中西部旋風を巻き起こして欲しい。

岩田監督の話

昨年の十月に現チームがスタートした時より、何とか中部大会を勝ち抜き県大会へ出場したいと念願していました。

事実、ある程度は戦える力をもった選手が育ってきたと私自身も感じていました。しかし新人戦では、藤枝東、清水工を相手にチームの弱点が出てしまい、県大会出場はできませんでした。

幾つかの反省点のうち、大きな課題として、一試合戦い抜く基礎体力（スタミナ）、スピード、精神力（自信）が欠けていたことを痛感しました。この反省を胸に、二月、三月はまず走ること（ロードワーク）を中心に練習を重ね、さらに格上のチームに対するコンプレックスをなくす精神力を付けることに専念しました。

その結果、GK原田（二年）、SW和田（二年）、ST相川（三年）、MF小泉（三年）、FW池田（三年）と、縦のラインに軸ができ、中部地区予選をクリアできました。

しかしながら、チームにはまだまだ課題が多く、選手一人一人が、自分の能力と役割を十分把握して、県大会に臨みたいと思います。



【島田学園高校】滝沢卓矢、三輪歌士幸、横田川和秀、高橋昌幸、中村慎一郎、結城秀人、岡田清人、辻友則、牧野安明、遠藤浩輝、小沢直樹、加藤三弘、柴田誠、竹中剛、藤井実生、倉橋貞幸、宮田太一、佐藤尚己、安野友也、榊原由浩、桜井秀明、鈴木衛、宮田伸吾、柴忠伸、今井健人、榊原彰久

【島田商業高校】青木一剛、池谷圭介、亀山岩夫、杉山雄一、中川朗、清水健司、池谷豪人、大村大輔、佐野博己、杉山秀従、安部将丈、落合明仁、水口匡史、

【島田高等学校】加藤真哉、鈴木孝治、藁科康司、大石淳、大村宣博、小長谷俊裕、藪崎仁嗣、紅林政之、平賀貴文、前川勝宏、岡野谷靖、小坂純、佐野義睦、寺田直哉、孕石智義、秋田政紀、飯塚真人、石田孝、野中一平、鈴木貴久、花沢秀登

【島田工業高校】斉藤剛男、久住元一郎、松永倫則、山田寛之、伊藤茂樹、塚本毅圭、大石祐一郎、八田章、仁科竜治、松野篤士

【大井川高校】小田哲也、森田敬介、小田敦史、佐山勝章、法月晃、塚口昌和、堀内友、安富洋一、覚上直幸、杉本伸幸、塚本俊秀、健、山田昌弘、油井大輔、増田優、赤堀一博、中村義則、小澤智弘、名取和哉、小澤慎治、岩崎直史、田中靖典、青小玉芳彦、鈴木大典、渡辺政志、川口貴洋

【榛原高校】曽根真吾、堂本百城、前田安則、松浦吉彦、福世孝明、坂田正志、鈴木弘徳、高橋雅彦、長井良二、増田修、坂本真也、鈴木貴仁、本杉徹也、川村秀邦、中村文浩、正井力、山本智久、本杉一樹、池谷康則、増田三洋、鎌田善春、小林大助、中村友也、村田洋人、山崎晶也、大杉要、坂下実、中村文己、黒田寿通、鈴木賢治、野田祐一郎、渡辺剛、辻村一樹

【相良高校】高塚太輔、高村

ルールを知ろう①

反則と不正行為　その一

はじめに

審判員においては、競技者が負傷等の危険にさらされることなく、身につけている技能を思う存分発揮してプレーできるようにコントロールすることが、重要な任務のひとつです。

反則や不正行為の判定にあたっては、故意の反則か否かの見極めがつかなければならず、さもなければ直接フリーキックと間接フリーキックを区別して適用することさえもできないことになります。

競技規則第十二条の条文・公式決定事項を正しく理解し、審判にあたっていかに的確に適用できるかという継続的な努力の積み重ねが不可欠の要件です。

直接フリーキックで罰せられる反則

競技者が故意に次の九項目に違反した場合には、違反の起きた地点で相手側チームに直接フリーキックを与えます。ただし、相手側ゴールエリア内にいる競技者によって違反が起きた場合には、違反の起きた地点を含むゴールエリアの半分以内であれば、どこからフリーキックを行ってもよい。

①相手を蹴り又は蹴ろうとすること。

②相手をつまづかせること。

③相手にとびかかること。

④乱暴な又は危険な方法で相手をチャージすること。

⑤妨害をしていない相手を背後からチャージすること。

⑥相手を打ち又は打とうとすること。又は相手につばを吐きかけること。

⑦相手をおさえること。

⑧相手を押すこと。

⑨ボールを手で扱うこと。すなわち腕を使ってボールを運び、打ち又は押し進めること。

これらのことから、ゴールキーパーがボールを使って相手を押したり、投げつけることによって相手を打つことも立派な反則であることがわかります。

微妙な例としては、DFがゴールキックを得ようとしてボールに対して体を入れることでキープする様な場合です。この場合、DFが背後から危険のない方法で、チャージしても反則とはいえません。ただし、妨害していない（すなわち通常の場合）相手に対しては、背後からのいかなる方法のチャージも許されていません。もちろん、「ボールに行った」からといって後ろからのチャージが許されるはずはありません。

※この記事は、島田学園高校の大坪先生よりいただいた原稿、資料をもとに、編集部で加筆、構成したものです。選手の皆さんが、よりよいプレーをするための一助となれば幸いです。

できるだけ定期的に連載を続けていきたいと思いますので、どうぞご期待ください。



中西部地区 高等学校1年生名簿(1) めざせ レギュラー!!

平成２年度高校トレセン がんばれトレセン

GK	大石　裕紀	（藤枝東	3年）
	永田　昌弘	（藤枝北	3年）
DF	山脇　徳康	（藤枝東	3年）
	海老岡周造	（藤枝東	2年）
	秋山　智洋	（藤枝北	3年）
	山田　高行	（藤枝北	3年）
	和田　一也	（静清工	2年）
MF	大畑　敦嗣	（藤枝北	3年）
	小泉　富広	（静清工	3年）
	原田　尚俊	（焼津中央	3年）
	松村　直樹	（藤枝東	3年）
FW	池田　勉	（静清工	3年）
	菊川　一穂	（藤枝北	2年）
	増田　裕	（藤枝東	2年）
	牧田　一幸	（藤枝東	2年）
	飯塚　稔文	（吉　田	2年）
	鈴木　秀和	（藤枝東	3年）

島田学園高校に栄冠

―第九回島田市長杯 高校サッカー大会―

四月三日、第九回島田市長杯高校サッカー大会が、晴天のもと、島田高校グランドで行われた。

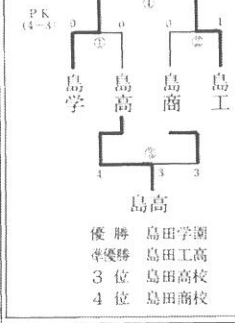
高橋聞一島田市教育長の挨拶、当番校島田高校の伏見正博校長の挨拶のあと、四試合が行われた。

その結果、島田学園高校が優勝した。準優勝は島田工業高校であった。また、各チーム一名の優秀選手は後に挙げるとおり。組合せ及びスコアーも別表のとおりであった。

講評によると、今年は島田市の高校チームは、比較的レベルが高いのではないか、とのこと。今後の活躍が期待される。

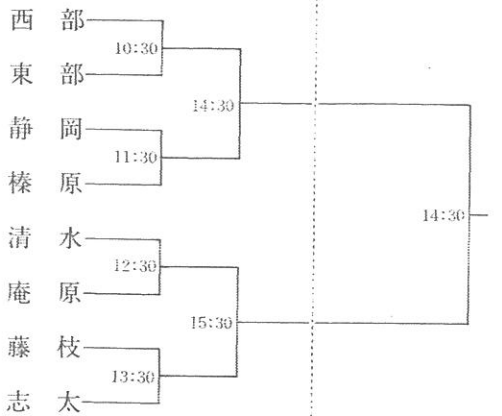
○最優秀選手
島田学園高校　曽根誠喜

○優秀選手
島田商業高校　鈴木敏夫
島田高校　丸杉俊一郎
島田工業高校　須藤訓久



第14回全日本少年サッカー大会 静岡県大会組合わせ

5/13(日) 東海大会総合運動場　5/20(日) 清水市営グラウンド



第14回全日本少年サッカー大会
各地区予選終わる

藤枝FC、焼津JFC、榛原東FC それぞれ県大会進出


藤枝FC


焼津JFC


榛原東FC（金谷・吉田）

藤枝島田地区

第十四回全日本少年サッカー大会・藤枝島田地区予選会が四月十五日、二十二日、五月三日の三日間にわたり熱戦が展開された。試合は予想通り藤枝FC六年Aと、全島田六年が勝ち上がり決勝を迎えた。五月三日、藤枝市民グラウンドに、満員の子供達（一〇〇〇名）の見守る中、決勝戦が始まった。藤枝FCのキックオフで開始されたこの試合は、立上りから藤枝FCが主導権をにぎり、攻撃をくり返した前半12分、CFの西村が相手ゴール前でパスを受け、ワントラップで相手DFをかわし、シュート。先制した。それ以後も藤枝FCはMF曽根・内藤・村松からFWにパスが再々出るが得点にならず。逆に全島田の反撃にあいヒヤリとする場面もあった。前半一対〇でおり返した後半三分、全島田はCF五十嵐からウイングの大石に好パスが出て決定的場面を作るも得点にならず。十三分には藤枝DF・GKのダブルミスをついて全島田の五十嵐・岡本がシュートを打つもゴールを割れず、そのまま試合終了。藤枝FCが1対0で優勝した。

全体的には、藤枝FCの技術の高さが目につき、試合を制した感じ。特にMFの三人の個人技術が目につき、ゲームを常に作っていた。全島田の選手はもう少し自信をもってプレーすればもっといい試合が期待出来たであろう。

藤枝FCは、得点力をもう少しアップすれば、県大会においても、かなり期待出来ると思う。藤枝地区いや、中西部地区の代表として五月十三日から始まる県大会の活躍を見守りたい。

志太地区

全日本少年サッカー大会志太支部予選の決勝トーナメントが四月二十二日、石津浜G6年が見事優勝した。

焼津JFC6年はまず準決勝で焼津JFC5年と対戦。力の差があり6対0の完勝。決勝は大井川FCと対戦。大井川FCはMF五十嵐を中心としたパスワークから攻めこむ好チーム。大井川FCのパスワークに焼津JFC6年がついて行けるかと心配の声もあったが、焼津JFC6年のスピードとパワーが大井川FCの技術に勝り2対0という結果になった。試合後焼津JFC6年の太田良直樹監督は「県大会では個々の基本技術に中盤の構成力、両ウィングからの攻撃に磨きをかけ、つまらない恋で負けた浜松JFCに借りを返せるようにがんばりたい」と話していた。

榛原地区

第十四回全日本少年サッカー大会榛原地区予選が四月二十二日、二十九日の二日間で第一製薬グラウンドを会場に開かれた。

決勝は榛原東FCと榛原西FCの対戦。東は前半11分に左ウィング鈴木健之からのセンターリングを右ウィング栗山がゲットし先制。同15分にもハーフ鈴木美昌と栗山のワンツー・リターンパスを鈴木美昌がセンターリングし、この将の鈴木鉄平が合わせて点目。同18分にも鈴木美昌がシュートを決め、試合を決定づけた。

後半に入っても東の優勢は変わらず、10分に栗山、19分に大川、原とたて続けに得点を重ねた。結局5対0の圧勝で、榛原東が優勝を飾った。

決勝を振り返ると中盤での組み立てからオープンスペースを使って両ウィングへのパスそしてセンターリングと外からの攻撃を多用し、全員攻撃、全員守備が出来ていた東が試合を制した。「県大会では、まず一回戦突破を合言葉に一丸となってがんばりたい」と榛原東FCの海野春男監督は話していた。

県大会出場チームメンバー

【藤枝FC】牧田武彦（GK・藤枝中央）木野智博（DF・西益津）酒井公広（DF・広幡）錦野匠一（DF・青島北）川本欣生（DF・藤枝）曽根宏文（MF・藤枝中央）横山勇臣（FW・藤枝）内藤修弘（MF・大洲）西村和真（FW・高洲南）村松洋助（MF・藤枝中央）木島雄宏（FW・青島北）有田英陽（FW・西益津）市川靖（DF・葉梨）伊藤亮英（FW・藤岡）甲田健（GK・藤岡）

【焼津JFC】柳田崇（GK・豊田）山口章太朗（DF・焼津西）蒔山直孝（DF・焼津西）増田大介（DF・大富）鈴木孝正（MF・焼津南）杉井哲也（MF・焼津西）新村祐介（MF・東益津）曽根正人（FW・小川）小沢剛（FW・豊田）曽根靖洋（FW・小川）坂口誠（DF・焼津南）駒井洋平（FW・東益津）飯塚浩記（MF・焼津西）杉村卓也（FW・大富）堀田旭人（GK・黒石）古賀英吾（FW・黒石）八木克芳（DF・港）坂本教（MF・焼津東）佐藤貴之（FW・大富）

【榛原東FC】鈴木直人（自）・杉浦義康（金谷）吉永達矢（吉田中央）浅井誠（同）中村毅（自）大川原誠（同）鈴木鉄平（吉田中央）鈴木美昌（住吉）栗山武士（金谷）山脇雅史（住吉）鈴木健之（金谷）薗田展之（同）鈴木和也（五和）松本恵明（吉田中央）岩堀耕平（同）

平成2年度一期藤枝市少年サッカー教室始まる

今年四年目に入った、このサッカー教室は、過去三年間で数多くの成果を上げた。現在の中学三年生がこのサッカー教室の第一期生であるが、多くの優秀な選手が育っている。この教室で学んだ事を将来のサッカー人生に是非取り入れて日本代表を目指して頑張ってほしい。「サッカーの町・藤枝」は君達の足に期待しています。ガンバレ・サッカー少年達よ。さて、今年の第一期のサッカー教室は四月十三日から九月十二日までの期間、毎週月曜日と水曜日に開講される。

第5回ヤオハン子供の日カップミリン選手権

平成二年度中西部トレーニングセンター（金曜トレセン）が五月十一日から毎週金曜日の午後六時五十分から高洲中学校グラウンドで開かれる。参加メンバーは次のとおり。

曽根宏文（藤枝中央）村松洋助（同）川本欣生（藤枝）酒井公広（広幡）西村和真（高洲南）錦野匠一（青島北）内藤修弘（大洲）鈴木孝正（焼津南）柳田崇（焼津豊田）小澤剛（同）杉井哲也（焼津西）内藤忠明（焼津大富）鈴木健二（島田第二）五十嵐謙二（同）柳原隆裕（島田第四）海野久仁彦（同）杉浦義康（金谷）山脇雅史（住吉）河村昇（相良）西村隆昌（同）五十嵐雄志（大井川南）

金曜トレセン 5月11日から 高洲中で開講

（6年生の部）

第四回フジパンカップ志太支部予選

一回戦
岡部 1－0 大井川西
小川 6－0 朝比奈
焼津西 6－1 大井川南
大富 5－0 焼津東
港 2－0 黒石
豊田 1－0 東益津

二回戦
岡部 8－1 和田
小川 3－3 焼津西 5PK4
大富 1－0 焼津南
豊田 0－0 港 3PK2

準決勝
岡部 1－0 小川
大富 3－0 豊田

決勝
大富 3－0 岡部

五月三日県大会出場は岡部・大富二チーム

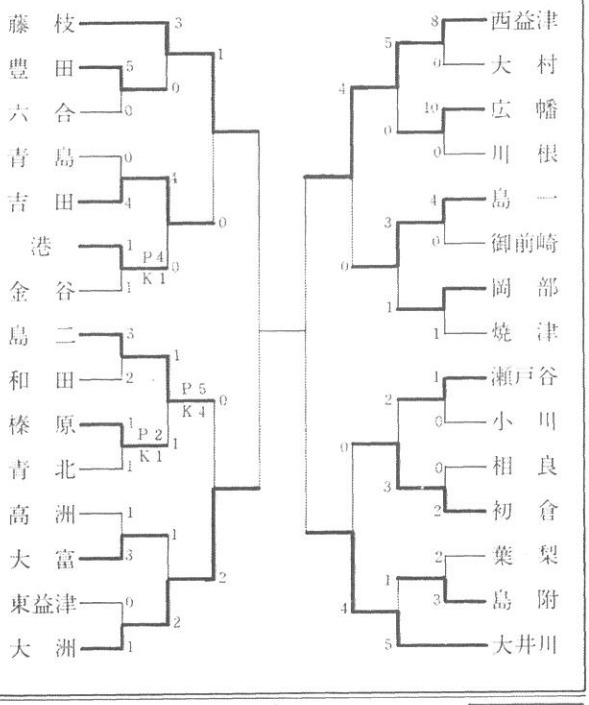
第19回松永杯兼中西部選手権
県中学生選手権予選（農協ふれあいカップ）

藤中が西中を下し V
三位まで県大会出場



五月六日㈰会場　藤中
準決勝第一試合　九時～
藤　中　2（2－0　0－0）0　大洲中
得点者　藤中　吉野・太田
準決勝第二試合　十時～
西　益　2（0－0　2－0）0　大井川中
得点者　西中　遠野（2点）
第三試合　十三時半～
三位決定戦　第三試合
大洲中　2（1－0　1－1）1　大井川中
得点者　大洲中朝比奈（2点）
大井川中　山下
前半開始直後から大井川中が優勢に試合を進めたが、決定力がなくなかなか得点を上げることができなかった。逆に大洲中は前半23分にFKからパスを受けた朝比奈が大井川中DFのスキをつき先取点を上げた。後半開始直後にも同様に大井川中DFのミスから朝比奈が2点目を上げ、試合を決定づけた。後半大井川中もよく攻めたが、DFの差が勝負を分けた。
決勝　第四試合　十四時～
藤　中　3（2－0　1－0）0　西益津中
得点者　藤中　太田・増田（2点）
準決勝とはうって変わってスローテンポの試合となったが、最初からキープ力に優る藤中が中盤を支配した。前半15分、左中盤から小山がドリブルで上がった所を相手DFが反則を犯しPKを得て太田が冷静に決め先取点をあげた。さらに前半19分左からドリブルで上がった太田のセンタリングを増田がプッシュして2点目。さらに左コーナーキックを増田が3点目を挙げた。

平成2年度
静岡県中学生サッサー選手権大会中西部地区予選
（兼：松永杯争奪サッカー大会）



オスカーサッカー教室
ブラジルの技術を学ぶ



中西部サッカー協会少年委員会志太支部の主催による「オスカー監督サッカー教室」が四月十五日に焼津市営グラウンドで開かれた。
同教室は焼津市に在住する杉本さんがオスカー監督と十年以上の親交があったことから実現したもので、チビッ子サッカーマンにとっては夢のような教室となった。
この日、コーチとして参加したのは日産のオスカー監督（W杯ブラジル代表三回、主将二回）を始め、レナト選手（元ブラジル代表）サンドラ選手（バルセロナオリンピックブラジル代表候補）ロベス選手（サントス所属）マフィーコーチ（フィジカルプロコーチ）の五人。午前中は小学生を対象とし、ストレッチ体操、ブラジル体操、ゲーム前の体操方法、ボールコントロールの基本、ヘディングの練習方法、シュートを打つ方向などを中心に、実演を交えてコーチしていた。
午後からは中学生が対象となり、フォワードをレナト選手、ハーフをロベス選手、バックをサンドラ選手、ゴールキーパーをマフィーコーチとそれぞれ分かれてのコーチ。
その後、中学生とブラジルの選手らが混っての親睦ゲームを行い、中学生にとっては貴重な体験だった。
ブラジルの選手がプレーを披露してくれた時、子供たちの目は輝やき、大きな拍手と驚きのため息がもれ、真剣なまなざしでプレーを見ていた。
マフィーコーチは関係者から「そろそろ時間です」という声が掛ると「あと五分だけ待ってくれ」とイベント教室とはいえ熱心にコーチしていた。子供だけでなく指導者にも大変勉強になった。

中西部トレセンを考える
中学生部技術委員長　田村和彦



中西部トレセンも開講してはや六年。年々充実した内容となり、そのレベルも高くなってきている。
七年めを迎えた今年は、小中高で海外遠征（韓国、ソウル）計画し、より高いレベルの中での技術、戦術能力の向上を目指したいと考えた。従ってその選考も従来より少数として、一人一人に十分目をとどかせて指導していける配慮をした。
平成二年度の中西部トレセンは、小・中トレセンを高洲中で、中・高トレセンを藤枝東高で実施。人数も中一が十六人、中二が十人ずつ二会場、中三が二十人、GKが七人で、五月十一日金曜日にスタートをする。中三トレセンにおいては、八月の韓国遠征に備えて、「チーム」として強化していき、その中で各個々の戦術能力を高めていきたいと考える。中二トレセンにおいては、一対一を基本とした対敵動作のトレーニングを重要視していきたい。又、中一、小六トレセンでは、個人技術、特に正しいキックのフォームづくりから、動きながら正確なキックができるところまでを徹底してトレーニングしていきたい。いずれにしても、ある程度、高い技術の備わった選手であるため実際のゲームで活用できるような技術をやりたいと思う。そして、常に高い目標を掲げて精進していける選手を作っていきたいと思う。トレセン参加選手は次のとおり。

■高洲中会場■
中一▼小杉真也（藤枝中）、久保田倫由（西益津中）、滝本将史（同）、鈴木仁（大洲中）、相馬信哉（同）、石橋論（広幡中）、西形信吾（西益津中）、五十右佳通（島田一中）、新間智之（六合中）、小粥進（大井川中）、大塚浩一（岡部中）、杉浦陽介（金谷中）、一木太郎（相良中）、柴田真希（榛原中）、飯田晋（焼津中）、桜井孝司（大村中）
中二▼永田秀士（榛原中）、小沢晴幸（大洲中）、山田敏文（島田一中）、北村太一（附属島田中）、市野光洋（大富中）、増田巌（同）、古山博希（島田二中）、有ヶ谷一毅（大富中）、小池章之（焼津中）、岩木浩介（大井川中）、一言明男（GK・西益津）、覚上知幸（GK・藤枝中）
中三▼佐野幸司（GK・西益津中）、塩沢貴正（GK・焼津中）、一言暢昭（GK・金谷中）荒浪央嗣（GK・藤枝中）

■藤枝東高会場■
中二▼鈴木淳（島田一中）、小山淳（藤枝中）、朝比奈伸（大洲中）、木村正人（大洲中）、和田大紀（大井川中）、青野朋章（同）、渡辺直樹（同）、山下雅也（同）、山竹操（大富中）、鈴木康史（吉田中）
中三▼河村聡（島田二中）、寺田靖（附属島田中）、安藤達也（藤枝中）、太田渉（同）、山田暢久（同）、丸山敦士（同）、吉野友三（同）、柴田善信（西益津中）、望月康利（同）、相馬孝正（同）、小柳津高雄（同）、塩沢弘司（同）、大石剛司（大洲中）、清水智弘（高洲中）杉山将巳（葉梨中）鈴木紀昭（大井川中）青島一城（同）望月郁生（焼津中）、石垣知広（小川中）、脇田博之（和田中）
中学GK▼高橋卓司（大洲中）、渋谷雅紀（西益津中）、鈴木健児（藤枝中）、小長谷誠（大富中）

ジュニアユース選考会
藤中の安藤君惜しくも選ばれず

日本ジュニア・ユース代表候補選考会が四月二十六日㈭～三〇日㈪まで東大検見川運動場で行われた。
三月下旬に行なわれた、第十三回全日本選抜中学生サッカー大会で優秀選手に選ばれた二十人の中から藤枝中、安藤達也選手他五人が代表候補に選出され、十六才以下の高校生にまじって、三十人の候補選手が五日間の合宿を通して二十人のジュニアユース日本代表選手を選出したが、安藤君は惜しくも代表メンバーに推薦されなかった。
全国から参加した五人の中学生の一員として、選考会での感想を話してもらった。

「代表選手会に参加して」
一、最も印象に残った事
今回のユース合宿に参加しており、プレーの方もきびしくしていたと思いました。
二、他の選手と比較して、技術面、戦術面で秀れていたプレーはどんな事か。
パスを出された後のカバーリングが自分としてはよくできたと思います。
三、他のプレーヤーと比較して劣っていた事
高校生は背が高い人が多く、ヘディングではほとんど勝てませんでした。
四、体力面で比較してどうか
30日最終日に40分ゲームをやったけど体力面でも劣っていたと思います。
五、自分として今後努力していかなければならない技術はなにか。
合宿に参加して、技術面ではDFで言うと、なんとしても相手ボールを取ることで（スライディング）MFでは、味方に出しても困らないようなパスを出すことです。
六、他の選手の取りくみについての印象はどうか。
この合宿をふくめて6回目で生活態度も高校生はしっかりしており、プレーの方もきびしくしていたと思いました。
七、将来の自分の夢は
このJユース合宿で落ちたことをバネにしてこれからの練習にはげんでいきたいと思います。そして是非とも全国大会に出場したいと思います。

平成二年度中西部サッカー協会 総会開かれる

さる、四月二十五日(水)に平成二年度中西部サッカー協会の総会が藤枝市民会館にて盛大に行なわれました。鈴木昌則副理事長の開会宣言の後、現在83才の山口森三名誉会長と松田真平会長より「中西部サッカー協会の活性化と打倒洲小スポーツ少年団」の相馬強市(大清水一」を強く呼びかけるあいさつがされ、ますますこの地域への期待が高まっていることが改めて認識されました。議事は海瀬議長によりスムーズに進み、平成三年度県サッカー協会法人化による予算編成と海外遠征を含む今年度の事業計画が石上理事長より説明がされ、全会一致で承認されました。

総会で表彰された指導者、団体および優秀選手は以下のとおりです。

表彰者一覧

☆優秀指導者
▼桑原　栄（西益津小サッカースポーツ少年団）▼薬科金雄（焼津西小サッカースポーツ少年団）▼相馬強市(大洲小スポーツ少年団）▼池谷君男（藤枝中央小スポーツ少年団）▼長谷川二三（藤枝東高校）▼浅羽孝政（藤枝市役所）▼池谷多喜夫（大井川町役場）▼菊川凱夫（中央防犯）▼八木敏夫（藤枝フットボールクラブ）

☆優秀団体
▼西益津小スポーツ少年団▼焼津西小サッカースポーツ少年団▼大洲小スポーツ少年団▼藤枝中央小スポーツ少年団▼藤枝東高校サッカー部▼藤枝市役所サッカー部▼大井川町役場サッカー部▼中央防犯▼藤枝フットボールクラブ

☆優秀選手
▼小山　淳（藤枝中）▼太田渉（藤枝中）▼安藤達也（藤枝中）▼山田暢久（藤枝中）▼河村　聡（島二中）▼寺田靖（島附中）▼高橋卓士（大洲中）▼細谷裕史（藤枝東）▼谷沢　正（大井川町役場）▼川村　剛（大井川町役場）▼田中章元（藤枝市役所）▼橋本忠広▼柴田二郎▼村松幸夫▼杉山隆一▼安藤洋志▼碓井善治▼青木敏樹

（以上敬称略）

第1回カトレア女子サッカー大会
藤枝姉妹優勝
高洲中女子には敢闘賞


MVP　松田選手



２点目をあげた新谷選手

四月二十九・三十日と静岡の辰起町グランドにて、第一回カトレア女子サッカー大会が行われた。この大会は、静岡の女子サッカーの底辺の強化・普及と、相互の親睦を深めることを目的として開催。

競技方法は、一日目に九チームが三ブロックに分かれリーグ戦を行い、二日目にブロック一・二位同士のリーグ戦、三位はもう1チーム加えてトーナメント方式で、中西部からは、藤枝姉妹、焼津クィーンズ、高洲中女子が参加。

一日目は、姉妹、焼津が一位、高洲は三位で折り返した。

二日目の姉妹、焼津戦は、決定的な場面がなく、０対０の引き分けに終わった。

焼津・静岡レディース戦は最初から静岡が積極的に攻め絶好のチャンスを得るが、焼津石田の好守により得点ならず、０対０のまま引き分け。

姉妹・静岡戦は優勝が決まるとあって前半から気迫のこもった試合が展開された。姉妹はロングパスでゴール前にボールを集めたが、オフサイドをとられることも多くあり、得点チャンスがなかった。後半は、静岡のシュートがバにあたり危い場面もあったが、その後相手ＧＫが出てきたところを丸山がセンターリングをあげ、混戦の中から、松田がシュートを決め、１点を先取した。静岡の猛反撃にも、姉妹は落ち着いてプレーをし、グリーンが先取点を奪うと、焼津信用の阿井が単独ドリブルで敵中突破、貴重な同点ゴールを奪った。後半終了間近、焼津信用は増田の豪快なヘディングで勝敗を決めた。

☆第三試合
焼津ＦＣ対バンヤン
同リーグ敵なしといわれるバンヤンも、焼津ＦＣに後半終了寸前まで０対０の大苦戦。三年前から続くリーグ連勝記録もここまでか？と、動揺の色を隠せなかったバンヤンだが、ベテランで今季入部した鎌田のコーナーキックをリーグ選抜の内田がゲット。同じくリーグ得点王の池田が決勝点をあげ連勝記録を守った。

☆第四試合
バイエルン対バイオレンス
榛原出身同士のチームの白熱した試合となったがどちらも譲らなかった。

☆第五試合
日清紡（島田）対日清紡（藤枝）
日清紡同士の戦いとなったこの試合は、先輩としての意地をみせた藤枝に軍配があがった。

第２節を終わって１部では、コスモス・バンヤン・焼津信用がその実力を見せているが、各チームの力の差は大きくない。特に先年度首位のコスモス・バンヤンに善戦している焼津ＦＣの動向が、今年度の鍵を握りそうである。

また２部では、今季３部より昇格したドランカーズと大井川町役場が台風の目である。特に、全国自治体大会にも先年度出場した大井川町役場は、二年連続で１部リーグ得点王となった八木ほか、メンバーのかなりの補強がみられる。これに対する自衛隊静浜ほか２部リーグ先輩チームの戦いぶりが注目される。

３部では、岡部キッカーズ、共立印刷、ユンケルＦＣ、無名の新規チームの戦いぶりが興味深い。一方１部で惜しまれつつ休部していた東海積水と、２部でその実力を知られたツムラが新戦力を加えて２部返り咲きを狙っている。同じく遠州榛原の実力も昨年２部で実証済みである。

上位リーグにむけて十八チームが入り乱れる３部リーグは中西部きっての激戦区である。まさに「３部戦線波高し」である。

中西部 社会人リーグ開幕

中西部社会人リーグは、四月十五日に１部～３部Ａ・Ｂリーグがすべて開幕した。

（１部リーグ）

☆第一試合
コスモス対ジャパン
コスモスは、２部より昇格したジャパンをスピードと個人技・若さで圧倒。ジャパンも善戦するが惜しくも敗れた。

☆第二試合
焼津信用対グリーン
中西部リーグの老舗同士の好カード。先年度リーグ代表として五支部リーグに出場の焼津信用の組織的なプレーとグリーンの速攻の戦いとなったゴールキックをペナルティーエリア近くでカットした新谷がドリブルで持ち込んで、姉妹の優勝を確実なものにした。

成績は次の通り。
○優　勝　藤枝姉妹
○準優勝　焼津クィーンズ
○敢闘賞　高洲中女子

また、高洲中はよく健闘したということで、フェアプレー賞を受賞。

ＭＶＰ賞は、姉妹の松田に贈られた。

この大会を通して試合が単調になりがちだと感じた。パスが、縦・横・バック・斜めと多彩なパスができるようになれば、変化のある、おもしろいサッカーになってくると思う。

五月からはリーグ戦も始まり、今年こそ中西部のチームが優勝できることと、高洲の活躍に期待したい。

5月・6月の予定

少年団
- 5月13日・20日
  第14回全日本少年サッカー大会・静岡県大会（清水市営Ｇ他）
- 6月３日・10日
  第14回山口森三杯争奪中西部選抜少年サッカー大会（藤枝市民Ｇ他）
- 6月３日・10日
  第10回デサント杯争奪中西部選抜少年サッカー大会（藤枝市内小学校）

中学
- 6月３日・10日
  県中学校選手権大会（清水第一中・三中・東海大松前Ｇ）
  決勝第一ＴＶ生放映
- 6月８日・17日
  藤枝・岡部地区総体（藤枝中央Ｇ）
- 6月１日・３日
  島田地区総体（島田一中Ｇ他）

高校
- 5月20日～
  高校総体　県大会

社会人
- 5月13日～
  東海リーグ・県リーグ・中西部リーグ（各会場）
- 6月13日
  県女子リーグ　常葉大Ｇ

特別賛助会員
（順不同）

■法人・商店■
▽大光自動車(株)（三ロ）
▽(株)井川商店（三ロ）
▽(株)中部エージェンシー（三ロ）
▽(株)サンショップ（二ロ）
▽松田園（二ロ）
▽ダックユニオン(株)（二ロ）
▽ヴィヴェール常盤を売（二ロ）
▽(株)中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽(株)オオサワ
▽(株)小宮人形
▽(株)ぼたじゅう
▽(株)山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材(株)
▽鈴木食品工業
▽静穂倉庫
▽東洋オートパーツ(株)
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業(株)
▽(有)上山化成
▽(株)スウィングスポーツ
▽(株)藤枝事務器商会
▽仲山鉄工(株)
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業(株)
▽初亀醸造(株)
▽東海ガス
▽松風荘（海の家）
▽(株)Ｐ＆Ｐ浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ベンションふじた
▽近藤スポーツ
▽(株)デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽(株)尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽蒔田製作所
▽斉田管工(株)
▽藤枝・高砂殿
▽杉秀
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽(株)飯塚工務店
▽日新観光（コンコルド大井川店）
▽原田造園(株)
▽(有)大杉組
▽喫茶　章
▽(株)さつき自動車
▽マルニ民宿
▽(有)水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルペンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック欅
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ

■個人■
▽山口森三
▽松永　璋
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽山村候史
▽杉本久雄
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬　敬
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田　規
▽杉本久雄
▽斉藤寛之
▽鈴木正治
▽池谷敏一
▽式田義郎
▽神戸晴士



KSS TIGER　adidas　PUMA
Admiral　PATRICK　MIKASA　nr
Kappa Sport　molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 0546(41)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 0546-43-0500㈹

の 大河原建設株式会社
取締役社長　埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成２年９月９日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「３ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、
054－6ＸＸ－電話番号です。
くわしくは、最寄りのＮＴＴ営業所または、
116番にお問合わせください。
ＮＴＴ静岡支店

中西部
ヤングサッカーニュース 1990 6

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

高校総体静岡県大会
静清工ベスト4進出

藤枝東PK戦の末惜しくも敗れる



静清工高イレブン

六月三日に、高校総体県大会の幸々決勝が行われ、中部地区からベスト8に残っていた藤枝東・静清工は、それぞれ清水東・浜松北の両校と対戦した。その結果静清工業が見事ベスト4進出を決めた。

藤枝東高グランドで行われた第一試合は、藤枝東・清水東の一戦。開始早々にPKを得て先行した藤枝東が、ゲームの主導権を握り、終始先手を取った。

同点に追い付かれてもペースを失わず、逆に山脇（三年）のロングスローからチャンスをつくり、再びリードを奪った。さらに、クロスボールから渡辺（三年）のヘディングシュートで、決定的な三点目かと思われたが、惜しくも反則の笛。結果的にはこれでリズムを崩してしまった。



その後終了十分前に追い付かれ延長でもあわやのチャンスをものにできずPK戦で、涙を飲んだ。

第二試合の静清工対浜松北は、両校とも決め手を欠き、無得点のまま後半を迎えた。最後の大会に賭ける浜松北の闘志が、優勢と見られていた静清工を押し切るかと思われる場面もあったが、ディフェンスが良く耐えて、終了寸前左サイドからのゴロのセンタリングを池田（三年）がスライディングシュート。初のベスト4を手中にした。

静清工は、比較的組み合わせに恵まれていたとはいえ、浜松西、藤枝北という実力校を破ってのベスト4進出はチームの歴史に価値ある一ページを加えたといえるだろう。

惜しくも敗れた藤枝東だが、不運なところもあり、この結果が実力とは考えられない。捲土重来、選手権を目指してほしい。

［試合結果］

静清工	1（1－0）	0	浜松北
清水東	2（0－1）	1	藤枝東
	2（2－1）		

（PK 5－3）

ルールを知ろう②

反則と不正行為　その二

間接フリーキックで罰せられる反則

競技者が次の五項目の違反をした場合には、違反が起きた地点で相手側チームに間接フリーキックが与えられます。ただし、相手側ゴールエリア内にいる競技者によって違反が起きた場合には、違反の起きた地点を含むゴールエリアの半分内であれば、どこからフリーキックを行っても構いません。（ゴールキックと同じです）

一、危険なプレー

(1) 周囲に相手競技者がいる場合で、足を高く上げてボールを処理する。

(2) 周囲に相手競技者がいる場合で、オーバーヘッドキックをする。

(3) ボールにむかってジャンプする時、相手競技者に躰を上げてとびあがる。

(4) スライディングタックルの際、かかとを地面から離して行う。

(5) ゴールキーパーが持っているボールをける。

(6) ゴールキーパーがパントキックをする際に、けるところへ足を上げていく。

(7) 周囲に多くの競技者がいる所で、腰より低いボールをヘディングしようとしたり、ドリブルしている選手の前に体を投げ出すなどの自分を危険にさらすプレー。

二、時期を逸したチャージ

正当なチャージであって、ボールが、競技者双方のプレーイングディスタンス（プレー可能な範囲）にない場合。（正当なチャージでなければ、文句なく「直接フリーキック」です。）

三、オブストラクション

ボールをプレーする意志なしに、あるいは、ボールがプレーイングディスタンスにない状況で、相手方競技者がボールをとりに行くのを妨害する場合。

(1) 相手方競技者がボールへ行く進路を横切って走り抜けたり、直前に立ちはだかる。

(2) 味方にボールをパスしたのち、そのボールを取りに行こうとする相手競技者の進路を手や身体でさえぎる。

四、キーパーチャージ

ゴールエリア内にいるゴールキーパーへのチャージは、①キーパーがボールを持っている。②キーパーが相手を妨害している。

場合に限って許されています。それ以外、例えば高いボールにむかってとび上がっている時、あるいはフィスティングやセービングなどをした瞬間のゴールキーパーにチャージすると、キーパーチャージの反則が適用されます。

五、オーバーステップ

ゴールキーパーはボールを手で支配した時から、ボールをプレーのため離すことなく、持ったまま、又ははずませながら、あるいは投げ上げてふたたびつかむ間に、いずれの方向へでも四歩を越えて歩くことは、オーバーステップの反則にはなります。

さらにこの四歩の前、途中後にかかわらず、ボールをプレーのために離した後、自分の側のペナルティエリアの外で味方競技者に、あるいは場所を問わず相手競技者に、ボールが触れるか、プレーされる前に、再びボールに手で触れても、オーバーステップの反則になります。

簡単にいうと、キーパーはいったんボールを手放したら、敵に渡るか、ペナルティエリア外の味方にパスしない限り再びボールを手に持ってはいけない、という意味です。

六、その他

(1) オフサイドの場合。

(2) キックオフ、スローイン、コーナーキック、フリーキックについて、それらを行った同じ競技者がインプレーになった後、最初にボールに触れた場合。二度続けて、さわれない。という意味です。

(3) 非紳士的行為があった場合いかがでしょうか？ラクビーでいうセービングのような行為、密集のなかでのダイビングヘッド。一見勇気あるこれらプレーも、状況によっては、反則になり得るのです。また、キーパーによるオーバーステップの反則は、場合によっては決定的なチャンスを相手側に与える可能性があります。

ルールを知ることによって、より良いプレーを心掛けてください。

また、「六、その他」については、いずれ改めて、詳しく取り扱う予定です。

この連載に対する、ご意見ルールに関するご質問をお待ちしています。本紙編集部「ルールを知ろう」係までお寄せください。

資料提供、及び原稿
島田学園　大坪先生

※編集部にて加筆・構成



静清工業高校

監督　岩田要司

本校のサッカー部は、まず挨拶・スポーツマンとしてのマナーに重点を置き、サッカーを通しての人間形成に主眼を置いてきました。

当初は、勝つことのみにとらわれずどんな上手な選手でも、挨拶・マナーの悪い選手は絶対に試合には出さないという方針でやってまいりました。生徒達に常に言って来た事は、我々のチームが伝統校に一日も早く近づく事ができるのは何であるか？技術的な面では、やはり年月が必要である。しかし、挨拶・マナー・練習での気迫ならば、一生懸命やれば、いつでも追いつけるという事です。

今年のチームの特徴はこの「気迫」のあるチームです。ここ数年は負けるたびに、常に原点にもどり、挨拶・スポーツマンとしての精神・ボールを使わない基礎練習のくり返しでした。この様な、生徒たちにとっては非常におもしろくない練習に、一生懸命打ち込んできた事が今年のような成績につながったのでしょう。

インターハイでは何とか県大会へ出場したいという気持ちが一つになり、今回の成績につながったと思います。

静清スタッフ・選手プロフィール



桑原副部長
（島田工高－国士舘大）

本年度よりサッカー部副部長となる。一年生を中心に若さあふれる指導をしている。



岩田監督
（藤枝東高－日体大）

監督就任十四年目、高校時代には全国優勝を経験。常にチャレンジ精神で選手に指導している。



酒沢部長
（浜松日体高－日体大）

昭和61年に野球部からサッカー部部長となる。精神面をバックアップ、現チームの基盤を作る。



池田選手
（高洲中出身　3年）

●身長一七八cm・体重六四kg
俊足から繰り出すスピーディーなドリブル、シュートはチームの得点源である。三年になり責任感が出て、プレーにも自信が持てるようになった。



小泉選手
（大井川中出身　3年）

●身長一七六cm・体重六四kg
豊富な運動量とパスワークの良さでゲームメイクをする。陽気な性格でありチームに活気を与えている。



相川選手
（大村中出身　3年）

●身長一六九cm・体重六四kg
現チームにおいては欠かせない存在である。長身ではないが、ヘディングの強さ、一対一の強さなど急成長した選手である。

第14回全日本少年サッカー大会（静岡県大会）
浜松ＪＦＣ初優勝
中西部から全国大会出場ならず



中西部サッカー協会少年部長
山本輝雄

今年の大会は、参加８チームの力が接近していて、どこが勝ち抜くか、まったく分らないという前評判通り、一回戦から接戦の連続であった。つま恋大会の覇者・浜松ＪＦＣ（東部）は、富士ＪＦＣ（西部）に大苦戦、富士のシュートミスも重なって、何とか勝ち上った。

続く試合は、浜松祭り大会の覇者・静岡ＦＣは、榛原地区代表の榛原東ＦＣと対戦。２対０で勝ったが、内容は今一つ盛上りにかけた試合であった。ただ静岡ＦＣの右ウイングの長身一六五㎝新関選手の突破力は、見ごたえがあった。将来たのしみな選手となるだろう。

続く清水ＦＣ対全庵原は、まさに今年の大会を代表した内容であった。過去十三回連続全日本少年サッカー大会全国大会に出場していた清水ＦＣが、全庵原のスピードとパワーに圧倒されっぱなしとなり、前後半ともに守りに全力となったが、結局０対０で延長、決着がつかずＰＫ戦となった。ここで両チームの力の差が出た。あれだけ試合を制していた全庵原は、ＰＫ戦では正確にボールをコントロールできず四人目で負けが決まってしまった。基礎技術の大切さがよく分かった試合であった。

藤枝ＦＣ対焼津ＪＦＣの試合は、両チーム中西部同士という事もあって、力対力のぶつかり合いの好ゲームであった。が、個人技に勝る藤枝ＦＣが圧勝。

さて二回戦、浜松ＪＦＣ対静岡ＦＣは、一対一のまま延長戦、お互い力を十分発揮したが得点とならず、ＰＫ戦となったが、浜松ＪＦＣが、４対２で決勝進出、この試合では浜松のセンターフォワード新田選手の力あふれる個人技が目についた。

もう一方の試合は、清水ＦＣ対藤枝ＦＣは、前半、藤枝ＦＣが圧倒的に押しまくり、中盤を制したサッカーで、得点かと思われたシーンも何回かあったが、結局３対０で清水ＦＣが決勝進出、浜松対清水の決勝は、お互いのＣＦの活躍で点の取り合いとなったが、浜松ＪＦＣがＰＫ戦の末ＤＦに大きな声で指示し機敏にゴールを守り抜いた、小さな大選手であった。

少年サッカーも年々レベルが高くなり、ただボールを蹴って走るだけでは通用しない。ボールがきちんと止まり、自分のまわりが見え、状況判断がすばやくできる選手。そして、ドリブル或いは、パスでも相手の逆が取れる個人戦術が必要とされてきている。

小学校六年生の中でも体力の差が大きく見られるが、少年期に必要とするフェイント・ドリブル・トラッピング等技術面を十分身につけてほしいと思う。

来年こそ、この中西地区から全国少年サッカー大会出場できることを願いたい。

焼津ＪＦＣ監督
太田良直樹

志太予選で大井川ＦＣになんとか勝つことができ、県大会に出場しました。

県大会一回戦は過去二回負けている藤枝ＦＣということで、試合前私も子供たちもいささか緊張していました。

志太の代表ということで、なんとか一回戦は突破したかったのですが、藤枝ＦＣの壁は厚く、結局２対０で負けてしまいました。

内容的には、中盤を藤枝ＦＣにおさえられ、外からのウイング攻撃ができず、得点するかたちに持っていくことができませんでした。とにかく焼津ＪＦＣは、練習量が少なすぎます、チームとしてのまとまりがなく、個々の力に頼った試合運びになってしまいました。

全日本では負けてしまいましたが、六月にある山口杯に向け、もう一度チームを白紙の状態に戻し、今度こそ藤枝ＦＣに勝てるよう頑張りたいと思います。

榛原東ＦＣ監督
海野春男

第十四回全日本少年サッカー県大会に参加して、私たち榛原東ＦＣは、一回戦突破を合言葉に一九となって戦いましたが、２対０と負けてしまいました。

県大会を振り返ってみての反省点は、第一に対静岡ＦＣのスピード・パスワーク・中盤での組立に、ほんろうされ手がでなかった。第二に、自チーム選手個人個人の声がなかった事。自分の力をグラウンドで一〇〇％ださなかった事、榛原東がやりたかった事を、逆に静岡ＦＣにやられてしまった事、中盤の選手の運動量が足りなかった事などが挙げられます。

これからのチーム作りに対して、中盤選手の運動量・個人技術パワーを作り直して行きたいと思います。

藤枝ＦＣ監督
山田晃

第十四回全国少年サッカー静岡県大会は、例年になく力の接近が目立った。それというのも、決勝戦を初めとし七試合中三試合もＰＫ戦で決着がつく結果であった。

そして今年四月末に清水ＦＣがミロカップ全国大会で優勝しているので、県内のレベルが高く地域差がみられないと思う。

今大会は、十四回連続出場を目標に戦った清水ＦＣが決勝戦で浜松ＪＦＣにＰＫ戦の末敗れ、連続出場の夢を果せなかった。そして、大健闘した全庵原、静岡ＦＣにも全国大会出場のチャンスはあった。

藤枝ＦＣは、清水ＦＣに３対０と完敗したものの、前半はほとんど藤枝ペースで試合ができた。しかし、前半の得点チャンスに点が取れなかったのが敗れた最大の原因となった。

優勝した浜松ＪＦＣのチームは、新田選手を含め清スポーツ少年団の選手五名が中心であり、新田選手の走力とドリブルの上手さ、得点能力の高さを十分に生かしたワンマンチームであった。

近ごろゴールキーパーは背の高い大柄な選手が台頭してきている中で、全庵原の望月君は一四〇㎝と小柄ではあったがファイトに満ち、味方のＤＦに大きな声で指示し機敏にゴールを守り抜いた、小さな大選手であった。

今大会は、十四回連続出場を目標に戦った清水ＦＣが決勝戦で浜松ＪＦＣにＰＫ戦の末敗れ、連続出場の夢を果せなかった。そして、大健闘した全庵原、静岡ＦＣにも全国大会出場のチャンスはあった。

藤枝ＦＣは、清水ＦＣに３対０と完敗したものの、前半はほとんど藤枝ペースで試合ができた。しかし、前半の得点チャンスに点が取れなかったのが敗れた最大の原因となった。

優勝した浜松ＪＦＣのチームは、新田選手を含め清スポーツ少年団の選手五名が中心であり、新田選手の走力とドリブルの上手さ、得点能力の高さを十分に生かしたワンマンチームであった。

近ごろゴールキーパーは背の高い大柄な選手が台頭してきている中で、全庵原の望月君は一四〇㎝と小柄ではあったがファイトに満ち、味方のＤＦに大きな声で指示し機敏にゴールを守り抜いた、小さな大選手であった。

少年サッカーも年々レベルが高くなり、ただボールを蹴って走るだけでは通用しない。ボールがきちんと止まり、自分のまわりが見え、状況判断がすばやくできる選手。そして、ドリブル或いは、パスでも相手の逆が取れる個人戦術が必要とされてきている。

小学校六年生の中でも体力の差が大きく見られるが、少年期に必要とするフェイント・ドリブル・トラッピング等技術面を十分身につけてほしいと思う。

来年こそ、この中西地区から全国少年サッカー大会出場できることを願いたい。

焼津ＪＦＣ監督
太田良直樹

志太予選で大井川ＦＣになんとか勝つことができ、県大会に出場しました。

県大会一回戦は過去二回負けている藤枝ＦＣということで、試合前私も子供たちもいささか緊張していました。

志太の代表ということで、なんとか一回戦は突破したかったのですが、藤枝ＦＣの壁は厚く、結局２対０で負けてしまいました。

内容的には、中盤を藤枝ＦＣにおさえられ、外からのウイング攻撃ができず、得点するかたちに持っていくことができませんでした。とにかく焼津ＪＦＣは、練習量が少なすぎます、チームとしてのまとまりがなく、個々の力に頼った試合運びになってしまいました。

全日本では負けてしまいましたが、六月にある山口杯に向け、もう一度チームを白紙の状態に戻し、今度こそ藤枝ＦＣに勝てるよう頑張りたいと思います。

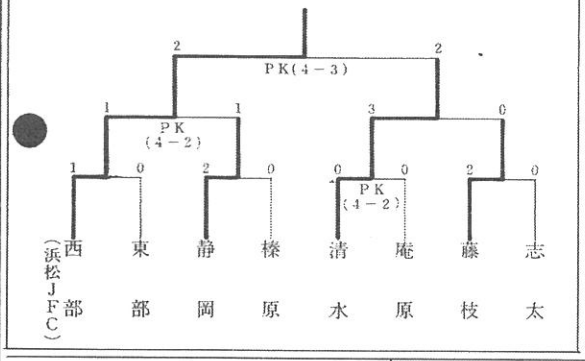
榛原東ＦＣ監督
海野春男

第十四回全日本少年サッカー県大会に参加して、私たち榛原東ＦＣは、一回戦突破を合言葉に一九となって戦いましたが、２対０と負けてしまいました。

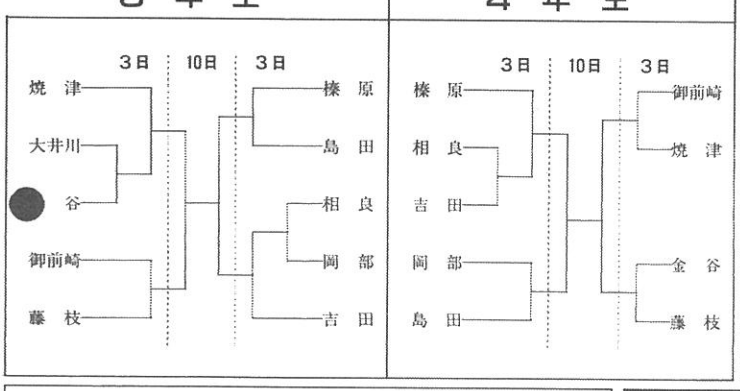
県大会を振り返ってみての反省点は、第一に対静岡ＦＣのスピード・パスワーク・中盤での組立に、ほんろうされ手がでなかった。第二に、自チーム選手個人個人の声がなかった事。自分の力をグラウンドで一〇〇％ださなかった事、榛原東がやりたかった事を、逆に静岡ＦＣにやられてしまった事、中盤の選手の運動量が足りなかった事などが挙げられます。

これからのチーム作りに対して、中盤選手の運動量・個人技術パワーを作り直して行きたいと思います。

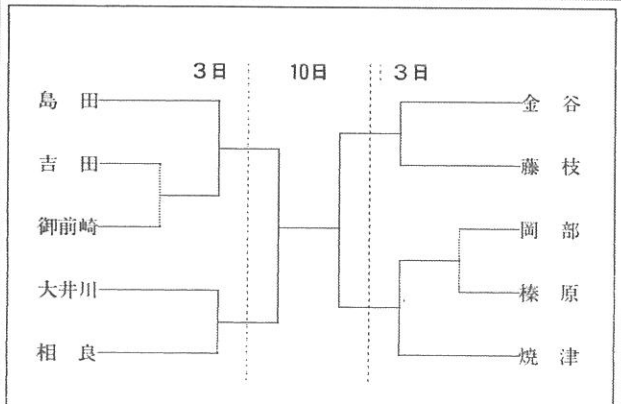
（５月27日現在）



第19回デサント杯 組み合せ（4・5年生）



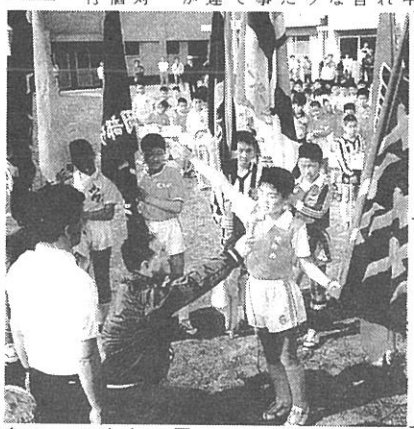
第14回山口杯 組み合せ（6年生）



志太サッカーリーグ開催

五月六日に港小にて県サッカー協会志太少年委員会主催による志太サッカー少年リーグが開催された。

選手宣誓は焼津西小主将吉岡雅史君によって行われた。写真手前が鈴木勝敏大会委員長。



第16回 島田リーグ戦成績
（５月27日現在）

Aリーグ（6年）
▽一位・島二（六勝一敗）▽二位・島四（四勝）▽三位・島三（四勝三敗）▽四位・神座（三勝二敗一分）▽五位・六合（三勝二敗）▽六位・島一（二勝二敗一分）▽七位・六合東（二勝三敗）▽八位・島五（一勝四敗一分）▽九位・大津（〇勝四敗一分）

Bリーグ（5年）
▽一位・六合（三勝）▽二位・神座（三勝二敗）▽三位・島二（三勝二敗）▽四位・島一（二勝二敗二分）▽五位・島四（二勝二敗一分）▽六位・六合東（一勝三敗一分）▽七位・島三（〇勝五敗）

Cリーグ（4年）
▽一位・島二（五勝一敗）▽二位・島五（四勝一敗）▽三位・島一（三勝二敗一分）▽四位・六合（四勝〇敗）▽五位・島三（二勝二敗二分）▽六位・六合東（二勝三敗一分）▽七位・神座（一勝三敗二分）▽八位・島四（〇勝四敗）▽九位・大津（〇勝五敗）

Dリーグ（3年）
▽一位・島二（六勝〇敗）▽二位・神座（三勝一敗一分）▽三位・島三（二勝三敗一分）▽四位・島一（二勝二敗一分）▽五位・六合東（二勝三敗）▽六位・島五（一勝二敗一分）▽七位・六合（一勝二敗）▽八位・島四（〇勝四敗）

藤枝市郷土博物館 第10回企画展
「サッカーのまち藤枝」好評のうちに終了



入館者一二、五六七人 ご来館 ありがとうございました

藤枝市郷土博物館

学芸員　鈴村　路子

藤枝市郷土博物館第10回企画展「サッカーのまち藤枝」は、好評のうちに五月十三日終了しました。サッカー関係者の皆様にはいろいろとご協力いただき、厚く御礼申し上げます。また、多数のご来館ありがとうございました。

日頃、博物館の来館者というと、どうしても年配者や主婦の方に片寄りがちです。もっと若い人にアピールできる展示はできないだろうか――藤枝には、昭和の歴史を語る上で欠くことのできないもののひとつにサッカーがあります。博物館にあまり馴染みのない若い方にも、スポーツの展示、特に静岡県では競技人口の多いサッカーについての展示なら、興味をもってもらえるのではないか……。スポーツを企画展として取り上げる博物館で新しい試みであったわけです。お陰をもちまして、当初考えていた以上に若い方が来て下さいました。

展示の時期についても配慮しました。博物館はご存じのとおり、蓮華寺池公園内にあるので、三月～五月には非常に多くの行楽客で賑わいます。また、フェスティバルの時期とも重なり、県外からお見えの方にもこの機会に藤枝サッカーの歴史について知っていただけると考えました。

会期も初めの頃は、人の入りも少なく、入口まで来て、「藤枝のサッカーか、今は弱いから」と帰られる方もいて、藤枝サッカーではもう人は呼べないのかと大変懸念しましたが、その後、会期も後半に入ってからは、次第に入館者も多くなりました。一般紙だけでなくスポーツ紙に取り上げていただいたこと、「キッカオフ90」といった番組で取材していただいたこともよかったと思います。

五月の連休の間には、山口芳忠様をはじめ、全日本や日本リーグで活躍なさった方もお忙しいなか、大勢お出かけ下さいました。また、JFAニュースやサッカーマガジンの記事で見たと、遠く埼玉や神奈川から来て下さった方もありました。

博物館で展示ができるほどの歴史と実績を今に残して下さったサッカー関係者の皆様に心より感謝いたします。そして今、毎日の練習に頑張っている皆さん。これからの歴史は皆さんが作っていくのです。忘れないで下さい。藤枝は、学校サッカーが強いというだけで「サッカーのまち」と呼ばれてきたのではないということを。多くの人々の努力によって、スポーツを越えた歴史が残されてきたのですから。



社会人チーム紹介
FCジャパン

監督　▽小野田　鏡二
主将　▽細谷　文孝
所属リーグ　▽中西部一部リーグ
部員数　▽25人
創立　▽昭和57年
主なタイトル　▽中西部二部二位（平成元）

チーム創立九年目を迎えました。本年度一部にたまたま昇格し、苦戦が続いていますが、試合後の「反省会」を励みに部員一丸となって頑張っています。チームの中心が三十の大台を越え、そろそろ新旧交代の転換期にさしかかっているようにも思います二〇〇〇二年のワールドカップをめざす。新しい選手の加入を楽しみにしています。



▲▼5月20日島田河川敷にて3部リーグの熱戦

中西部社会人リーグ速報！

これまでに、中西部一～三部リーグは好天に恵まれて三～四節を消化した。この間に、一部リーグでは、前号で活躍を報じたリーグ一位のコスモスがFCグリーンに分け、二位のヒューストンがバイオレンスに苦杯を嘗めるという展開になった、元年度上位で負けなしは焼津信用金庫のみとなり、一部も波乱の展開となっている。



第25回
東海社会人サッカーリーグ試合日程

	対戦相手 ホームチーム	対戦相手 アウェイチーム	グラウンド
第6週 6月17日	7．ジャトコ	1．西濃運輸	日産G
	8．芙蓉クラブ	2．中央防犯	静岡南高G
	5．日本電装	3．藤枝市役所	日本電装G
	6．豊田工機	4．ヤマハクラブ	日本電装G
	11．トヨタ蹴球団	9．名古屋クラブ	日本電装G
	12．静岡ガス	10．マルヤス工業	東海大総合G
第7週 6月24日	1．西濃運輸	6．豊田工機	浅草G
	2．中央防犯	5．日本電装	中央防犯G
	3．藤枝市役所	11．トヨタ蹴球団	藤枝市民G
	4．ヤマハクラブ	12．静岡ガス	ヤマハ大久保G
	7．ジャトコ	10．マルヤス工業	日産G
	8．芙蓉クラブ	9．名古屋クラブ	湖西市運動公園G
第8週 7月1日	5．日本電装	1．西濃運輸	刈谷市営G
	6．豊田工機	2．中央防犯	刈谷市営G
	12．静岡ガス	3．藤枝市役所	東海大総合G
	11．トヨタ蹴球団	4．ヤマハクラブ	トヨタスポーツセンターG
	9．名古屋クラブ	7．ジャトコ	トヨタスポーツセンターG
	10．マルヤス工業	8．芙蓉クラブ	トヨタスポーツセンターG
第9週 7月8日	1．西濃運輸	4．ヤマハクラブ	大垣南公園G
	2．中央防犯	3．藤枝市役所	藤枝市民G
	5．日本電装	10．マルヤス工業	日本電装G
	6．豊田工機	9．名古屋クラブ	日本電装G
	7．ジャトコ	12．静岡ガス	日産G
	8．芙蓉クラブ	11．トヨタ蹴球団	湖西市運動公園G
第10週 7月15日	3．藤枝市役所	1．西濃運輸	藤枝市民G
	4．ヤマハクラブ	2．中央防犯	ヤマハ大久保G
	11．トヨタ蹴球団	7．ジャトコ	トヨタスポーツセンターG
	12．静岡ガス	8．芙蓉クラブ	東海大総合G
第11週 7月22日	1．西濃運輸	2．中央防犯	大垣南公園G
	3．藤枝市役所	4．ヤマハクラブ	藤枝市民G
	5．日本電装	6．豊田工機	豊田市営G
	7．ジャトコ	8．芙蓉クラブ	日産G
	9．名古屋クラブ	10．マルヤス工業	豊田市営G
	11．トヨタ蹴球団	12．静岡ガス	豊田市営G
第2週 7月29日	11．トヨタ蹴球団	1．西濃運輸	日本電装G
第10週	9．名古屋クラブ	5．日本電装	日本電装G
	10．マルヤス工業	6．豊田工機	日本電装G
第2週 8月5日	7．ジャトコ	5．日本電装	日産G
	8．芙蓉クラブ	6．豊田工機	静岡南高G

予備日 〈7/29・8/5〉

第6回 女子サッカーリーグ

五月十三日　於：鈴与G
第一節

藤枝 0（0－0）0 常葉
姉妹 0（0－0）0 大学

焼津クイーンズ 1（1－0）1 沼津
0（0－1）1 沢田
得点者　月岡百合子（焼津Q）

六月三日、常葉大学Gにて第二節を行う予定。

講演会のお知らせ

藤枝東高同窓会主催（伊村隆憲会長）の講演会が六月二十三日㈯午後二時から藤枝市民会館にて行われます。

講演は現日本鋼管サッカー部監督岡村新太郎氏、演題は「サッカーと私」、皆様方の御来館をお待ちしております。

東海リーグの試合を見よう！

東海リーグ前期の試合で、この後、藤枝市民グラウンドで行われる試合がある。また、県リーグでも志太地区各所で試合が行われる予定。社会人のレベルの高いプレーを見られるこの機会を大切にしてほしい。近い将来このチームでプレーすることになる若い人たちもいるかもしれない。ぜひ一度見てほしい。

中西部トレセン、初の海外遠征

八月十五日より十九日まで
韓国ソウル市へ
ワールドカップ日本開催に向けての長期的選手育成に大いに期待

最近の中西部藤枝市のジュニアクラスの競技力の向上は目覚ましく、正に「蘇れ！藤枝の町サッカー」兆しとなる活躍ぶりです。

県スポーツ少年団大会で西益津少年団が初優勝、そして五年生以下で藤枝中央スポーツ少年団が見事初優勝を飾りました。中学生においては県新人大会で藤枝中が決勝で惜敗したが再び全国大会出場をねらっています。県選抜チームに中西地区より代表六名を送り、全日本選抜大会で優秀選手に二名が選出されました。このように、小・中で活躍した選手がトレセン所属選手です。

中西部協会事業の中核であるトレセンは小・中・高の一貫指導体制で素質ある選手を発掘して、計画的に専門のコーチが指導することにねらいがおかれています。国際的に通用する選手を育成するために韓国へ選手を派遣して、プレーヤー自身の目でサッカーのレベルアップを図ること、地域の代表としての資質の向上を目指すこと、さらに日韓友好を目的に韓国遠征を計画致しました。

今回、初の遠征に向けて、選抜された、小学生（二十一名）・中学生（二十二名）・島一城（大井川・三年）、望月郁生（焼津・三年）、脇田博之（和田・三年）▼MF河村聡（島田第二・三年）、安藤達也（藤枝中・三年）、望月康利、相馬孝正（以上、西益津・三年）、鈴木紀昭（大井川・三年）▼FW寺田靖（附島田・三年）、太田渉（藤枝・三年）、塩沢弘司（西益津・三年）、杉山将己（葉梨・三年）、大石剛司（大洲・三年）、石垣知広（小川・三谷・三年）、西村隆昌（相良・六年）▼MF曽根宏文、村松洋助（以上、藤枝中央・六年）、内藤修弘（大洲・六年）、鈴木孝正（焼津南・六年）、杉井哲也（焼津西・六年）、五十嵐謙二（島田第二・六年）、河村昇（相良・六年）、和田一也、柴田尚貴（以上、静清工・二年）▼FW西村和真（高洲南・六年）、小沢剛（焼津豊田・六年）、柳原隆裕（島田第四・六年）、山脇雅史（住吉・六年）、五十嵐雄志（大井川南・六年）

【小学生】

▼GK柳田崇（焼津豊田・六年）、鈴木健二（島田第二・六年）▼DF川本欣生（藤枝・六年）、酒井公広（広幡・六年）、錦野匠一（青島北・六年）、内藤忠明（焼津大富・六年）、海野久仁彦（島田第四・六年）、杉浦義康（金谷・六年）、西村隆昌（相良・六年）▼MF曽根宏文、村松洋助（以上、藤枝中央・六年）、内藤修弘（大洲・六年）、鈴木孝正（焼津南・六年）、杉井哲也（焼津西・六年）、五十嵐謙二（島田第二・六年）、河村昇（相良・六年）、和田一也、柴田尚貴（以上、静清工・二年）▼FW西村和真（高洲南・六年）、小沢剛（焼津豊田・六年）、柳原隆裕（島田第四・六年）、山脇雅史（住吉・六年）、五十嵐雄志（大井川南・六年）

【中学生】

▼GK高橋卓士（大洲・三年）、渋谷雅紀（西益津・三年）、鈴木健児（藤枝・三年）、田・二年）、飯塚稔文（吉田・二年）、鈴木秀和（藤枝東・三年）

▼DF山田暢久、丸山敦士、増田裕、牧田一幸（以上、藤枝東・二年）、柴田善信（西益津・三年）、清水智弘（高洲・三年）、青吉野友三（以上、藤枝・三年）、

▼GK大石裕紀（藤枝東・六年）、永田昌弘（藤枝北・三年）▼DF海老岡周造（藤枝東・二年）、秋山智洋（藤枝北・三年）、相川猛（静清工・三年）、和田一也、柴田尚貴（以上、静清工・二年）▼MF山田高行、大畑教嗣（以上、藤枝北・三年）小泉富広（静清工・三年）、原田尚俊（焼津中央・三年）、松村直樹（藤枝東・三年）▼FW池田勉（静清工・三年）、菊川一穂（藤枝北・二年）、増田裕、牧田一幸（以上、藤枝東・二年）、鈴木秀和（藤枝東・三年）

【高校生】

▼GK大石裕紀（藤枝東・六年）、永田昌弘（藤枝北・三年）▼DF海老岡周造（藤枝東・二年）、秋山智洋（藤枝北・三年）、相川猛（静清工・三年）、和田一也、柴田尚貴（以上、静清工・二年）▼MF山田高行、大畑教嗣（以上、藤枝北・三年）小泉富広（静清工・三年）、原田尚俊（焼津中央・三年）、松村直樹（藤枝東・三年）▼FW池田勉（静清工・三年）、菊川一穂（藤枝北・二年）、増田裕、牧田一幸（以上、藤枝東・二年）、鈴木秀和（藤枝東・三年）

藤枝東高サッカー部 OB会会誌
「千南原」発刊

六十余年前のサッカー事始めより、三冠王の栄華を見直しながら前進し続ける現在、会の一致団結と現役選手への変わらぬ期待が込められた文集「千南原」が出来上がりました。

ご希望の方は、深津敏夫（焼津市小川九二七の一、電話二八一七八三）まで御連絡下さい。



松永信夫氏 県体育章を受章



本年度静岡県体育協会体育章功労章贈呈式が、去る五月十九日に行なわれました。サッカー関係者では松永信夫氏が永年の功績を認められ、県体育章を受章しました。

松永氏は焼津市中里出身で昭和二十年代、三十年代には全日本の主将まで務め、戦後のサッカーに多大な貢献をされました。

なお、県サッカー協会、清水市サッカー協会、藤枝東高サッカー部OB会の共催で、七月二十一日午後四時より藤枝エミナースにて受章祝賀会が開かれます。

小宮山宏先生を囲む会 開催



永年にわたり藤枝東高（志太中）サッカー部部長を務め、数々の輝かしい実績を残された小宮山宏先生を囲んで、サッカー部OBが懇親会を行ないます。

●日時　六月二十四日　午後四時より

●場所　藤枝エミナース

6月・7月の予定

少年団	• 6月3日、10日 第14回山口杯争奪中西部支部選抜少年サッカー選手権大会 • 6月3日、10日 第10回デサント杯争奪中西部支部選抜少年サッカー選手権大会 • 6月24日、7月1日、15日 志太リーグ戦　第2・3・4節
中学	• 7月15日、20日、21日、22日、23日 志太地区中体連サッカー大会 （会場　藤中、西益津中、藤枝市民グランドほか）
高校	• 6月18日 藤枝東高千南祭（文化祭）招待試合 藤枝東対清水東 • 6月24日、25日 東海総体（愛知県）
社会人	• 6月27日、7月8日、15日、22日 中西部リーグ1～3部（藤枝日清紡Gほか） 東海リーグ（藤枝市民G） • 6月24日 県リーグ1部（NTT） • 7月22日 2部（吉田高校他） 天皇杯予選 • 7月1日 県女子リーグ　第3節（警察学校G）



特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽㈱中部エージェンシー（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽松田園（二口）
▽ダックユニオン㈱（二口）
▽ヴィヴィエ化粧品（二口）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽鈴木食品工業
▽静觀倉庫
▽東洋オートパーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ペンションふじた
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野坂骨院
▽ねぎや酒店
▽蒋田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽彬寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光（コンコルド大井川店）
▽原田造園㈱
▽㈲大杉組
▽喫茶　葦
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈲水谷商店
▽㈲共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルペンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック欅
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ

■個人■

▽山口森三
▽松永　臻
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽杉本久雄
▽鈴木啓文
▽鈴木正治
▽池谷敬一
▽式田義邦
▽神戸晴士
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬　敬
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田　規
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫

SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 0546(41)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 0546-43-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長　埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成2年9月9日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた。
054－6XX－電話番号です。
くわしくは、最寄りのNTT営業所または、
116番にお問合わせください。
NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 7

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

アジアNo.1の韓国と中西部サッカー協会の技術交流実現!!

八月十五日より十九日まで全10試合を予定



写真右より 崔 徳柱氏（桃山学院大コーチ）、白氏（ソウル市蹴球協会副会長）、田 寛道氏（ソウル市蹴球協会副会長）、滝本義三郎（中西部サッカー協会理事）

平成時代に入って「蘇れ、中西部」を合言葉に、藤枝を中心とした中西部地区のジュニアクラスの競技力の向上には目覚ましいものがある。小六の西益津少年団の県制覇を始め、中学においても県選手権（ふれあいカップ）での藤枝中の準優勝、大洲中の三位、西益津中の準々決勝進出等、藤枝勢の活躍はまさに全盛時の藤枝に近づくものであると思う。

さて、中西部サッカー協会では、二〇〇二年ワールドカップ日本開催に向けて、国際的に通用する選手を育成するために、アジアナンバー1の実力を持つ韓国へ遠征することを企画した。子供達自身が、自らの目で見、肌で感じる機会をつくり、レベルアップを図ることは何より有意義なことであろう。

中西部サッカーの中核をになう、小・中・高の選手達の活躍を期待し、是非韓国遠征の成果を上げてほしい。

今回、藤枝青年会議所の村松章隆氏の紹介で、早大出身の金氏、そして桃山学院大学監督の康氏、コーチの崔氏との会見が実現。諸氏の御尽力により、ソウル特別市蹴球協会と当協会が今後、技術向上を目指し、交流していく事が約束されたのである。

当協会としては、小・中・高の一貫指導体制を強化するとともに、この遠征を通して韓国の指導者との交流を深めるために、韓国プロサッカーのゲーム観戦なども計画している。

なお、海外遠征に選抜された選手及び指導者にとって、今回の企画はたいへん意義ある機会であると考えられる。それだけにコンディションに十分留意して万全の体勢で望むとともに、国際交流を通して青少年の健全育成のためにも大いに成果を上げてほしいものである。

今回は会長である松田真平氏も遠征に参加していただけるという事で、さらにその成果が期待されている。

スケジュール及び引率者は次のとおり。

【スケジュール】

〔八月十五日〕ソウル着十二時十分、民族村見学

〔八月十六日〕▽小学生（二試合）国民学校G、十三時～▽中学生　オリンピック補助G、十五時～▽高校生　同G、十六時三十分～

〔八月十七日〕▽小学生　オリンピック補助G、十三時～▽中学生　同G、十四時～▽高校生　同G、十五時三十分～

〔八月十八日〕▽小学生　オリンピック補助G、十三時～▽中学生　同G、十四時～▽高校生　同G、十五時二十分～▽プロサッカー観戦（十九時～）

〔八月十九日〕ソウル発十三時十分、名古屋着十四時四十分、藤枝着十八時三十分

【役員及び引率者】

▼団長　松田真平（中西部サッカー協会会長）▼副団長　石上瞬二（同理事長・高洲中）▼総監督　滝本義三郎（同トレセン代表・藤枝中）▼小学生部▽監督　山本輝雄（中西部少年部長）▽コーチ　鈴木民男（島田市トレセン）、鈴木勝敏（焼津市トレセン）、飯塚盛久（榛原郡トレセン）、雄井善治（藤枝市トレセン）、海瀬敏（榛原協会理事長）▼中学生部▽監督　岩沢達人（中西トレセン・焼津中）▽コーチ　青島信裕（中西トレセン・島田一中）、田村和彦（中西トレセン・大井川中）▼高校生部▽監督　岩田要司（中西トレセン・静清工高）▽コーチ　岡本勇（中西トレセン・大井川高）▼会計　池谷英人（中西部サッカー協会会計・六合中）



第23回韓国大統領舎盃の観戦（東大門スタジアム）



ソウル特別市蹴球協会事務所にて

第11回県農協ふれあいカップ
藤枝中、清水五中に敗れ準優勝



第十一回県農協ふれあいカップが六月三日と十日、清水市東海大松前グラウンドで行われた。

中西部代表の三チーム、藤枝中・大洲中・西益津中の活躍は素晴しかった。

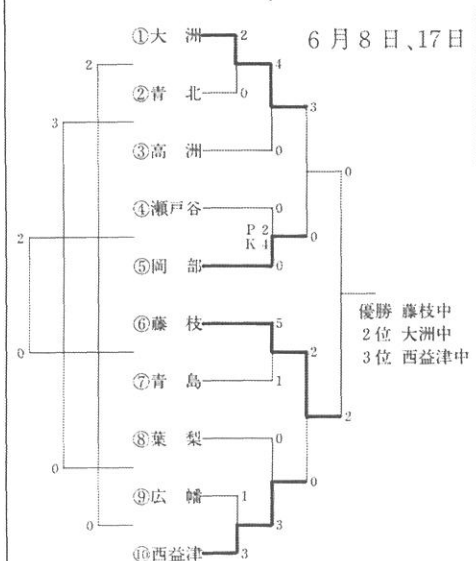
まず、西益津中は優勝した清水五中と二回戦で対戦。先取点を許したものの前半三点を連取した。しかし、後半になってDFが乱れ、四点を取られ、惜しくも敗れた。今後、DFを強化すればかなり楽しみなチームになるだろう。

大洲中は、一回戦東豊田中、二回戦浜松東部中に対し、延長で勝ち抜くという粘り強さを発揮した。そして準決勝では清水五中と対戦。防戦一方で0点に抑えていたが、終了直前、GK高橋の思いがけないミスから得点され、惜敗した。この経験をバネに、高橋を中心に中体連に向けてがんばってほしい。

藤枝中は順当に勝ち進み、決勝で清水五中と対戦。県一年生大会、新人大会、県農協ふれあいカップのいずれも決勝で対戦するという実力伯仲の両チームであった。しかし、後半清水五中の左サイドからのセンターリングからシュートを決められ、準優勝に終わった。次の対戦では宿敵清水五中を是非破ってほしいものだ。

中学生の夏のイベント、志太・中部・県・全国大会（香川県）に向けて技術を磨き、全国大会出場を目指してほしい。

藤岡総体 藤枝中優勝
二位大洲中、三位西中・岡中



中体連志太大会 組み合わせ決定

▼七月十五日　9時より〈会場〉藤枝中学校
①東益津 対 小川
②六合 対 焼津
③大村 対 瀬戸谷
④広幡 対 島田二
⑤小川 対 藤枝
⑥焼津 対 西益津

〈会場〉豊田中学校
①大井川 対 初倉
②豊田 対 島田一
③和田 対 島田附
④葉梨 対 高洲
⑤初倉 対 青島北
⑥島田一 対 岡部

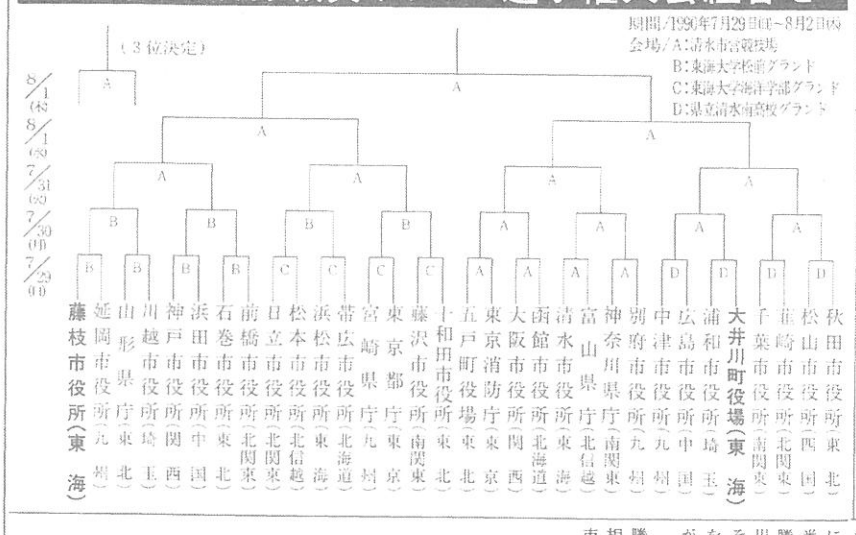
▼七月二十日　9時より〈会場〉藤枝中学校
①瀬戸谷 対 港
②島田二 対 大富
③東益津 対 藤枝
④六合 対 西益津
⑤大村 対 港
⑥広幡 対 大富

〈会場〉豊田中学校
①島田附 対 青島
②葉梨 対 大洲
③大井川 対 青島北
④豊田 対 岡部
⑤和田 対 青島
⑥大洲 対 高洲

焼津・大井川総体
大村中初優勝
大井川は予選で敗退

【予選リーグ】
▼Aリーグ
豊田中 0－0 小川中
豊田中 2－1 東益津中
小川中 3－2 東益津中
▼Bリーグ
焼津中 2－1 港中
大村中 2－1 焼津中
大村中 1－0 港中
▼Cリーグ
和田中 2－1 大井川中
大富中 4－1 和田中
大富中 2－1 大井川中
【決勝リーグ】
小川中 1－0 大富中
大村中 2－0 小川中
大富中 1－0 大村中
▽優勝　大村中
▽二位　大富中
▽三位　小川中

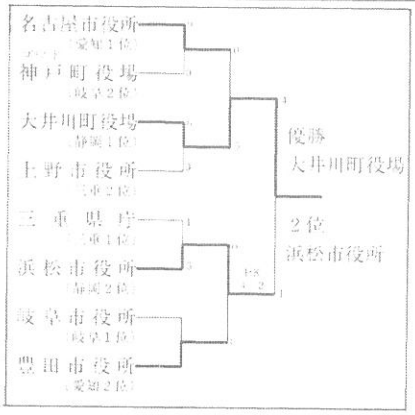
第20回記念 全国自治体職員サッカー選手権大会組合せ



自治体サッカー東海予選 大井川町役場優勝

全国大会出場決まる

藤枝市役所とともに 活躍に期待



六月十六、十七日に全国大会出場をかけて、第二十回全国自治体職員サッカー東海大会が行われた。

大井川町役場は、一回戦上野市役所と戦った。終始大井川町役場のペースで、試合が展開し、前半を2－0で折り返し、後半に4得点を加え、6－0と完勝した。尚、この試合で、FW八木がハットトリックをし、大活躍だった。

準決勝の相手は、名古屋市役所で、前半立ち上がりは、全国大会出場のプレッシャーか、やや動きに精彩を欠いたものの、しだいに本来の動きにもどり、前半に2得点、後半に3得点を入れ5－0と圧勝した。この試合では、FW川崎、DF石田、MF川村がそれぞれ1アシスト、1得点を決め、各選手の調子の良さが表れていた。

そして、念願の東海大会優勝を目指して決勝が行われた。相手は、同じ静岡二位の浜松市役所。大井川は、スピード感のある試合展開のなか、前ゲームを展開し、後半三十一分にFW藤野が持ち込んでの、二十六分MF川村からのボールをFW八木がゴール右すみに決め、続く二十七分には川村のコーナーキックでMF杉山がボレーシュートを入れ、すぐ逆転に成功し、前半を2－1と折り返した。

後半に入ると終始有利に試合を展開し、後半三十一分にFW藤野が持ち込んでのゴール。続く三十二分には八木からのパスを川村が鮮やかにゲットし4－1で快勝した。

七月二十九日から清水市営競技場を主会場にして全国大会が行われる。中西部からは、前年度優勝の藤枝市役所、大井川町役場が出場する。両チームの活躍に期待する。


藤枝市役所サッカー部


大井川町役場サッカー部

社会人部 3部Aリーグ終了

好天に恵まれ、三部のAリーグが終了した。二部への切符を手にしたのは二シダFCで、全勝、得失点差二十八という結果だった。また、同リーグ得点王の栄誉は、新規加入チームの岡部キッカーズの前島秀基さんの上に輝いた。

ニシダ代表者田山茂（岡部町内谷在住）さんに聞く。

リーグ優勝の要因は、チームワークと何よりも、メンバーが、集まることができたことだ。ニシダに勤めている者が中心だが、そのほかからもサッカーの好きな者が集まってチームを作っている。そのため、日程の調整には苦労する。

私（三十九才）がセンターフォワードという平均年令の高いチームであるが、その分、老練な守備とオーソドックスだが、堅実な攻撃が身上の好チームだと思う。最大の敵であるテクニシャンズに勝てたことも大きいと思う。

三部リーグだが、やはりメンバーの確保が課題となるチームが多いように感じる。また、チーム力に差があるものこのリーグの特徴だと思う。（文は、感想をもとに内容をまとめたもの）

運営委員長（金子・テクニシャンズ）の感想

村上開明堂が、部員の多くが海外派遣となるという事態となり、途中で棄権をやむなくされたことは、残念だった。しかし、好天に恵まれたことと、富士フィルムが会場を提供してくれたことにより、大きな遅れもなく順調に日程を消化できたことは、何よりであった。参加チームの一人一人がフェアプレーに徹してくれたことも大きな事故や問題もなくリーグを終了できたことの要因だと思う。当初、新チームの岡部キッカーズが、大量点を上げたことから、強力チーム現ると思われたが、最終的には、テクニシャンズとニシダの争いとなり、上位リーグの経験もあるニシダに栄冠が輝いたと思う。Bリーグとの順位決定戦でも頑張ってもらいたい。

大量得点差の試合が数試合あったのは、メンバーの日程調整の成否がリーグ戦では何より大変なことであることを感じさせた。

平成２年度 中西部サッカーリーグ３部Ａ試合結果

	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失	順位
ニシダＦＣ	7	0	0	14	36	8	28	1
テクニシャンズ	6	1	0	12	29	9	20	2
東海積水	4	2	1	9	25	8	17	3
岡部キッカーズ	3	2	1	7	32	27	5	4
島田信用	1	3	3	5	10	19	－9	5
富士フィルム	2	4	1	5	8	27	－19	6
島田理化	1	5	1	3	13	31	－18	7
共立印刷	0	5	1	1	5	28	－23	8

2．得点王

得点王　13点　前島秀基　岡部キッカーズ

二　位　9点　村越智博　東海積水

公認スポーツ指導員 移行講習会 開かれる

日本体育協会の法人化に伴う、公認指導員の資格移行講習会が静岡市で六月二十四日に行われた。サッカー関係での指導者も集まり、暑い中、熱心に聴講していた。内容は、済生会病院の副院長の石垣健一氏、県教育委員会保健体育課主席指導主事の太田勝征氏、静岡大学教授の渡辺功氏の三名で九時から五時までみっちりとスポーツ指導の基本をたたきこまれた形となった。

内容は指導にあたって、寒冷時、早朝のトレーニングの危険性、オーバートレーニング、エラートレーニング（疲とび、腹筋、などやってはいけないもの）について学んだほか、脊椎の両側にある背筋こそ鍛える必要があることなどについても示唆の多いものであった。

【講習会参加者】

野神弘雄、鷲巣増雄、曽根金清、鈴木民男、池谷明人

社会人チーム紹介 コスモスサッカークラブ



▽監督　新藤　敏文
▽主将　今村　明功
▽所属リーグ　中西部一部リーグ
▽部員数　三十名
▽創立　昭和五十三年三月
▽主なタイトル　五十八年、五十九年県民スポーツ祭優勝（町村対抗の部）
▽六十二年度一部優勝
▽六十三年度五支部順位決定リーグ戦第二位

とにかくサッカーの好きな連中が集まりました。モットーは楽しいサッカー敏しいサッカーを心掛けています。頑張ります！

第14回山口杯争奪
中西部支部選抜少年サッカー選手権大会

藤枝FCが優勝
オール島田の健闘光る


優勝した藤枝FC

攻守に勝る藤枝が島田を敗り優勝を飾った

開始直後からお互い譲しい チャンスを逸したあと、六分すぎ藤枝が攻め、西村に絶妙なパスが通り、島田BKをふりきってシュートを決め先制した。

その後、島田も頑張り優勢に進めたが、藤枝の固い守りに合いゴールを割ることができず前半を終了した。

後半立上りも島田の攻めが続いたが藤枝の守りを崩せず、逆に七分過ぎ、島田BKの裏へ出たボールを青柳が強烈なシュートを放った。GKがはしくがすかさず西村に押し込まれ藤枝に2点目が入った。さらに十分すぎに曽根のシュートをGK懸命にセービングするがまたしてもボールがこぼれ、これを青柳が軽く合せ決定的な3点目が入った。


コーチの話を熱心に聞く島田イレブン

しかし島田も気力をしぼり十二分すぎシュートしたがバーに当る不運な場面もあった。

余裕の出た藤枝は十五分、西村が左の難しい角度からゴール右スミに豪快に決め4点目を奪った。藤枝は曽根を中心によくまとまり攻守の切替えが早く試合巧者ぶりを発揮し、特にFW西村の活躍が目立った。

一方島田も必死に反撃するも、藤枝の固い守りを最後まで崩すことができず涙をのんだ。

鈴村路子レポート①
人は昔からボールを蹴り続けてきた

このコーナーでは、先日行われた藤枝市郷土博物館第10回企画展「サッカーのまち藤枝」の企画をされた鈴村路子学芸員が、「皆さんにサッカーをよりよく知っていただこう」と、サッカーの歴史などを紹介してくれます。今まで知らなかったサッカーのことや、おもしろい話が飛び出して来ることでしょう。今回のテーマは「蹴る」です。

蹴る　それは昔から人間がごく自然に行ってきた動作のひとつです。「蹴る」ことからはじまる競技は、世界中でいろいろな形で発達してきましたが、サッカーやラクビーのような近代スポーツの形式に整うには長い年月がかかりました。

「蹴る」競技の歴史をたどってみましょう。

およそ四〇〇〇年前のエジプト文明の時代、古代エジプト人が足で球状のものを扱っている壁画があります。さらに、ギリシアで行われたエピスキュロスやローマのハルパストゥムは、サッカーの発生につながる競技とも言われています。

現在のサッカーはイギリスで発達したものが基礎となっており、F・P・マグーンJr著「フットボールの社会史」（岩波新書・忍足欣四郎訳）によると、十二世紀にあいまいではあるが、蹴球が行われたことを示す文献があるとしています。しかし、伝説ではそれより以前、イギリスに侵略してきたデンマーク人の頭蓋骨を蹴ってうさ晴らしをしたのが起源であるとも言われています。また、イタリアでは「カルチョ」と呼ばれる球技がルネッサンスの頃よりさかんに行われたようです。

アジアに目を向けてみましょう。中国では紀元前二世紀のころの漢の時代に「蹴鞠（けまり）」が始められました。兵士の訓練にも取り入れられ、王や武将の好む遊びに発展し婦人間にも流行しました。日本では中大兄皇子や藤原鎌足が行ったのが最初とされていますから、およそ一三〇〇年前には日本にも「蹴鞠」が伝わっていたと考えられます。また、バレーボールとサッカー・蹴鞠をミックスしたような最近話題のスポーツ・セパタクローも歴史は古いのです。マレー半島で九世紀ころにはその起源となる遊びが行われ東南アジアの各国に広まりました。

アメリカ大陸で栄えたアステカやマヤ帝国では立派な球技場が作られていました。

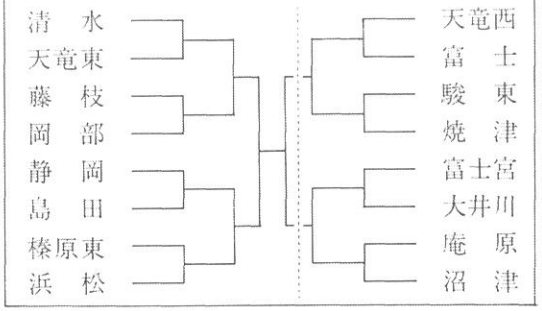
このようにボールを蹴る競技は世界中のどこでも行われており、人々が楽しんできたのです。

次回は、イギリスで発達してきたフットボールの歴史について紹介します。

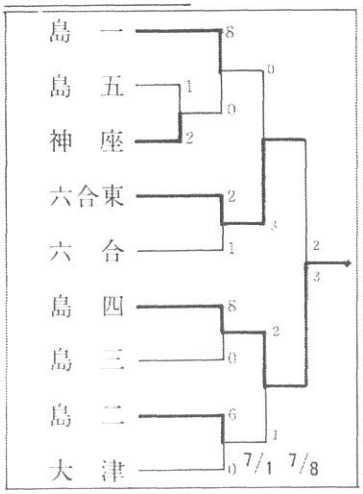

セパタクローで使われる
藤でできたボール

第15回さわや●杯争奪
静岡県大会　兼
東海四県静岡県予選会
（6年生）

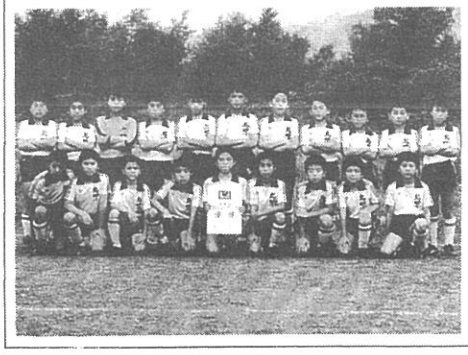
8月25(土)・26(日)　草薙G　静岡南高G



第4回フジパンカップ少年サッカー大会
島田予選



島田第四が優勝



第17回藤枝JC杯争奪全国少年サッカー大会
サッカーの町藤枝で
少年サッカーの全国大会

昨年、感動溢れる好ゲームがくりひろげられたこの大会が、今年も「心の交流」をサブタイトルにして八月十一日㈭から三日間、藤枝市民グラウンドをメーン会場として、十二のグランドを使用し開催されます。まさにこの三日間は藤枝市内のどこへ行ってもサッカーの熱い戦いがくり広げられていると言えるでしょう。北は北海道札幌から南は九州大分まで全国各地から精鋭三十チームと地元藤枝市内の十八チームの四十八チームによって藤枝JC旗が競われます。

八月十一日㈭、午前八時三十分、静岡県警音楽隊の軽快なバンドにのった開会式での入場行進を、是非ご観覧下さい。

そして応援して下さい。きっと感動溢れるプレーをご覧頂けると思います。

チームのプレーを見て下さい。

是非みなさん全国からの各

（少年部長　山本輝雄）

第17回藤枝ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会　参加チーム

No.	チーム名	No.	チーム名
1	札幌北野サッカークラブ	2	小名浜東サッカー少年団
3	箕郷フットボールクラブ	4	岡谷サッカー少年団
5	水原サッカー少年団	6	浅羽野サッカー少年団
7	江南南サッカー少年団	8	松任ＦＣＪｒ
9	ＦＣ町田	10	船橋ＦＣ
11	佐野ベアーズ	12	藤沢クラブ
13	甘利サッカー少年団	14	櫛形サッカー少年団
15	愛知ＦＣ	16	犬山北サッカー少年団
17	多治見選抜	18	つくし野サッカー少年団
19	桔梗が丘ジュニアサッカークラブ	20	矢賀ＦＣ
21	川添サッカー少年団	22	アストラ・ジュニア
23	東久留米ジュニアサッカークラブ	24	泉西少年サッカークラブ
25	オール島田	26	長田西サッカー少年団
27	焼津ＪＦＣ－Ａ	28	ヤマハサッカースクール
29	焼津ＪＦＣ－Ｂ	30	清水ＦＣ
31	藤枝ＦＣ６年	32	藤枝ＦＣ５年
33	瀬戸谷第２サッカー少年団	34	藤枝サッカー少年団
35	藤枝中央サッカー少年団	36	西益津小サッカー少年団
37	青島サッカー少年団	38	青島東サッカー少年団
39	葉梨サッカー少年団	40	葉梨西北サッカー少年団
41	高洲サッカー少年団	42	大洲サッカー少年団
43	稲葉サッカー少年団	44	瀬戸谷第１サッカー少年団
45	広幡サッカー少年団	46	藤岡サッカー少年団
47	高洲南サッカー少年団	48	青島北サッカー少年団

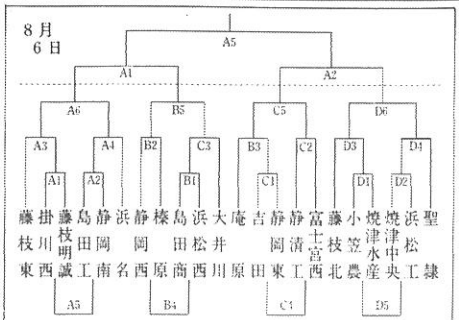
ルールを知ろう③

警告と退場

▼警告処分が適用される場合
競技者が次の四項目を違反した場合には、警告が与えられる。
一、主審の許可を受けることなく、競技開始後に自分のチームに参加または復帰するため競技場内に入ったり、競技進行中に競技場を出ること。
二、くり返し競技規則に違反すること。
三、主審の下した決定に対し、言葉または行動によって意義を示すこと。
四、非紳士的行為をすること。
(a)フリーキックのときに相手方競技者が十ヤード以上はなれない。
(b)故意に腕を広げて相手のプレーを妨害する。
(c)ゴールキーパーが、故意にボールをかかえこむ。
(d)ペナルティキックのとき、ペナルティエリア内に入ったり、十ヤード以内に近づく。
(e)ペナルティキックを蹴るときトリックプレーをする。
(f)時間を浪費する目的で故意にボールを蹴り出したり、主審の反則を示す笛がなった後ボールを遠くへ蹴とばす。
(g)競技中に大声をだしたり、相手をまどわす発言をする。
(h)味方の肩をかりてヘディングする。
(i)スローインする相手競技者をまどわしたり、妨害する。
(j)相手方のフリーキック・スローインのボールを早く渡さなかったり、よその方向へ蹴る。
(k)スローインのボールを相手方競技者に強くぶつける。
(l)強度の危険が予想されるプレーをする。
(m)プロフェッショナルファール（有利にするため、頭上をこえるボールを手で捕ったり、ゴールキーパー以外の競技者がゴールインしそうなボールを手で防いだりする。）
(a)つばをはきかける。
(b)ボールを近くの競技者に対し蹴りつけたり、投げつけたりする。
(c)砂や石を投げつける。
(d)胸ぐらをつかんでのしる。
(e)きわめて悪質な行為（相手方競技者をなぐったり、つきとばしたりする。）
二、口ぎたない発言・侮辱的発言。
三、警告された後も不正行為をくり返す。
四、故意に、しかも悪質な方法や態度で直接フリーキックで罰せられる反則をいう。（ゴールキーパーが故意に相手競技者にボールを投げつける。相手方競技者をなぐろうとする。ボールがないのに相手競技者を蹴ろうとするなど）
▼退場処分が適用される場合
一、乱暴な行為・著しく不正なプレー



長池杯トーナメント組み合せ



'90SBSカップ国際ジュニア大会

八月九日から十二日まで、'90SBSカップ国際ジュニアサッカー大会が、県内四ヶ所のグラウンドで行われる。
▼出場チーム
・ボタホゴ（ブラジル・サンパウロ州ユースチーム）
・大邱工業高等学校（韓国体育部長官杯大会優勝チーム）
・フォルトナ・デュッセルドルフ（西ドイツ・ニーダーライン リーグ二位チーム）
・静岡県高校選抜（国体少年の部県代表チーム）
▼試合日程
8月9日（木）
〈会場〉藤枝市民グラウンド
ボタホゴ VS 静岡県高校選抜
フォルトナ・デュッセルドルフ VS 大邱工業高校
8月10日（金）
〈会場〉清水市営グラウンド
大邱工業高校 VS 静岡県高校選抜
ボタホゴ VS フォルトナ・デュッセルドルフ
8月11日（土）
〈会場〉県営浜松球技場
ボタホゴ VS 大邱工業高校
フォルトナ・デュッセルドルフ VS 静岡県高校選抜
8月12日（日）
〈会場〉県営草薙球技場
予選リーグ三位チーム VS 予選リーグ四位チーム
予選リーグ一位チーム VS 予選リーグ二位チーム

おわびと訂正

先月号「ルールを知ろう」におきまして、編集部担当者の加筆した部分に、不適当な表現がありました。これは、元の原稿にはなかった記述でその責任は全て編集部担当者に帰するものです。大坪先生をはじめ、多くの方々に御迷惑をおかけしました。この場をお借りしておわびするとともに、以下部分を訂正いたします。
「訂正部分」本紙六月号一ページ「ルールを知ろう」のうち、七段目三行より十二行目までをすべて削除
※競技者と線審以外は、主審の許可を得ないで競技場内に入ってはいけないので負傷した競技者の手当てのためトレーナーやドクターが競技場へ入れるのは主審の指示があった場合だけである。無断で入ると警告される。
※主審に対する不正行為は、競技時間内であっても競技時間外であっても許されない。

中西部地区高等学校一年生名簿(2)

【藤枝東高校】長谷川剛士、水俊哉、田塩好栄、田中衛、松本剛明、斎藤孝郎、小黒祐輔、宮石知之、蒋山竜之助、村越義人、岡本直也、上口貴志、武智由紀、萩原章人、山赤堀規和、吉野友之、片山康田泰郎、青島真澄、石上充浩、榎本慎太郎、小川達也、小沢行、加藤一洋、北村健太郎、鈴木貴博、八木吉幸、梅原洋進吾、児玉栄行、柘植雅登、二、亀窪慎太郎、秋定実、神村松宏真、浦山文裕、村松隆戸大輔、橋本卓幸
【藤枝北高校】大石健太、清弘

7月・8月の予定

少年団
- 7月28、29日
  第11回島田招待少年サッカー大会（島田市民グランド他）
- 8月4、5日
  第12回金谷グリーンカップ（第一製薬G他）
- 8月11、12、13日
  第17回藤枝JC杯争奪全国少年サッカー大会（藤枝グランド他）
- 8月15、16日
  焼津招待少年サッカー大会（市内小グランド）

中学
- 7月15、20、21、22、23、24日
  中体連志太大会（藤枝市民グランド・焼津市営グランドほか）
- 7月26、27、28日
  中体連中部大会（藤枝市民グランド・焼津市営グランドほか）
- 8月1日
  中体連県大会（藤枝市民グランド・焼津市営グランド・豊田中学）
- 8月2、3日
  中体連県大会（県営浜松海浜公園グランド）

高校
- 8月6、7日
  長池杯（藤枝東・藤枝北・焼津中央・大井川ほか各校グラウンド）
- 8月9日
  SBSカップ（藤枝市民グラウンド）
- 8月17、18、19日
  県私学大会（各校グラウンド）

社会人
- 7月29日～8月2日
  第20回全国自治体職員サッカー大会（清水）
- 8月1日～3日
  清水招待女子サッカー大会
- 7月15日
  榛南社会人サッカーリーグ前期最終戦
- 8月26日
  県社会人リーグ前期最終戦

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■
▽大光自動車㈱（三ヨ）
▽㈱井川商店（三ヨ）
▽㈱中部エージェンシー（三ヨ）
▽㈱サンショップ（二ヨ）
▽松田園（二ヨ）
▽ダックユニオン㈱（二ヨ）
▽ヴァヴェール岩崎をえだ（二ヨ）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぼたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽鈴木食品工業
▽静慶倉庫
▽東洋オートパーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ペンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽蒔田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽彬寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光㈱（コンコルド大井川店）
▽原田造園㈱
▽㈲大杉組
▽喫茶　章
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈲水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルベンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック欅
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ

■個人■
▽山口森三
▽松永　臻
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽杉本久雄
▽鈴木啓文
▽鈴木正治
▽池谷敏一
▽式田義邦
▽神戸晴士
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬　敬
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田　規
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫



adidas PUMA Admiral PATRICK MIKASA Kappa Sport molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 0546(41)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 0546-43-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長 埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成２年９月９日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、
054-6XX-電話番号です。
くわしくは、最寄りのNTT営業所または、
116番にお問合わせください。
NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 8

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

第20回全国自治体職員サッカー選手権大会 藤枝市役所 V2達成！


優勝した藤枝市役所チーム

第二十回全国自治体職員サッカー選手権大会決勝戦が八月二日、清水市営グラウンドにて行われた。

藤枝市役所対秋田市役所の顔合わせは三年連続で、藤枝には二連覇がかかっていた。

前半、やや藤枝が押しぎみに進め、ゴール近くまでボールを集めることはできたが、秋田の堅い守りを破ることはできなかった。逆に、前半途中から秋田の攻撃に勢いがみられてきた。

ハーフタイムに池谷監督は、声が相手より出ていないので、もっと声を出すようにと指示し、選手を送り出した。

後半、ハーフタイムで気合を入れた藤枝は動きが良くなり、後半から出場した平口、紅林、渡辺らがゴールを狙った。たびたび、秋田FW陣をフリーにしてしまい、危ない場面もあった。しかし、その中で藤枝は速攻をかけ、田中からの縦パスを受けた宇野がペナルティーエリア付近まで持ち込み、走り込んできた渡辺がGKをかわしてゲット！待望の得点が試合終了三分前に入った。

得点した渡辺剛選手は足を痛めながらの出場。準決勝で二得点、そして決勝点を入れ、まさしく傷だらけのヒーローであった。

浅羽孝司監督談話


今日の試合についてなかなか点が入らなかったので、延長戦かもしれないと思っていましたが、渡辺にボールを集めればなんとかなると思っていました。

去年と今年の優勝を比べてどちらのほうがうれしいか。

自分が選手として出場した一昨年、秋田に2対0で負けてしまい、去年は0対4と倍の得点で勝てたので、去年の方がうれしいです。

監督はインタビューの始めの頃、優勝の実感がわかないと言っていたが、いろいろな質問に答えるごとに、うれしさが顔に表れてきた。

田中章元主将談話


優勝しての感想

うれしいというよりも、むしろホッとした感じです。

今大会で苦しかった試合は準決勝までは、前半十分以内に得点できたので、藤枝ベースで試合ができましたが、決勝では七対三の割合で試合を支配されて苦しかったです。

そして、プレーをしながら延長を考えましたが、渡辺が何かをしてくれるものだと信じていました。

今後の目標は

今、東海リーグ前期で、三あるいは四位というところなので、九月から始まる後期で頑張り、日本リーグ二部入りを果たしたいです。

暑い中、しかし会場が清水市ということもあって、飯塚市長をはじめ、多くの役職員などが応援に駆け付けていた。

仕事との両立が大変だろうが、この優勝をバネに再び日本リーグ入りを果たしてもらいたい。

藤枝市役所 優勝への軌跡

〈一回戦〉
藤枝市役所 5（2－0 3－0）0 延岡市役所

〈二回戦〉
藤枝市役所 9（4－0 5－0）0 山形県庁

〈三回戦〉
藤枝市役所 3（2－0 1－0）0 神戸市役所

〈準決勝〉
藤枝市役所 3（2－0 1－0）0 藤沢市役所

〈決勝〉
藤枝市役所 1（0－0 1－0）0 秋田市役所

大井川町役場はベスト8



河野義行監督談話

二年連続二回目の全国大会出場となった今大会、昨年の一回戦敗退というくやしさから、初戦突破を目標に日々練習を重ね、大会に望みました。

その結果、一回戦、二回戦を無難に勝ち進み、念願のベスト8入りを果たすことができました。ベスト4をかけた秋田市役所戦では、強豪秋田に名前負け、力負けすることなく、互角以上のすばらしい試合展開で進みましたが、後半、ちょっとのスキをつかれて一点を取られてしまいました。

しかし、その後は運動量、精神力は途切れることなく波状攻撃をかけましたが、バーにあたるシュートなど無情にも得点に結びつかず、惜しくもベスト4を前に敗れてしまいました。

今大会を通じて、選手一同十分な手ごたえをつかましたので、来年新たなる目標、ベスト4を目指して、選手一丸となってがんばっていきたいと思います。

最後になりましたが、中西部サッカー協会をはじめ、多くの皆様方に多大なるご支援をいただきましたことを、厚くお礼申し上げます。

■大井川町役場の戦歴■

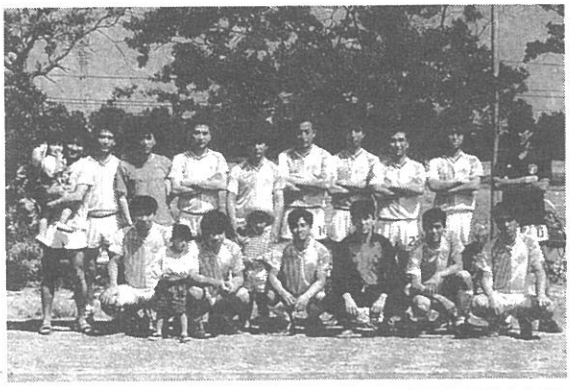
〈一回戦〉
大井川町役場 3（2－0 1－0）0 浦和市役所

〈二回戦〉
大井川町役場 2（1－0 1－0）0 中津市役所

〈三回戦〉
秋田市役所 1（0－0 1－0）0 大井川町役場


大井川町役場チーム

社会人チーム紹介 焼津フットボールクラブ



監督
▽吉田　裕俊
主将
▽川崎　宏
所属リーグ
▽中西部一部リーグ
部員数
▽24名
主なタイトル
▽平成元年度二部リーグ一位

昨年度の総失点3が示すように固い守りの基本に忠実なチームである。

サッカー好きな者が集まって、家族的でたのしい雰囲気のあるチーム作りに成功している。主将の川崎さんの話では、宴会好きも多いとのこと。関西生まれの彼が、チームのまとめ役となっているのも異色である。

今期は一部に昇格し、上位陣相手に奮闘しているが、フェアプレーではリーグ内でも有名である。

市民サッカーフェスティバル 藤枝でサッカーを楽しもう

藤枝市サッカー協会と藤枝青年会議所が主催する「藤枝でサッカーを楽しむ日」が八月二十六日に藤枝市民グランドで開催されます。

ちびっこサッカー教室ではサッカー未経験の親子を対象に、ボールを使って楽しく遊びボールに慣れ親しんでもらうことを目的としています。

正しいボールの蹴り方、解りやすいルール・ポジションの説明をおりまぜ、楽しく遊んでいただきたいと思います。

特に、母親とちびっこがたくさん参加してくれるようお願い致します。

また、女子サッカー大会も同時に行われます。

当日スケジュール

第1試合	藤枝	9：00～9：35	OB
第2試合	焼津	9：40～10：15	高洲中
セレモニー		10：20	
ちびっこサッカー教室		10：30～11：30	
第3試合	大井川	12：40～13：15	豊田ミッキーズ
第4試合	高洲	13：20～13：55	OB
第5試合	藤枝	14：00～14：35	豊田
第6試合	焼津	14：40～15：15	大井川

三級レフリースクール開講

九月から大井川町の中央公民館等を中心に三級審判員養成のための講習が計画されている。正しい審判技術を身につけると共に、将来、上級審判員をねらう若い方の受講を大いに期待しているという。

尚、八月三十一日まで受講者を募集する予定だが、詳しい内容についての問い合わせは地区審判員長の岡崎正弘さん（〇五四六(24)三六六〇）へ。

社会人トーナメント（山口杯）各地区協会対抗に

九月九日に行われる山口杯は、今年から各地区協会対抗戦へと模様替えをした。今まで中西部支部の所属チームを対象としていたが、日程の調整がむずかしいこと、中西部の各地区協会の横の交流がないとの反省から変更されたものである。

尚、決勝は十月十日に予定されているふれあいサッカーフェスティバルの最終試合となる。各地区の連絡を深め、中西部社会人部の活性化をはかれればと事務局は期待している。

中体連志太大会
藤枝中二年連続優勝

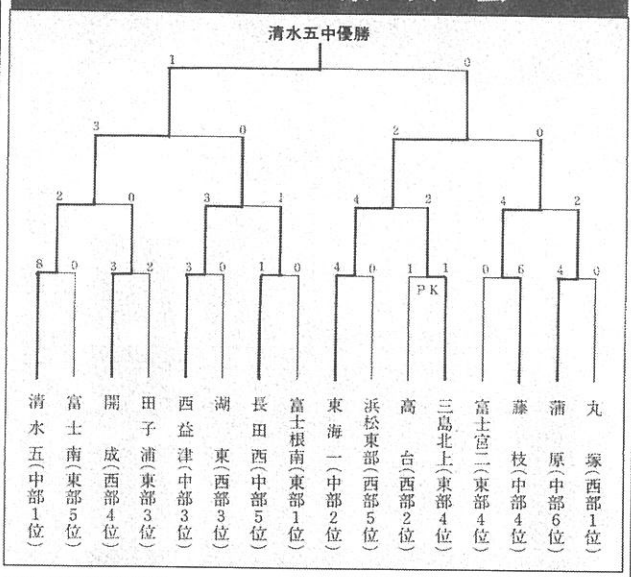


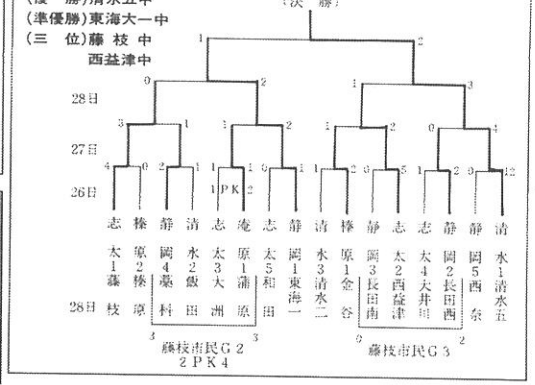
優勝した藤枝中イレブン

第四十一回志太大会が、七月十五日より二十四日まで行われた。この大会は、三年生最後の大会ということもあって予選リーグから力あふれる争いが見られ、シード校が初日に姿を消すという番狂わせが数多くあった。

しかし、そんな中ベスト4に残ったチームはいずれも県大会出場の経験がある藤枝中・西益津中・大井川中・大洲中であった。そして藤枝中が技術・戦術・パワーで上まわり大井川中・西益津中を破り二年連続の優勝をした。

中部大会には、藤枝中・西益津中・大洲中・大井川中の上位四チームに加え第五位の和田中が出場した。





中体連中部大会
藤枝中・西益津中共に決勝進出ならず

中部大会が七月二十六日・二十七日・二十八日と、藤枝市民グラウンドを中心に行われた。中西部地区から出場の大洲中・大井川中・和田中・榛原中は残念ながら一回戦で敗退してしまったが、藤枝中・西益津中は準決勝まで進出した。

しかし、怪我人が多い藤枝中は組織的な攻撃ができず、東海大一中に2対0で敗れてしまった。そして西益津中学も、県No.1の清水五中と対戦し、よく相手ゴールを脅やかしたが、今一歩頑張りが足らず、3対1で藤枝中と共に第三位で終ってしまった。


西益津中イレブン

中体連榛原郡大会
金谷中が優勝、榛原中2位


優勝した金谷中イレブン

▽優勝　金谷中
▽準優勝　榛原中
▽三位　吉田中　川根中

○準決勝
金谷中5（2-0, 3-0）0川根中
榛原中1（0-0, 1-0）0吉田中

○決勝
金谷中2（1-1, 1-0）1榛原中

○得点
一、半田（吉田中）　8点
二、大橋（金谷中）　6点
三、重富（金谷中）　5点

○アシスト
一、鈴木康（吉田中）
二、大橋（金谷中）　2 3 6
三、鈴木光（吉田中）


榛原中イレブン

第一回日・韓親善少年サッカー
八月十五日 いよいよソウルへ

日韓友好青少年サッカー団交流派遣について

団長　松田真平

静岡県中西部地域は、戦前からサッカーの盛んな地として地域住民に親しまれてきました。特に藤枝は昭和三十二年には静岡国体でサッカー会場として天皇陛下の御臨席を仰ぎ、サッカーの町として有名になりました。現在、中西部地域には約六千人の小中高生がサッカー協会に登録しており、競技スポーツでは最も多くの人口を誇っております。

本年はサッカーのワールドカップの年にも当たり、国際的な最もポピュラーなスポーツとなっております。

また、地方においても国際化がますます進み、次世代を担う青少年に、若いうちから国際感覚を身につけさせておくことが、地域活性化のためにも必要となってきております。

そこで、サッカーを通じての国際親善友好交流活動を推進するため、中西部サッカー協会、県スポーツ少年団育成協議会及び㈱藤枝青年会議所の三者で実行委員会を組織し、サッカーが最も盛んである隣国韓国に青少年のサッカー交流団を派遣することになりました。

サッカーを基本にして地域の特徴を作り、地域住民の連携を密にするとともに、地域の活性化を図り、創造性豊かで協調性や道徳性のある人間を育成すること、また、二十一世紀に向かい地域の青少年が健全な国際人として生き抜く素地を身につけさせることを基本として、小学生・中学生・高校生という年代の違った子供達が一同に海外に遠征することによって幅広い友好の輪を大きく育てたいと考えております。


団長　松田真平


副団長　石上瞬二


総監督　滝本義三郎


小学生部監督　山本輝雄


中学生部監督　岩沢達人


高校生部監督　岩田要司


会計　池谷英人

対戦表

8月16日（試合時間　小学生 40分　中学生 60分　高校生 70分）

光照国民学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	小学生部チーム
明信国民学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	小学生部チーム
漢陽中学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	中学生部チーム
文一高校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	高校生部チーム

8月17日

青坡国民学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	小学生部チーム
光照中学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	中学生部チーム
文一高校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	高校生部チーム

8月18日

光照国民学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	小学生部チーム
漢陽中学校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	中学生部チーム
慶照高校	前（　）-（　）後	（　）-（　）前後	高校生部チーム

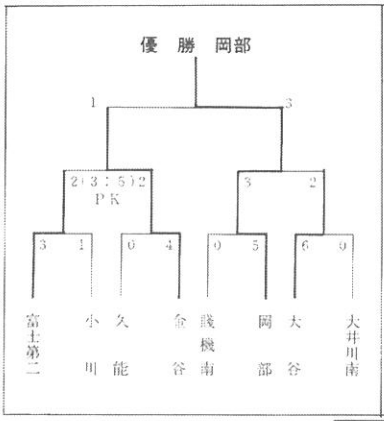
六合少年団初優勝

島田招待少年サッカー大会

七月二十八、二十九日の両日にわたり第十一回島田招待少年サッカー大会が行われた。決勝戦は島田第四と六合（島田）との対戦となった。前半、島四ＨＢ岡本大が六合ＨＢ永田陽平の縦パスをコーナーキックを直接入れ先制したが、前半終了間際に六合ＨＢ植田高司が相手ＦＢのクリヤーを拾いダイレクトシュートを決め同点とした。後半は島四の優勢で試合は進んだが、両者とも得点できず延長戦となった。延長戦前半、六合ＨＢ永田陽平の縦パスを受けＣＦ青嶋晶がシュートを決め、これが決勝点になった。



鈴木賢二を中心とした六合ＦＢは、終始優位に立つ島四の攻撃に早いっぷしと気迫で対抗し、また攻撃ではＨＢ永田にボールを集め、島四ＦＢの背後をねらうスルーパスをＣＦ青嶋・ＬＷ鈴木雅八に通してカウンターをしかけるなど、六合のねらいを定めた作戦がよかったのではないかと思う。六合は創団以来六年生を中心とした市内大会では初優勝であり、選手たちはもちろんのこと指導スタッフもこの勝利には感慨深いものがあったであろう。



岡部サッカースポーツ少年団 優勝!!

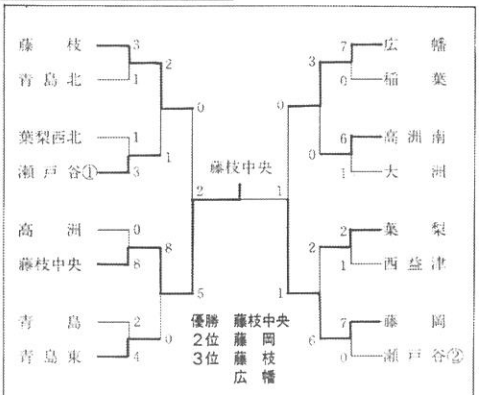
大谷サッカー少年団20周年記念大会

七月八日大谷サッカー少年団の創立二十周年記念大会が開かれました。中西部からも金谷・小川・大井川南・岡部が招待され、静岡市内チームや富士市チームと共においに健闘いたしました。決勝戦は東部の強豪富士第二を破った金谷と、ホストチームの大谷に競り勝った岡部との間で行われ、両サイドから攻め込んで、中のプレーヤーが確実に決めた岡部が優勝しました。

県選抜少年ミニサッカー大会 大井川ＦＣ優勝

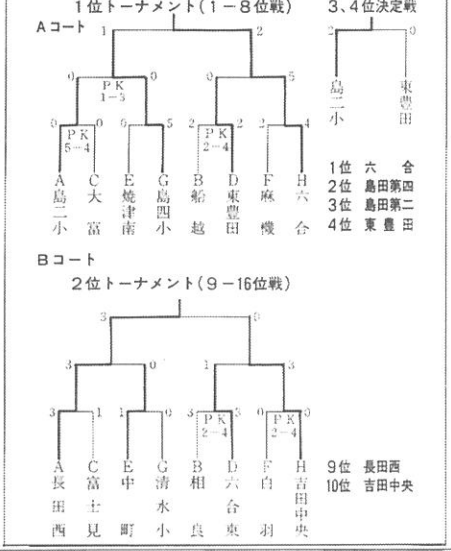
静岡県選抜少年サッカー大会
▼Ａブロック
一、清水・清水ＦＣ
二、焼津・志太・大井川ＦＣ
三、藤枝・島田・島田ＦＣ
四、庵原・富士川第一
▼Ｂブロック
五、静岡・静岡ＦＣ
六、榛原・吉田ＦＣ
七、東部・ＦＣ沼津
八、西部・浜松ＪＦＣ
〈対戦成績〉
大井川ＦＣ6－0 清水ＦＣ
富士川第一 1－0 島田ＦＣ
静岡ＦＣ 5－5 吉田ＦＣ
清水ＦＣ 6－2 島田ＦＣ
浜松ＪＦＣ 14－1 ＦＣ沼津
大井川ＦＣ 2－2 富士川第一
静岡ＦＣ 4－2 ＦＣ沼津
浜松ＪＦＣ 3－1 吉田ＦＣ
清水ＦＣ 10－8 島田ＦＣ
大井川ＦＣ 10－8 島田ＦＣ
浜松ＪＦＣ 6－0 静岡ＦＣ
ＦＣ沼津 8－2 吉田ＦＣ
▼三位決定戦（各ブロック二位）
清水ＦＣ 3－1 静岡ＦＣ
▼決勝戦（各ブロック一位）
大井川ＦＣ 10－5 浜松ＪＦＣ

第４回フジパン杯 東海ジュニア少年サッカー大会 藤枝地区予選 藤枝中央優勝



２日目 決勝トーナメント

会場 島田市民サッカー場 Ａ、Ｂコート



1位 六合
2位 島田第四
3位 島田第二
4位 東豊田
9位 長田西
10位 吉田中央

韓国遠征チーム 選手一覧

小学生部チーム



1 GK 鈴木 健二　2 DF 川本 欣生　3 DF 酒井 公広



4 DF 五十嵐謙二　5 DF 内藤 忠明　6 MF 内藤 修弘　7 MF 村松 洋助　8 MF 曽根 宏文　9 MF 杉井 哲也　10 FW 五十嵐雄志　11 FW 西村 和真　12 DF 錦野 匡一　13 MF 鈴木 孝正　14 FW 小沢 剛　15 FW 柳田 崇

中学生部チーム



16 MF 柳原 隆裕　17 DF 海野久仁彦　18 DF 杉浦 義康　19 FW 山脇 雅史　20 MF 河村 昇　21 DF 西村 隆昌　1 GK 高橋 卓士　2 DF 柴田 善信　3 DF 青島 一城　4 FW 大石 剛司　5 DF 望月 都生



6 MF 鈴木 紀昭　7 MF 相馬 孝正　8 MF 望月 康利　9 MF 河村 聡　10 FW 寺田 靖　11 FW 石垣 知広　12 FW 塩沢 弘司　13 FW 清水 智弘　14 FW 杉山 将己　15 DF 脇田 博之　16 MF 安藤 達也　17 GK 鈴木 健児

高校生部チーム



18 GK 浜谷 雅紀　19 FW 太田 渉　20 MF 山田 暢久　21 DF 丸山 敦士　22 DF 吉野 友三　1 GK 大石 裕紀　2 DF 海老岡周造　3 DF 秋山 智洋　4 DF 和田 一也　5 DF 相川 猛　6 DF 柴田 尚貴



7 MF 山田 高行　8 MF 大畑 教嗣　9 MF 小泉 富広　10 MF 原田 尚俊　11 MF 松村 直樹　12 FW 池田 勉　13 FW 菊川 一稀　14 FW 増田 裕　15 FW 牧田 一幸　16 FW 飯塚 稔文　17 GK 永田 昌弘

鈴村路子レポート② フットボールのはじまり

soccerと言う語は、一八六三年、イギリスでフットボール協会（Football Association）が設立されて以来、Associationの略語として作られた言葉であり、イギリスではフットボールと言えばすなわちサッカーのことを示します。イギリスでどのようにフットボールが発達してきたのでしょうか。

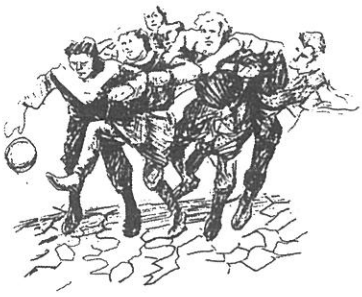
民衆の間に自然発生的に生まれたフットボールは、「粗野・粗暴、かつ野蛮」なもので、一三一四年、エドワード二世の治政下、ロンドンで最初の禁止令が発せられます。当時のフットボールはあまりの荒っぽさから死者が出るほどで、またフットボールに夢中になり過ぎて弓矢の訓練がおろそかになったからでした。これからのち何回にも渡って、国王から禁止令が出されました。さらに十六世紀エリザベス一世の時代、清教徒運動で、全ての楽しみは罪とされたことにより、フットボールもまた暗黒時代を迎えることになってしまいました。

当時の文学者であるトーマス・モアやシェイクスピアらは、自分の作品の中にフットボールを比喩的によく用いており、このほかにも歴史書や文学の中にフットボールを引用した記述は少なくありません。

さて、都市でのプレーを禁止されたフットボールは、農民の若者たちの好む遊びとなり、「さんげの火曜日」のような祭日にのみ許される娯楽となったのでした。村人たちは無制限に参加し、ともかく一方の村から相手の村へ蹴り込む競争でした。

しかし、十九世紀に入って、イートン、ウィンチェスター、ラグビーなどのパブリックスクール（私立の名門校）に取り入れられるようになると、古来からの粗野な形態のものから、それぞれの学校独自でルールを決めるといった競技に変化して行きました。ルールは各校によってまちまちで、手でボールを扱うことも許したルールを採用した学校もありました。

その後、一八六三年十月二十六日、ロンドン地区にある十一のクラブの代表が集まりフットボール協会を設立し、統一ルールが確立され、今までは娯楽でしかなかったフットボールは、この時から、近代スポーツとして新たなスタートを切ることになったのです。



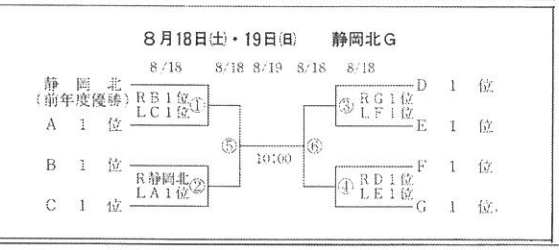
私学高校大会 開催せまる

私学高校大会が、八月十七日にリーグ戦、八月十八日・十九日にトーナメントが行われる。中西部からは、島田学園・静清工業・藤枝明誠の三校が出場。

※リーグ戦 8月17日(金)

	A	B	C	D	E	F	G
1	沼津学園	興誠	静岡学園	聖隷学園	静清工	東海大一	日大三島
2	東海大工	常葉学園橘	常葉学園菊川	静岡聖光	磐田東	浜松日体	藤枝明誠
3	島田学園	三島	加藤学園暁秀	星陵	加藤学園	沼津北	

8月18日(土)・19日(日) 静岡北G



静岡県高校サッカー選抜南米遠征をふりかえって

吉田高校サッカー部監督 鎌田昌治

県選抜の海外遠征に参加したのは、今回で五回目であるが、今回ほどハードスケジュールで、しかも、うまさ、強さを備えたチームと対戦したのは、初めてである。

特に守備の面で、ゾーン・ディフェンスにおける状況判断のすばらしさ、一対一におけるチェックの厳しさとハードなタックル等は、日本のサッカー選手の意識を変えなければならないものであることを痛感した。

そして、このような守備に対して負けない技術・戦術あるいは、けがを恐れない強靭な体力が要求されるのが南米のサッカーであろう。

ボールコントロール・パスが非常に正確で、相手の動きに対して、巧みにドリブル突破する技術は、何か日本人とは違ったリズムがあり、環境の違いを感じさせられた。

県選抜は、韓国から学ぼうと十年ほど訪韓し、その目的を達成した。そして、すかさずヨーロッパ・南米に目先を変え、常に世界のサッカーから学ぼうとしている。

静岡の、そして日本のサッカーが何年後かに必ず世界に追いつき、ワールドカップで活躍する時代が来ることを確信する。

静岡高校選抜	6 (3-0 / 3-0) 0	アルヘンサノ・ジュニア（アルゼンチン）	
〃	4 (1-2 / 3-0) 2	ボカ・ジュニア（〃）	
〃	1 (1-0 / 0-0) 0	ベレスコース（〃）	
〃	2 (1-1 / 1-0) 1	ジュベントス（ブラジル）	
〃	2 (1-1 / 1-2) 3	サンパウロFC（〃）	
〃	1 (0-2 / 1-4) 6	キンゼ・デ・ジャウ（〃）	
〃	1 (1-1 / 0-0) 1	キンゼ・デ・ピラシカバ（〃）	

8月・9月の予定

少年団

- 8月25日・26日
  第15回さわやか杯争奪県選抜少年サッカー大会（県営草薙球技場他）
- 9月1日・2日
  第4回フジパンカップ少年サッカー大会（県営草薙球技場他）
- 9月2日・8日
  第19回島田JC杯争奪少年サッカー大会

中学

- 8月19日～24日
  第21回全国中学校サッカー大会（香川県高松市）
- 8月23日～25日
  第2回浜松招待選抜中学生サッカー大会 中西トレセン2年生出場
- 8月25日～31日
  日豪親善サッカー（ペンリス市） 藤枝市選抜2年生出場
- 9月15日
  第2回全日本ジュニアユース県予選（ヤマハG）

高校

- 8月22日
  県スポーツ祭 市の部 1年生大会（藤枝東G）
- 8月27日～29日
  PJM杯
  （・9月9日～）
  高校選手権（各校G）

社会人

- 8月26日
  藤枝市ちびっこサッカー教室・女子サッカーフェスティバル
- 9月9日
  山口杯（藤枝市民G）
- 9月～
  3級レフリースクール（大井川中央公民館他）

SBS杯 静岡県高校選抜 選手決定

このほど、SBS杯に出場する、静岡県高校選抜の選手が決定したが、中西部からは、藤枝東高の前田仁崇君（三年）と渡辺毅君（三年）が選ばれた。このチームからさらにしぼられて、この秋に国体に出場する選手が選ばれる。

両選手の活躍を期待したい。

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱（三ロ）
▽㈱井川商店（三ロ）
▽㈱中部エージェンシー（三ロ）
▽㈱サンショップ（二ロ）
▽松田園（二ロ）
▽ダックユニオン㈱（二ロ）
▽ヴィヴィエル学園をたた（二ロ）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽㈱建機材
▽鈴木食品工業
▽静穏倉庫
▽東洋オートパーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ペンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽時田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽杉秀
▽みなみ自転車
▽バール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光㈱（コンコルド大井川店）
▽原田造園㈱
▽㈱大杉組
▽喫茶 章
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈱水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルベンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック櫂
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ
▽㈲尾白弁当

■個人■

▽山口森三
▽松永 臻
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽杉本久雄
▽鈴木啓文
▽池谷敏一
▽式田義邦
▽神戸晴士
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬 敬
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田 規
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫



TIGER adidas PUMA
Admiral PATRICK MIKASA
Kappa Sport molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 0546(41)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 0546-43-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長 埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成2年9月9日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、
054-6XX-電話番号です。
くわしくは、最寄りのNTT営業所または、
116番にお問合わせください。
NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 9

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎054-635-4651）

韓国遠征終る

アジアNo.1の胸を借り、今後の飛躍のステップに



韓国遠征を振り返って

中西部サッカー協会会長　松田真平



八月十五日、各関係機関の大きなご援助を得て、小中高併せて六十人の子供を連れ、韓国遠征に行って参りました。特に藤枝青年会議所の皆さんには、当初からずっと親身になって面倒を見て頂き、改めて今ここに厚くお礼申上げます。

子供達をあずかる身のひきしまる様な責任と、子供達と一緒に旅の出来るうれしさと、両方の交錯する気持の中で、初めての経験を致したわけでありますが無事帰国する事ができ、肩の力がぬける様な安堵感と、石上理事長以下役員の皆さんが、本当によくやってくれたと在韓の日々をふりかえりながら、心から感謝致しております。ご苦労さまでした。

韓国のサッカーは、ご承知の通り世界的に有名であります。私は当然の事ながら胸を借りるつもりで子供達を連れて参りました。馴れない飛行機の旅で子供達の健康状態を心配致しました。十六日に第一回戦にのぞみました。結果高校生が敗れはしたものの小学生、中学生チームは見事勝ちました。私はうれしかった。子供達を一人々々抱きしめて「ありがとう」と頭をなでてやりたい気持をどうする事もできませんでした。子供達も恐らく国際的な感覚と、やればできるという自信を肌で感じてくれた事と思います。この事は何物にも換難い大きな収獲であったと思います。私はサッカーの事は全く解りませんが、今回の遠征によって日本の指導方針が、余りにも盆栽的教育過ぎはしないかという事を感じました。昔から大器晩成という言葉がありますが、小さい時には、技より心、サッカーを楽しむ事によって健康な体とたくましい心を育て、長ずるに及んでは寸分のミスをも許さないといったきびしい指導方針が大切ではないかと思います。

日本の子供は国際的にも優れた素質を生れながらにもっております。指導監督が良ければ、この子供達はすばらしく成長をしていくものと信じ込んでおります。

その後も再々相手ゴールをおびやかしたが得点には結びつかず、逆に中西の攻撃の間をぬって速攻をしかけられ、DFのクリヤーミスもあって二得点をとられ、逆転されてしまった。しかし後半2分、PKを取り、キャプテン太田が確実に決め同点に追いついた。その後も攻撃をくり返す中西だが、シュートが不正確なため得点できないまま時間が過ぎていった。しかし26分、安藤がDFのクリヤーボールを相手DFから奪い取りそのままドリブルで持ち込みゴール左すみに決め逆転に成功し、そのまま逃げきった。

【第二戦】

中西トレセン	5	(3-0)	0	光照
レセン	2	(2-0)	0	中学

前日の試合で逆転勝ちした中西トレセンは緊張感もとれ、この試合は中西の良い点ばかり目立った。前半の立ち上がり早々太田のファウルで警告を受け先行きを心配したが、選手は常に冷静に試合を運び、そして後半に入り豊富な運動量とパスワークで文一高は加えるK選手11番へのファウルでPKを取られ、0-1と残念ながら最終戦をかざることはできなかった。

高校生部

【第一戦】

中西部選抜	0	(0-1)	5	文一
		(0-4)		高校

中西選抜はMF山田を中心に中盤を組み立て菊川、飯塚の両ウイングからゴール前の池田、大畑に合わせる。文一高校も運動量豊富なMFからの速い球出しから四人のFWで突破を計る。立ち上がりから両チームとも攻守の切り換えの速いゲーム展開でほぼ互角に進んだが、先行したのは文一高。中西も池田、大畑らの疲れが、集中力に欠く場面が多く再三自軍ゴール前でシュートを打たれ、20分に先取点を取られる。後半に入り選抜は開き直りに期待。池田、増田の突破力を両サイドよりボールが入るが、なかなか得点できなかった。しかし韓国遠征において初得点が残りわずかな時間に入りようやく盛り上がったが結局は1-2で惜敗した。

【第二戦】

中西部選抜	1	(0-1)	2	慶照
		(1-1)		高校

中西選抜は開始早々より速いボールタッチで相手陣内に攻めこんだが今一歩決め手を欠いて得点ができない。三連戦の疲れか、集中力に欠く場面が多く再三自軍ゴール前でシュートを打たれ、20分に先取点を取られる。後半に入り選抜は開き直りに期待。池田、増田の突破力を両サイドよりボールが入るが、なかなか得点できなかった。しかし韓国遠征において初得点が残りわずかな時間に入りようやく盛り上がったが結局は1-2で惜敗した。

前半終了間近33分、34分に得点を許してしまう。後半に入り池田、飯塚の2トップがスペースを使うようになり、オーブンからの型からチャンスを作ったが、点が取れなかった。文一高のスピードとスタミナの前に壁を破ることができなかった。

【第三戦】

中西部選抜	1	(0-1)	2	慶照
		(1-1)		高校

トータル戦績は六勝四敗

小学生部

【第一戦】

中西トレセン	4	(1-0)	0	光照国
		(3-0)		民学校

【第四戦】

中西トレセン	4	(2-1)	0	光照国
		(2-0)		民学校

前半は第一戦で対戦した光照国民学校CFを中心としてドリブルを主体とした攻撃で中西エリアに入り込むが、逆に8分MF柳原の浮球のパスから村松がゲット。10分、MF曽根のシュートがこぼれたところを杉井がゲットし前半を終了した。後半中西は本来のウイング攻撃で18分河村、20分杉井がゲットし終了した。

中学生部

【第一戦】

中西トレセン	3	(1-2)	2	漢陽
レセン		(2-0)		中学

第一戦ということで選手達も緊張し、試合にのぞむことになった。相手チーム漢陽中学は、KBS杯（韓国の全国大会）で優勝しているチームであり、個々の技術がしっかりしており、高さ・スピードもあるため日本のゲームのようにはいかなかった。立ち上がり3分、右ウイング寺田のボールを鈴木が勢いよくとびつけた。後半、メンバーをすべて変えてゲームに望んだが、運動量で上回る中西は相手の速攻を封じ込め、後半11分MF望月康、塩沢とつなぎ、塩沢がそのまま持ち込みミドルシュートを決めた。そして19分にもMF石垣が左サイドをえぐりFW望月郁が頭であわせ、五点目を取った。その後も中西の攻撃が続いたが相手DFのがんばりもあり、5対0で終了した。

【第三戦】

中西トレセン	0	(0-0)	1	漢陽
レセン		(0-1)		中学

第一戦と同じ漢陽中学との対戦。漢陽中学は第一戦を落としているだけに激しい戦いになることが予想された。開始早々太田のファウルで警告が決定打が出ないまま終了。選手は常に冷静に試合を運び、そして後半に入り豊富な運動量とパスワークで文一高は加えるK選手11番へのファウルでPKを取られ、0-1と残念ながら最終戦をかざることはできなかった。

高校生部

【第一戦】

中西部選抜	0	(0-1)	5	文一
		(0-4)		高校

中西選抜はMF山田を中心に中盤を組み立て菊川、飯塚の両ウイングからゴール前の池田、大畑に合わせる。文一高校も運動量豊富なMFからの速い球出しから四人のFWで突破を計る。立ち上がりから両チームとも攻守の切り換えの速いゲーム展開でほぼ互角に進んだが、先行したのは文一高。中西も池田、大畑らの疲れか、集中力に欠く場面が多く再三自軍ゴール前でシュートを打たれ、20分に先取点を取られる。後半に入り選抜は開き直りに期待。池田、増田の突破力を両サイドよりボールが入るが、なかなか得点できなかった。しかし韓国遠征において初得点が残りわずかな時間に入りようやく盛り上がったが結局は1-2で惜敗した。

前半終了間近33分、34分に得点を許してしまう。後半に入り池田、飯塚の2トップがスペースを使うようになり、オーブンからの型からチャンスを作ったが、点が取れなかった。文一高のスピードとスタミナの前に壁を破ることができなかった。

【第二戦】

中西部選抜	1	(1-1)	2	慶照
				高校

中西選抜は開始早々より速いボールタッチで相手陣内に攻めこんだが今一歩決め手を欠いて得点ができない。三連戦の疲れか、集中力に欠く場面が多く再三自軍ゴール前でシュートを打たれ、20分に先取点を取られる。後半に入り選抜は開き直りに期待。池田、増田の突破力を両サイドよりボールが入るが、なかなか得点できなかった。しかし韓国遠征において初得点が残りわずかな時間に入りようやく盛り上がったが結局は1-2で惜敗した。

韓国遠征の成果と今後の反省

小学生部監督　山本輝雄

21名の選手・6名の指導者での遠征は多くの成果、課題を残した。夏休み後半の疲れもあってか、多くの選手達が腹痛・発熱・下痢でコンディションを崩し三日間の試合中、オーダー組み変えを余儀なくされた。生活環境からくるのか全体的に「ひ弱さ」を感じざるを得なかった。もっともっと自己管理の出来る選手育成を計り、遠征に臨みたい。

試合は四試合とも勝てたが、韓国選手のボールタッチの柔らかさは、是非学びたいし、違いを痛感した。これは小・中・高ともに言える事でもあり、協会挙げての取組みがほしい。選手も試合の中でそのつど自己管理の出来る選手育成を計り、遠征に臨みたい。

試合は四試合とも勝てたが、韓国選手のボールタッチの柔らかさは、是非学びたいし、違いを痛感した。これは小・中・高ともに言える事でもあり、協会挙げての取組みがほしい。選手も試合の中でそのつど自己管理の出来る選手育成を計り、遠征に臨みたい。

中学生部監督　岩沢達人

アジアナンバー1を自他共に認める韓国の胸を借り、自分たちの技術・戦術・精神面の向上を目指した今回の遠征で3戦して2勝1敗と結果の上では、これまでの成果が現れたといってもよいと思う。先のKBS杯（韓国の全国大会）優勝チーム漢陽中学と対戦して、CF安藤・DF吉野（藤枝中）MF鈴木（大井川中）GK高橋（大洲中）の活躍で"堂々の1勝1敗"であった。不本意なPKをとられたことを除けば相手を圧倒したゲーム内容であったと思う。ただし、各個々の力を比較した場合、大きな差がある。それは、局面におけるトラッピング・キックの正確さと1対1での対応（対戦動作）のうまさである。やはりこのあたりを今後、重点的にトレーニングをしていき、次の段階（高校レベル）で十分に生かせるよう指導していきたい。

高校生部監督　岩田要司

今回の韓国遠征を振り返ってみると高校生にとっては大きな勉強となった。同時に一人一人にとっては技術的・戦術的にも大きな力量の差を感じた遠征となりました。まず今回の高校選抜は、時期的なものと、ある程度の戦力を整えたチームであったが、いざ戦ってみるとその差はかなりの開きがありました。選抜チームはチームとしての練習不足もあったが、守備のコンビネーション、中盤の構成、攻撃のシステムが今一つとれなかった。今回韓国チームとは二つの高校チームと対戦したが一番の課題は、ボールコントロールのスピードとパス&ゴールの基本的な動作の違いである。小中学生のゲームではあまり感じられない（むしろ中西部選抜の方が良い）様に感じたが、高校生レベルではかなりの差を感じた。体力的な面も感じたが、技術的面の向上をアップしなければならないと思います。今回の高校選抜チーム面々は初めての韓国遠征であり、韓国のスピードと技術を得ることができ、大きな成果となったと思いますが。是非この体験を次なるチャンスに生かしていただきたいと思います。

藤枝市中学選抜チーム、オーストラリア・ペンリス市へ遠征

試合巧者ペンリスチームの前に一勝二敗
惜しくもアドリガン杯逃す



藤枝市トレセンに所属する中学二年生のサッカーチームが八月二十五日から三十一日の一週間、オーストラリアのペンリスへ遠征した。

これは藤枝市・ペンリス市国際親善サッカー兼アドリガン杯争奪サッカーに出場すること、役員選手全員がペンリス市内各家庭にホームステイをして友好親善を深めることの二つを目的としている。今回の親善を通じて、サッカーは世界のスポーツであると実感した事はもちろんだが、友好親善に大きく寄与したことが一番の成果だと思う。

ペンリスチームは昨年来藤した時よりレベルアップをしており、驚きを感じた。ボールコントロールが良く、スペースに走り込んでパスを受けるプレーや、攻守の切り替えの早さなど、すべてにおいて昨年のチームよりレベルが上がっていた。

本年度の藤枝チームは、核になる選手がいなかった。そしてケガで出場できなかった選手もいた。しかし、夜八時からのゲームにもかかわらず、市長はじめ多くの市民がフェアな応援をしてくれたことは、友好親善にふさわしい遠征だった。そして、海外遠征において、日本選手が外国語の勉強を重視すべきだという必要性を痛感した。

最後に、藤枝市の友好協会、教育委員会、サッカー協会、そして保護者の皆様方の御支援により、無事目的達成できた事を報告し、深く感謝申し上げます。


ホストファミリーと一緒に

戦評

【第一試合】
藤　枝　3（0－1）1　ペンリス

前半藤枝は風上から攻めるが旅の疲れからか全体に動きが鈍く、前半10分に左サイドのDFの高いボールのクリアーミスよりペンリスにドリブルでゴールまで持ち込まれ、シュートを決められる。その後、藤枝も風を利用してロングシュートを狙うが、キックが正確でなく、また芝のグランドにも慣れない為か、前半は得点できなかった。

後半、藤枝は風下からの攻撃なので、低くボールを蹴ってパスをつなぎ、ウイングを走らせてセンタリングからのシュートを狙った。

この日は風が強く肌寒い日だった。日本の夏とは違った環境に適応できず、筋肉を痛める者が多かった。

▼得点者　桑原、藪崎、熊切


表彰式

【第二試合】
ペンリス3（2－1）0　藤　枝

藤枝を出発してから長い一日の最終のゲームであるためか、チームの状態は決して良いとは言えなかった。藤枝とペンリスの選手を比べると、技術にそれほど差はないが、戦術はペンリスの選手の方が明らかに高い、ということを思わせる試合だった。

▼得点者　大石

【第三試合アドリガン杯】
ペンリス1（0－0）0　藤　枝

試合には勝ちたい（得点したい）。そのためには、どのようにパスをつないで相手のディフェンスを崩し、自分達がシュートできる体勢に持っていくか。という考えるサッカーができなかった。

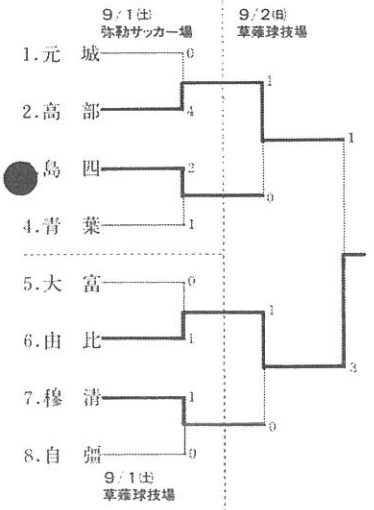
前半、藤枝のパスを出すコースのほとんどが味方の足元だけで、マークをされると点された。ボールを保持することしかできず、シュートに結びつけることができない。逆にペンリスの激しいポジションチェンジの動きについていけず、ボールを持った選手をフリーにしてしまい、ペンリスに得点を許した。

後半は、ペンリスがディフェンスラインの裏に出すパスを織りまぜたため、ボールを奪う時の対応ははっきりまくできたが、最後まで相手のディフェンスを崩せず、得点することができなかった。


全員で記念写真の撮影

'90フジパンCUPジュニアサッカー大会

'90フジパンCUPジュニアサッカー大会
組み合わせ



第22回東海地区中学校サッカー大会
清水五中　優勝
藤枝中雪辱ならず

第二十二回東海地区中学校サッカー大会は八月二十五、二十六日に、愛知県日論義サッカー場で行われた。清水五中と共に、静岡県代表として出場した藤枝中は、一回戦愛知一位の鬼崎中に7－2と圧勝。準決勝も三重二位の四日市桜中を3－0で破り、決勝へ進出した。決勝の相手は同じ静岡の清水五中。両チームとも他県チームを寄せつけぬ強さで決勝に進んだだけに、前半は一進一退の攻防が続いた。安藤、太田の突破、澤本のスルーパス等でチャンスをつかみ、安藤がGKと1対1となる場面もあったが得点できず。逆に前半13分、相手フリーキックに壁とGKの反応が遅れ、こぼれ球を押し込まれ先取点を奪われてしまった。後半は五中の走力が勝り、結局追加点を奪われ、0－2で試合終了。準優勝に終わった。個々の持つ技術は劣るとは思わないが、走力・精神的な持続力（たくましさ）・リスタートプレーでの集中力の途切れなど、今後への課題とし、ジュニアユース大会でのスルーパス等でチャンスを雪辱を果たしてほしい。

第2回全国中学生サッカー大会
中西トレセン大健闘！

好天が続く中、遠州灘海浜公園浜松球場と聖隷高校サッカー場の芝のグラウンドという恵まれた環境の下で大会が行われた。予選リーグで一つ年上の浜松選抜（三年）に敗れはしたものの、三勝一敗でリーグ二位となり、三位決定戦に臨んだ。三位決定戦は事前に浜松トレセンとの打ち合わせにより、お互い前半を子選で出場できなかった選手で組み、後半はベストメンバーで戦った。結果的には前半の二失点がひびき0－2で四位に甘んじたが、後半は相手チームに攻め入るすきを与えず終始押し気味に試合を進めた。今回は藤枝の選手が海外遠征のため参加できず焼津地区の選手が主体となったが、選手たちの活躍は秋の選抜大会に十分期待を持たせてくれるものであった。

結果は次の通り。

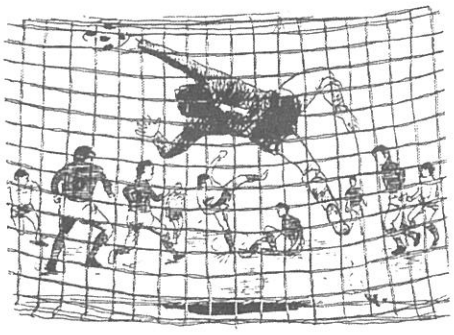
〈予選リーグ〉
中西TC　2－0　岐阜選抜
▼得点者　渡辺、鈴木淳
浜松選抜　1－0　中西TC
中西TC　2－1　千葉選抜
▼得点者　渡辺、鈴木や
中西TC　1－0　磐田選抜
▼得点者　鈴木淳

〈三勝一敗でリーグ二位、三位決定戦へ出場〉
浜松トレセン2年　2－0　中西TC

桑原勝義氏（PJM監督）マラドーナの獲得に意欲！

中西部トレーニングセンターコーチ　池谷英人

さる八月二十四日㈮、第二回浜松市招待サッカー大会のレセプション会場（浜松グランドホテル）で、ゲストとして迎えられた桑原氏より現在のマラドーナ獲得状況と日本のサッカーの未来についての話が全国の指導者の前で披露された。



マラドーナのマネージャーとの交渉の感触については「こんなにも簡単に出来ると思ってもいなかった。」と語り、イタリアでの日刊スポーツやNHKの取材から始まった世界のマスコミの反響の大きさにやや驚いた様子であった。

クラマー氏が目的意識のない日本のサッカー選手たちを前に「日本は二十年間何をやってきたのか」と一喝したのとは対照的に、桑原氏は日中、子供達の試合を見て自分達の時より恵まれた環境にいる今の子供達を自分の生い立ちと共に熱く語った。「夢を語らずして何ができるか。結果を気にするのは日本人の悪いところである。夢があるからこそ、マラドーナが日本へ来るのである。」

また、マラドーナを選んだ理由としてイタリアワールドカップの感想を交えこう語っている。「私は本田技研の監督として世界各地でサッカーを見て来た。ブラジルのマラカナスタジアムの十五万人の観衆の中で南米選手権の興奮を初めて私が日本でワールドカップと言った時、誰もが私を笑った。しかし今日本の全国各地で名乗りを上げた。」「私と言われたチーム（アルゼンチンなど）でもやり方次第で勝ち抜いていくことが出来るということである。その中でもピラルドとマラドーナのコンビは、力のないチームが勝っていく象徴であったと思う。」「ワールドカップ全五十二試合の中でやはりスターはマラドーナであった。彼はスキラッチにもカレッカ、フリットにもないインスピレーションを持っている。」「ウォーミングアップの時オランダはフリットがリードし、西ドイツはそろってストレッチを行う。皆日本の高校のウォーミングアップと変わらない。しかし、アルゼンチンが珍しくバラバラとグラウンドでウォーミングアップした時のマラドーナの一挙手一投足に観衆が異様な興奮に包まれたことは忘れられない。マラドーナは他のどんな選手とも違っていたのである。」

さらに、マラドーナ獲得の確率は八割程度だと考えている。誠意を持ってあたれば必ず来てくれると信じている。ただし決めるのはマラドーナ自身である。今現在県リーグ2部のPJMに来るのも、来ないのも最後に決めるのはマラドーナである。」

余りにも大きな話にとこまで信じていいのかわからないような錯覚さえ覚えたが、桑原氏に言わせれば、「夢は語らずして、何も出来ない。夢は実現する。」は確かに私達に何か"やる気"を与えてくれたような気がした。PJMという桑原氏を支える企業の力もさることながら、桑原氏の話に眼やかだったパーティーが、一挙に日本のサッカーの希望に満ちた将来の話に熱く変貌していったことを伝えたいと思う。全国から集まった指導者たちにとっては何か得をしたような励まされた満足のいくパーティーになったに違いないだろう。





第17回藤枝JC杯争奪全国サッカー大会
参加チームの友情の輪を広げ閉幕

『サッカーの町・藤枝で全国大会を』を夢に今年も全国各地から四十八チームが参加して八月十一日㈯から十三日㈪の三日間、藤枝市民グラウンドを中心に市内十二会場で開催された。『サッカーは技術を競うもの』とのテーマと同時に『心の友情の輪を広げよう』のサブタイトルで今年も熱戦につぐ熱戦の連続で大会は進められた。前日、台風十号の風雨により開催が危ぶまれたが、開会式当日は晴天となり関係者一同一安心。十一日の開会式は県警音楽隊による行進曲で、すばらしい入場行進となった。この後、各会場に分れて試合が始まったが、どこも接戦、熱戦の連続で高度なゲームが展開された。大会は十三日、勝残った四チームにより順位決定が行われ、決勝は地元藤枝FCと、焼津JFCになったが、藤枝FCの攻撃をDF陣の頑張りで押え、一対〇で焼津JFCが初優勝を飾った。焼津JFCのイレブン、おめでとう。

なお、この紙面をお借りして、この大会運営に関し絶大なるご支援、ご協力頂きました各市内小学校、及び藤枝市教育委員会の皆様に御礼申上げます。

最優秀選手で表彰された5名
GK 鈴木健二（全島田）
DF 坂口　誠（焼津JFC）
MF 村松洋助（藤枝FC）
FW 西村和真（藤枝FC）
FW 小沢　剛（焼津JFC）



第17回藤枝JC杯争奪全国少年サッカー大会順位表

優勝	焼津JFC（焼津市）	25位	甘利（山梨県）
準優勝	藤枝FC（藤枝市）	26位	水原（新潟県）
3位	全島田（島田市）	27位	葉梨（藤枝市）
4位	清水FCライオンズ（清水市）	28位	藤枝FC（5年）
5位	札幌北野（北海道）	29位	多治見（岐阜県）
6位	長田西（静岡市）	30位	上野選抜（三重県）
7位	愛知FC（愛知県）	31位	藤枝（藤枝市）
8位	浅羽野（埼玉県）	32位	広幡（藤枝市）
9位	川添（大分県）	33位	高洲（藤枝市）
10位	暁星アストラ（東京都）	34位	青島（藤枝市）
11位	FC町田（東京都）	35位	岡谷（長野県）
12位	焼津JFC(B)（焼津市）	36位	瀬戸谷第2（藤枝市）
13位	佐野ベアーズ（神奈川県）	37位	西益津（藤枝市）
14位	船橋FC（千葉県）	38位	つくし野（東京都）
15位	箕郷（群馬県）	39位	瀬戸谷第1（藤枝市）
16位	小名浜東（福島県）	40位	東久留米（東京都）
17位	藤沢（神奈川県）	41位	青島北（藤枝市）
18位	松任FC（石川県）	42位	葉梨西北（藤枝市）
19位	泉西（岐阜県）	43位	矢賀FC（広島県）
20位	藤岡（藤枝市）	44位	ヤマハ（磐田市）
21位	高洲南（藤枝市）	45位	稲葉（藤枝市）
22位	藤枝中央（藤枝市）	46位	大洲（藤枝市）
23位	青島東（藤枝市）	47位	瓢形（山梨県）
24位	桔梗ヶ丘（三重県）	48位	犬山北（愛知県）

第15回さわやか杯争奪静岡県選抜少年サッカー大会
中西部チーム惜しくも敗れる

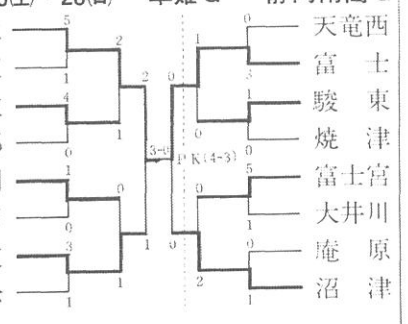
さわやか杯争奪第15回静岡県選抜少年サッカー大会は、8月25日㈯26日㈰の両日、県営草薙球技場を主会場に開催された。今年の夏を象徴するかのような猛暑のなか、県下16チームが参加し熱戦を展開した。中西地区からは、岡部FC、焼津JFC、大井川FC、藤枝FC、オール島田、榛原東FCの6チームが参加した。

草薙Gでは1回戦で身内同志の戦いとなり、藤枝FCと岡部FCが当り藤枝FCが総合力で勝り4対0で下した。

2回戦は宿敵清水FCとの戦いに期待されたが後半10分過ぎまで1対0でリードし、このまま終了するかと思われた矢先にあっという間に2点取られ逆転敗けを喫した。

一方反対ゾーンの焼津JFCが決勝まで駒を進めるのではないかと期待されたが1回戦で駿東FCに1対0で惜敗した。他のチームも健闘むしく1回戦で涙をのんだ。

8月25日(土)・26日(日)　草薙G　静岡南高G



西天竜　清水
東富士　天竜
藤枝　駿河
岡部　焼津
田中　富士
東松　大井
原榛　滝
浜松



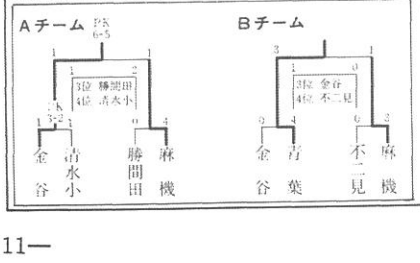
第12回KFCグリーンカップサッカー大会開催

第12回、KFCグリーンカップ少年サッカー大会が、8月4日㈯、5日㈰の2日間、第一製薬グランドを主会場に開催された。

県内よりAリーグに12チーム、Bリーグに16チームが参加し、連日うだるような暑さのなか、熱戦を展開した。

Aリーグでは3連覇を狙う麻機と、金谷を破った青葉が対決し、得点力に勝る青葉が3度目の優勝を飾った。

一方Bリーグは、金谷Bチームが P・K戦のすえ、麻機を破り2度目の優勝を果し、地元の面目を保った。



市民サッカーフェスティバル(女子)チームの親睦を深める



八月二十六日、藤枝市民グランドに於いて、市民サッカーフェスティバルが行われ、中西部地区のOBの藤枝フットボールクラブ、滋賀県から来た朝宮サッカー少年団女子、おそらく、大会に出場するのが初めてだと思われる大井川中学、去年結成された小学生チーム藤枝FC女子、市外大会初出場の豊田ミッキーズ、そして高洲中学、藤枝姉妹、焼津クィーンズの8チームが参加した。

この大会は、勝ち負けを競う大会ではなく、チーム同志の親睦を深めるために行われたので、選手それぞれが、緊張せず、リラックスして、試合に臨めたと思われる。

試合を終えての感想は、朝宮サッカー少年団女子のレベルには目を見張るものがあった。体力的にも、試合の運び方にしてもすばらしいものが感じられた。特に、高洲中学との試合は、朝宮が2点先取し、後に、高洲も1点を返すといった気迫のこもった試合も展開された。

女子の大会は、数が少なく、練習だけで終わってしまうことが多いので、これからもこのような大会を設けて、チームのレベルアップと、お互いの友好を築きあげていければ、女子サッカーが、もっと定着してくると思う。

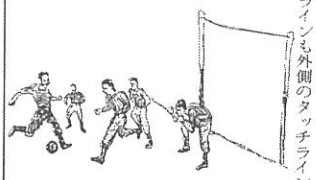
交換試合・結果

藤枝FB	1－0	藤枝姉妹
焼津Q	1－0	高洲中
朝宮女子	12－0	藤枝女子
大井川中	0－0	豊田ミ
藤枝FB	5－0	高洲中
藤枝姉妹	2－0	豊田ミ
焼津Q	2－0	大井川中
朝宮女子	2－1	高洲中

鈴木路子レポート③ イギリスから世界へ

イギリスでフットボール協会（FA）が設立されて以来、ルールについての話し合いは幾度となく行われました。第一回大会が行われました。カップ制度は各クラブや選手の励みとなり、勝者に授与されるメダルは最大の目標となったのです。さらに一八八八年にはウィリアム・マグレガーの提案で、リーグ戦がスタートしました。

FAができたとは言え、グラウンドやレフリー、服装などについて、すぐに徹底されていったわけではありません。



アム・オルコックによって勝ち抜きトーナメントであるFAカップが考案され、翌七二年の五回の会合でハッキングを禁止するルールを決める時、ブラックヒースクラブは男らしさがなくなると反対しました。反対案は棄却され、結局ブラックヒースクラブは協会から脱会し、一八七一年のラグビー連盟結成へと向いました。

一八七一年、当時のFAの事務局長チャールズ・ウィリ

初めのころのグランドは、ゴールに二本の柱を立て、その間にロープを渡しただけで、ラインも外側のタッチラインがあるだけでした。ゴールネットは一八九〇年ころから使われ始め、ネットを張ることにより、得点が確実に認められるようになりました。

ユニフォームも、ズボンの裾をストッキングの中にたし入れるだけの時代から、一八八〇年代には、おしゃれな選手は、長袖の丸首ジャージにニッカーボッカーといったスタイルでした。

その後サッカーは、イギリスの産業、貿易の拡大により急速にヨーロッパ大陸に広まり、さらに移民として渡った実業家や労働者を通して南アメリカにも広まっていきました。

次回からはいよいよ日本へ、静岡県へ、藤枝へと広まっていった様子を紹介していきます。

静岡県OB サッカーリーグ開催

八月二十六日、静岡県OBサッカーリーグが大井川町大井川河川敷グラウンドで行われた。試合結果は次の通り。

藤枝FC4－2新星クラブ
焼津飛魚7－1沼　津

中西部社会人リーグ

九月二日に三部Bリーグが終了し、三部リーグはABの同位どうしの順位決定戦を待つだけになった。

また、一、二部リーグもあと数節を残すだけとなり一部焼津信用、二部大井川役場の両チームが他チームをリードして首位、そして上位リーグ昇格をねらっている。

一部で、二年連続して首位のバンヤンヒューストンは、今年も内山、池田が同リーグ得点王（八月末現在）と気を吐いていたが、トラブルによ

り同リーグ終了を待たず、10位が確定した。

トラブルの内容は、一部チームに届かないために試合を行えなかったというものである。このため、今後変更内容は口頭でなく必ず文書でチーム代表者に届けるということが8月25日の実行委員会で確認された。

チーム代表者が、実行委員会に出席できなかったためにおこったトラブルであるが、首位を追走する同チームにとっては、実行委員会欠席が発端となった今回の処分は、非常に厳しいものとなった。

中西部社会人リーグとしては、試合だけでなくその運営母体である実行委員会への欠席においても断固たる態度であたることを表明したことになる。特に無断での欠席はいかなる理由からも弁解できないことになり、処分もありえることを代表者は認識し、常に2名以上の者が同実行委員会に出席する等の対策をとる必要に迫られているといえる。

チーム代表者の責任は、ますます重くなったわけであるが、これにより同リーグの運営は、その基盤を固めたともいえる。

焼津招待少年サッカー大会（決勝トーナメント）

（PK3－4）

▽三位決定戦
飯田　2－0　港

▽決勝
元城　2－1　関孫六

●優勝　元城（浜松市）
●二位　関孫六（岐阜県）
●三位　飯田（清水市）
●四位　港（焼津市）

▽一回戦
関孫六　5－0　島田第一
港　2－1　西八王子
飯田　0－0　麻機
（PK4－3）
元城　2－2　田子浦
（PK4－3）

▽二回戦
関孫六　2－0　港
飯田　4－4　元城

9月・10月の予定

少年団

- 9月16日
  第19回島田ＪＣ杯争奪少年サッカー大会（神座スポーツ広場）
- 9月23日
  第16回島田市小学生サッカーリーグ閉会式
- 10月7日、10日
  大井川招待サッカー
- 10月10日
  榛原郡少年団県大会予選リーグ開会式

中学

- 9月16日、10月14日
  藤枝中学、西益津中学、全日本ジュニアユース大会静岡県大会出場
- 9月19日
  中西部中学生サッカー部会
- 9月23日、24日
  第10回中西部地区中学1年生大会

高校

- 9月8日、15日、16日
  高校選手権予選（予選トーナメント）
- 9月24日、30日、10月1日
  予選リーグ

社会人

- 9月15日
  県ＯＢリーグ戦（草薙G）
- 9月15日
  県ＯＢ東西対抗戦（草薙G）
  県リーグ後期開幕
- 10月10日
  中西部ふれあいサッカーカーニバル（藤枝市民グランド）

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱　（三口）
▽㈱井川商店　（三口）
▽㈱中部エージェンシー　（三口）
▽㈱サンショップ　（二口）
▽松田園　（二口）
▽ダックユニオン㈱　（二口）
▽ヴィヴェール宇宙をこえた　（二口）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぱたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽鈴木食品工業
▽静穏倉庫
▽東洋オートバーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱P&P浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ペンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽蒔田製作所
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽杉寿
▽みなみ自転車
▽パール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光㈱（コンコルド大井川店）
▽原田造園㈱
▽㈲大杉組
▽喫茶　葦
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈲水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルペンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック欅
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ
▽㈲尾白弁当

■個人■

▽山口森三
▽松永　璋
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽鈴木啓文
▽池谷敏一
▽武田義邦
▽神戸晴士
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬　敬
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田　規
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫

10月10日は サッカーを考える日です。

TIGER　adidas　PUMA
Admiral　PATRICK　MIKASA
Kappa Sport　molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 054(641)1358代

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054-643-0500代

大河原建設株式会社
取締役社長　埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成2年9月9日から
志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になります。
焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、
054－6XX－電話番号です。
くわしくは、最寄りのNTT営業所または、
116番にお問合わせください。
NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 10

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎054-635-4651）

全国高校サッカー県大会
藤枝東・静清工がベスト8に

6年ぶりにこの中部から全国大会出場チームを

戦評と今後の展望
岡本　勇

第69回全国高校サッカー県大会は九月九日から第一次トーナメントを行い、ついで勝ち残った十六チームの第二次リーグ戦が九月三十日で終了し、決勝トーナメントに出場する八チームが決定した。今年は清水市商が日本サッカー協会の推薦で出場が決定しており、第二代表を争い熱戦が繰り広げられた。中西部地区の高校では総体ベスト4の静清工が第一シードに選ばれた他、第二シードに藤枝東、第三シードに藤枝北が選考され、総体準優勝の清水東をはじめ、東海大一、藤枝東の中から優勝校がでるのは間違いないだろう。藤枝東は、第二次リーグまで負傷者も多く、本来のスピードと粘りが十分に発揮されなかったが、ベストコンディションで臨めば、優勝できるチームであり、期待が持てる。また静清工も初の決勝トーナメント進出であるが、試合ごとに実力校に負けない守備力をつけており、得点力さえ加われば、大物食いも夢ではないだろう。県代表は十一月十七日に決定するが、六年ぶりにこの中西部から全国切符を手にするチームが出ることを祈りたい。

目標は優勝！
藤枝東高

本年度のチームは、キャプテンの前田を中心に、攻守によくまとまった好チームで、優勝を目標としている。

この夏、第一回のＰＪＭカップを制し、九月以降のチーム状況は、良好である。

決勝トーナメントに臨んでは、二位に終った二次リーグの内容を反省し、それに見合った練習を重ねなければならない。清水東はもちろん、ベスト8に残った各チームを倒すためには、チームの特色を出し、自分たちの試合をすることが重要であろう。

そのためには、選手個々の集中力を高めて、トーナメントをむかえたい。十一月にむけて、チームの士気は、次第に高まっている。

一戦一戦を集中し、全力を出し切って戦えれば、おのずと良い結果が出るだろう。その力は十分持っている。


前田（前列左から四人目）、渡辺（二列目左から三人目）の国体選抜選手のいる藤枝東高チーム

◇ブロック別勝敗表◇

順位	Aブロック	静岡北	日大三島	橘	浜松東	勝点	得点	失点	点差
❶	静岡北		○3－0	○7－1	○3－0	6	13	1	+12
❷	日大三島	●0－3		△1－1	○3－0	3	4	4	±0
❸	橘	●1－7	△1－1		○1－0	3	3	8	−5
❹	浜松東	●0－3	●0－3	●0－1		0	0	7	−7

順位	Bブロック	清水東	藤枝東	静岡市立	沼津学園	勝点	得点	失点	点差
❶	清水東		○3－0	○4－0	○5－0	6	12	0	+12
❷	藤枝東	●0－3		○3－1	○5－0	4	8	4	+4
❸	静岡市立	●0－4	●1－3		○4－1	2	5	8	−3
❹	沼津学園	●0－5	●0－5	●1－4		0	1	14	−13

順位	Cブロック	磐田東	庵原	清水工	静岡西	勝点	得点	失点	点差
❶	磐田東		△2－2	○2－1	○5－0	5	9	3	+6
❷	庵原	△2－2		○2－1	○4－0	5	8	3	+5
❸	清水工	●1－2	●1－2		○3－0	2	5	4	+1
❹	静岡西	●0－5	●0－4	●0－3		0	0	12	−12

順位	Dブロック	東海大一	静清工	富士	聖隷学園	勝点	得点	失点	点差
❶	東海大一		△1－1	○2－0	○4－0	5	7	1	+6
❷	静清工	△1－1		△1－1	○2－0	3	2	2	±0
❸	富士	●0－2	△1－1		○2－2	2	3	5	−2
❹	聖隷学園	●0－4	●0－2	△2－2		2	2	6	−4

【リーグ戦順位決定方法】①勝点②得失点差③総得点④当該チーム勝敗⑤抽選※上位２校は決勝トーナメント進出

静清工業高
岩田要司監督

インターハイではベスト4が、チーム状態は決して良い状態ではなく、二次リーグに入ってからは、その実力のどれくらいの力が出せたか疑問視をしました。事実、富士高・聖隷学園戦で二引き分けをした時は、ある程度の覚悟をしていました。しかし、最終戦の東海大一高戦では、選手全員が一縷の望みをたくし、全力を出しきってくれて何とかベスト8の仲間入りを果たすことができ、ホッとしています。いよいよ、決勝トーナメントへ進出できますが、選手も我々も初めての体験です。持てる力を十二分に出し、上位に進出できるよう努力したいと思います。それにはディフェンスの強化と得点への意欲をもたせ、このチームの特徴である「気迫」を胸にがんばりたいと思います。


静清工高

国体選抜選手の横顔

前田仁崇君
藤枝東高三年、島田一中出身
▼身長　一六五センチ
▼体重　五十七キロ
▼ポジション　DF
▼プレーの特徴　読みの良いディフェンス、状況を判断しての攻撃参加
▼国体への決意　一試合でも多く出場し、自分本来のプレーをして、チームに貢献したい。

渡辺　毅君
藤枝東高三年、西益津中出身
▼身長　一八〇センチ
▼体重　七十二キロ
▼ポジション　FW（選抜チームではDF）
▼プレーの特徴　高いボールには絶対の自信がある。ゴール前での得点感覚に秀れる。
▼国体への決意　DFでプレーすることになると思うが、相手FWを完全に抑えたい。特に空中戦は、全て勝てるようにしたい。また、チャンスがあったらオーバーラップして得点をねらいたい。

鈴村路子レポート④
日本中に広がるサッカー

蹴球、つまりサッカーが日中国に5－0、フィリピンに15－2と大敗、しかし、技術は、諸説あるようですが、明治六年（一八七三）、築地の海軍兵学校寮で、イギリス人の海軍軍人ダグラス少佐以下三十名余りが訓練の合間に教えたのを最初とみるのが一般的なようです。イギリスでFAが設立されてから、およそ十年後のことです。その後、明治十年、蹴球は体育伝習所の教科の一つに取り入れられました。体育伝習所はのち東京高等師範学校に吸収され、同校は東京文理大↓東京教育大↓筑波大となりました。

明治三十四年、スコットランド出身の英語講師デ・ハビラントが東京高等師範学校に赴任、熱心に蹴球を指導しました。卒業生は全国に教師として派遣されていきますから、次第に日本各地に蹴球が広まりました。このように、日本のスポーツの多くは学校教育の中で発達してきたのです。

大正六年（一九一七）、東京芝浦で第三回極東選手権大会が開かれ、日本代表チームとして東京高等師範学校が出場、初の対外試合でしたが、一部、二部十二校の連盟戦が始まりました。中でも東京帝大（現東大）は、大正十五年以来東都カレッジ戦六連覇の強さを誇り、西の関学と黄金時代を築きました。

日本での蹴球の普及はロンドンにも伝わり、大正八年、英国大使館の書記官ヘイグの骨折りで、FAから大銀杯が寄贈され、これを機会に大正十年、正式に「大日本蹴球協会」が創設され、昭和四年（一九二九）に国際蹴球連盟（FIFA）に加盟しました。

昭和六年、おなじみの「三本足カラス」の日本蹴球協会マークが考案されました。次回はこの三本足カラスの由来と、それに関わりある戦国武将のお話をしましょう。



一部リーグ 三年ぶり雨中の戦い

藤枝日清紡の好意により、雨中のグラウンド使用が解禁となった。解禁後の9／16、30は、それを待っていたかのような台風等による大雨の中の試合となった。これにより、1部リーグも焼津信用対バンヤンヒューストンの1戦を残すだけとなった。これは、全勝の焼津信用に対して、今季降格が決定したものの、1敗で2位につけているバンヤンとの事実上の優勝決定戦となる。バンヤンは、得失点差で焼津信用を上回っているため、勝では事実上の優勝となるため両雄の意地と意地のぶつかりあいの好試合となることが期待される。尚、試合は10月21日(日)の2時より藤枝の日清紡グラウンドで行われる予定である。



焼津信用金庫二年連続 五支部リーグ戦へ



昨年に続いて中西部社会人リーグの代表として焼津信用金庫サッカー部が県リーグ昇格をかけて県下各支部の代表としのぎを削る5支部リーグ戦が10／28に藤枝市民グラウンドを皮切りに行われる。今年こそと力のこもる阿井チーム代表に、今年の抱負とチームの紹介をしてもらった。是非優勝し昇格してもらいたいと、中西部社会人リーグでも応援をしている。

焼津信用金庫 チーム紹介

焼津信用金庫サッカー部は金庫職員で構成されたチームです。

我がチームは、昨年に引き続き中西部リーグ支部代表となり、県二部リーグ昇格をかけ、十月二十八日から始まる五支部リーグ戦にいどみます。昨年の五支部リーグ戦は初戦に破れ、波に乗れませんでしたが今期はチーム力もアップし支部リーグも全勝で終わりました。

それでは今期の我がチームのメンバー紹介をします。

▼経験は浅いが勇気あるプレーでゴールを守る長谷川（27才）

▼ディフェンスの要でスイーパーの小西（33才）

▼長身で空中戦に強い増田（34才）

▼堅実なディフェンスとオーバーラップの得意な朝羽（34才）

▼積極的なディフェンスに加えゲームメイクもできるサイドバックの堤（26才）

▼冷静にゲームを指揮する阿井（31才）

▼キープ力、シュート力があり攻撃の起点となる柳本（24才）

▼若いがセンスあるプレーで得点にからむ原崎（23才）

▼運動量が多くドリブルの得意な加藤（25才）

▼フォワードは、スピードある突破から得点にからむ生将の山内（30才）

▼左右に幅広い動きを見せ、ドリブルからのシュートを得意とする小畑（26才）

オーソドックスな試合運びをするチームであるが、個々の能力は高くイレブンの力が結集した時には爆発的な力を発揮する。

〈監督評〉

攻守の切り換えを早くし、集中力を切らさないゲーム運びをすれば、五支部リーグ優勝の力は充分期待できる。今期は必ず県リーグ二部昇格し、金庫並びにサッカー部OBの支援に応えたい。

来期はさらに有望新人の加入が期待でき、選手層に厚みができチームアップが期待できる。

〈焼津信用サッカー部プロフィール〉

▽部員数　30名（平均年齢30才超）▽マネージャー10名

▼発足S45年

▼中西部一部リーグ、焼津市社会人一部リーグ、大井川ナイターリーグ所属、県信用金庫大会9連覇中

中西部社会人リーグ3部終了

3部Bリーグ対戦成績表

チーム名	イワズ矢崎ゆワイターズ	藤々産業	バルテール	ユンケルFC	オカモト	東海パルプ	遠州機源	夢盟	津村順天堂	勝数	敗数	分数	得点
矢崎ゆワイターズ		1－2●	6－2○	5－0○	1－2●	8－1○	2－1○	3－0○	0－3●	5	0	3	10
藤々産業	2－1○		3－2○	6－0○	2－2△	4－0○	1－4●	8－3○	1－1△	5	2	1	12
バルテール	2－6●	2－3●		4－0○	2－3●	0－0△	0－2●	4－1○	1－2●	2	1	5	5
ユンケルFC	0－5●	0－6●	0－4●		0－2●	0－3●	0－7●	2－0○	0－△	1	1	6	3
オカモト	2－1○	2－2△	3－2○	2－0○		2－4●	2－3●	1－2●	3－2○	4	1	3	9
東海パルプ	1－8●	0－3●	0－0△	3－0○	4－2○		0－1●	2－0○	2－3●	3	1	5	7
遠州機源	1－2●	4－1○	2－0○	7－0○	3－2○	1－0○		5－2○	4－1○	7	0	1	14
夢盟	0－3●	3－6●	1－4●	0－2●	2－1○	1－2●	2－5●		1－4●	1	0	7	2
津村順天堂	3－0○	1－1△	2－1○	0－0△	2－3●	3－2○	1－4●	4－1○		4	2	2	10

先に終了していたAリーグがあるだけなく、同チームに続き、Bリーグも9月9日を以て終了した。これをうけて行われた「3部リーグA、Bの順位決定戦」で遠州機原、ニシダFCが昇格することが決が、ニシダFCを退けて優勝定した。尚、得点王は、Aリーした。昨年の連絡ミスによるグ前島秀基（岡部キッカー権試合、降格という危機を乗り越え、チームとしての基盤を再構築しての優勝は価値ズ）。Bリーグ堀田則昭（藤々産業）となった。

◎以下は、3部Bリーグの結果と3部リーグの順位表

◇順位決定戦結果

一、二位

遠州機原2－0ニシダFC

三、四位

テクニシャンズ5－0藤々産業

◇リーグ順位

一位・遠州機原▽二位・ニシダFC▽三位テクニシャンズ▽四位・藤々産業▽五位・東海積水・矢崎ゆワイターズ▽六位・岡部キッカーズ・津村順天堂▽七位・島田信用・オカモト▽八位・富士フィルム・東海パルプ▽九位・島田理化・バルテール▽十位・共立印刷・ユンケルFC▽十一位・夢盟

審判更新について

九月二十九日（土）三級審判員登録更新とルール改正について、講師に村松幸雄氏を迎え講習会を行った。

登録更新の書類が未提出の人は十月二十五日までに

▼登録用紙（写真貼付二枚）

▼審判手帳

▼封筒（自分の宛名入五枚・切手不要）

▼登録料・通信費二千円

を添えて中西部審判委員会委員長、岡崎正弘さん宛に送付ない場合は、三級登録が抹消となる。

※今回の更新手続きがなされ

第四回東海四県 母親サッカー 大会予選

〈決勝〉

焼津Q 0（0－1 0－0）1 沼津

藤枝姉妹 2（1－0 1－1）1 沼津

女子県リーグ 第四節

焼津Q 1（0－1 1－0）1 常葉大学

藤枝姉妹 1（1－0 0－0）0 沼津

桐葉高校 1（1－0 0－0）0 中洲

第12回全日本女子サッカー選手権 静岡県大会

サッカーを考える アンケート結果

以下は、十月十日の「藤枝のサッカーを考える日」の企画によって行ったアンケート（七百六十一人）の集計結果である。

一、あなたは藤枝がどの様な街であってほしいと考えますか。

①サッカーの街　42％

②文化都市　31％

③市民グランドについて　27票

◇使用の開放　◇改善（芝・スタンド・ナイター設備）　10票

◇総合グランドの早期実現・雨天でも使えるグランド・ナイター設備の充実・芝グランド・宿泊・合宿施設　71票

◇藤枝のシンボルとなるサッカーグランド　54票

◇駐車場の拡張　8票

四、学校グランドについて

①拡張、改善　10票

②開放・特に雨天の場合　8票

Ⅱ、組織について

①現状に満足している。　17票

②組織づくりにおいて

◇よく理解できない。　13票

◇開放された組織にしてほしい。　11票

・実力者をトップにたてる。

③組織運営について

◇お金のかからない運営努力　7票

◇行政とのタイアップ　6票

◇クラブ組織の導入　6票

・子供たちのことを考えた組織運営

④組織活動において

◇小中高のつながり強化　11票

◇FCの見直し　9票

・底辺を拡げる努力・有意義な企画（好試合・サッカー教室）・試合、大会が多すぎる

Ⅲ、指導者について

①満足・感謝している。　55票

②指導者として

◇先生が指導者に・専門の指導者（有資格者）　19票

・一流プレイヤーによる実技指導

③指導者に関して

◇良い指導者の充実育成　42票

◇人数が少ない　21票

・行政、組織より指導者に経済援助・指導者の待遇改善・市より指導者の派遣・学校によって指導者が偏っている。　27票

②スポーツの街　67票

三、あなたはサッカーをやったことがありますか。

①子供の頃　37％

②学生時代クラブ活動　14％

・社会人リーグ・現役の選手（一度もプレーしたことがない）37％

四、あなたもしくはお子さんがサッカーをされることによって何を望みますか。

①体づくり　23％

②団体行動　23％

③サッカーの楽しさ・厳しさ・根性　22％

④指導法について

◇勝負にこだわらず楽しいサッカーの指導　22票

◇技術だけでなく精神面の指導　20票

・小中高の一貫した指導・個性を大切に長所を伸ばす指導・全員を平等に愛情を持った指導・全員を試合に出してほしい・学年に応じた指導・基本を大切にした指導

⑤指導者に対して

◇スポーツ傷害等の勉強をしてほしい。　10票

◇練習の終了時間が遅い。　10票

・子供、親とのコミュニケーションを大切に。

Ⅳ、学校について

①満足している。　13票

②学校に対して

◇学校としても理解協力してほしい。　82票

◇先生を参加させてほしい。　31票

・高校進学（清水等への流出）

◇資金援助　23票

・指導者育成・指導者派遣・市民参加できるレジャーとしての企画、PR・現状でよい

七、藤枝のサッカーに対するお考えをお聞かせください。

①藤枝は、

◇サッカーの街でありたい。　58票

◇市をあげてサッカーに取り組む街　39票

◇楽しいサッカーができる街　30票

②藤枝のサッカーを強くするには、

◇指導者の育成強化　17票

◇底辺の拡大　12票

◇藤枝サッカーの確立　11票

・小中高の一貫した指導体制を過保護にしている

Ⅵ、行政について

◇スポーツ振興への積極的な活動　34票

◇行政の理解、協力を求める。　26票

◇行政からの援助を求める。　24票

・全国大会等のレベルの高い大会を実施する・サッカーをもっとPRする・全国大会には出場するチームをつくる・サッカー関係のイベントを企画する・学校の協力を得る・地元にプロチームをつくる。

1年生大会中西部地区予選結果

リーグ	リーグ戦結果		
A	西益津2－0藤　枝	西益津7－0小　川	藤　枝8－0小　川
B	焼　津2－1広　幡		
C	六　合0－9金　谷	六　合1－2豊　田	金　谷14－0豊　田
D	御前崎雨天中止大井川	御前崎0－6大　洲	大井川0－2大　洲
E	初　倉0－2相　良	初　倉0－5高　洲	相　良5－0高　洲
F	附島田2－3島　二	附島田1－4　港	島　二2－3　港
G	瀬戸谷0－9岡　部	瀬戸谷0－2青　島	岡　部8－0青　島
H	吉　田2－1榛　原	吉　田6－0東益津	榛　原8－0東益津
I	島　一0－1大　富	島　一1－0青　北	大　富1－0青　北
J	大　村6－1葉　梨	大　村10－1和　田	葉　梨1－1和　田

さなるカップ争奪 第11回静岡県中学一年生サッカー大会

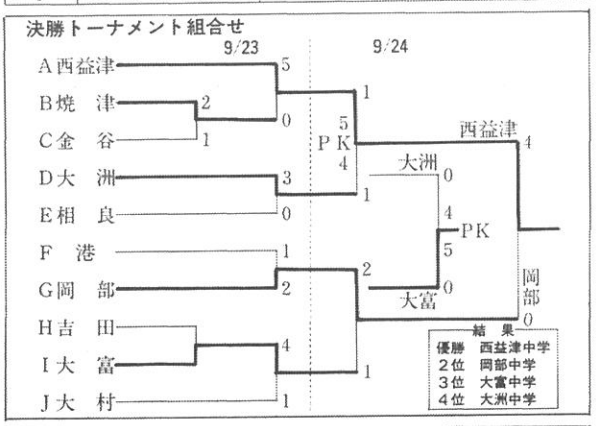
西益津、大富、岡部が代表に

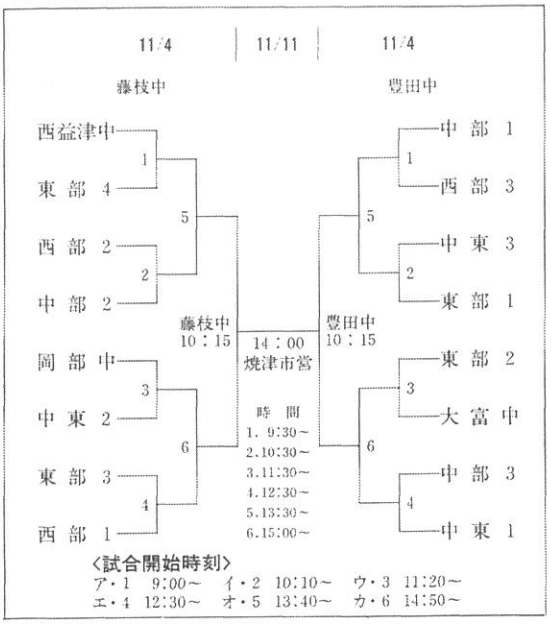
来たる十一月四日よりさな一益津中、大富中、岡部中が予るカップ争奪第十一回静岡県選を勝ち抜き、出場が既に決中学一年生サッカー大会が開まっている。活躍を期待した催される。中西部からは、西い。


西益津中チーム

活躍の期待される西益津中

チームのプロフィール（注目する選手、特色）　フォワードの10番滝本を軸に両サイド塚口、山下からのオープン攻撃を得意とするチームである。中盤の組み立ても、青島、久保田、増田らのパスワークにより相手DF陣をくずし得点に結びつけたいと思う。DFの要は長身の小沢であるが、パスカットの読みの早い選手で、対敵動作も上手である。小学校の時に県ナンバーワンのチームに輝いているので、全力を尽くし、今一度優勝杯をものにしたい。





一年生大会 予選決勝

西益津中 4（2－0） 0 岡部中

▼個人技術が高く、ショートパスをつなぐ西益津中学校とスピードのあるドリブルとロングパスで勝ち上がった岡部中学校との対象的なチーム同志の決勝戦となった。

試合は個人技に優る西益津中が主導権をにぎり、九分西益津中⑤上口のセンタリングを⑦青島が決め、前半二十二分岡部中の自殺点と前半で早くも勝負を決めた。後半、岡部中もディフェンスがよく守ったが、2点を取られ、4対0で西益津中が優勝した。

第2回静岡県ジュニアユースサッカー全国大会予選 途中結果

九月十六日、浜松聖隷学園高校グランドで一回戦四試合が行われた。

結果は次の通り。

東海一中（中部代表）
2－0
丸塚中（西部代表）

藤枝中（ふれあいカップ）
2－1
清水六中（中東部代表）

聖隷ユース（県クラブ代表）
2－1
西益津中（中西部代表）

清水五中（県総体優勝）
7－0
富士根南中（東部代表）

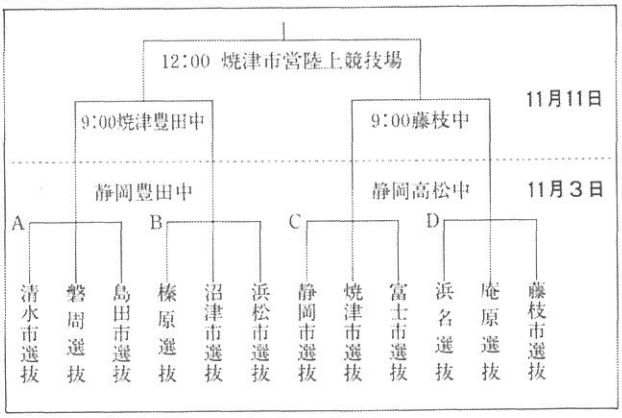
▼寸評

藤枝中対清水六中は前半無得点で終了したが、後半の立ち上がりに藤枝中は左サイドから村松がセンターリング。それをゴール前の混戦から安藤が押し込んで先取点をあげた。さらに二十分、右オープンに出たパスを安藤がドリブル突破し、シュートを決めた。三十分には、清水が右からのセンターリングを走り込んで決めたが、終始押した藤枝の順当勝ちであった。

西益津中対聖隷ユースの試合は前半西益津中の守備の甘さから2点を失った。後半に入って西益津中の動きが良くなり、再三にわたって相馬を中心にシュートを放ったが、1得点に終わり惜敗した。

準決勝、決勝は十月十四日に聖隷高校グランドで行われる。

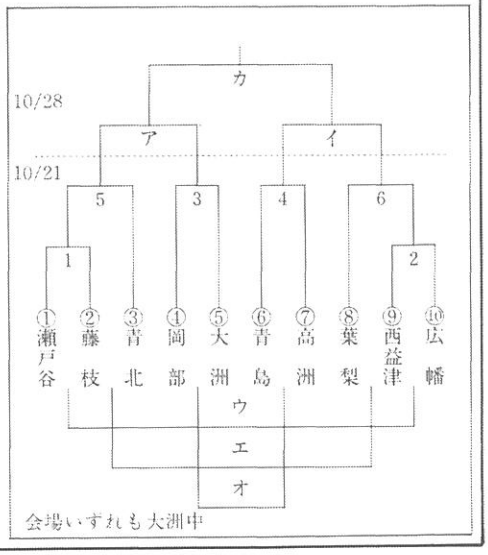
第44回県民スポーツ祭 第17回静岡県地区中学選抜サッカー大会 組み合わせ



11月3日

静岡豊田中会場（A，B）		静岡高松中会場（C，D）
9：00	清水－磐周（榛原）	静岡－焼津（富士）
10：10	榛原－沼津（清水）	浜名－庵原（焼津）
11：20	磐周－島田（浜松）	焼津－富士（庵原）
12：30	沼津－浜松（磐周）	庵原－藤枝（浜名）
13：40	清水－島田（沼津）	静岡－富士（藤枝）
14：50	榛原－浜松（島田）	浜名－藤枝（静岡）

藤岡地区新人戦組み合わせ



会場いずれも大洲中

第12回焼津市民スポーツ祭（少年、父親、母親の部）

決勝戦日程組み合わせ

11月3日㈷

試合	時間	部門
第1試合	8：00	6年準決勝
第2試合	9：00	6年準決勝
第3試合	10：00	3年生の部
第4試合	10：50	4年生の部
第5試合	11：50	母親の部
第6試合	12：40	5年生の部
第7試合	13：40	父親の部
第8試合	14：40	6年生の部

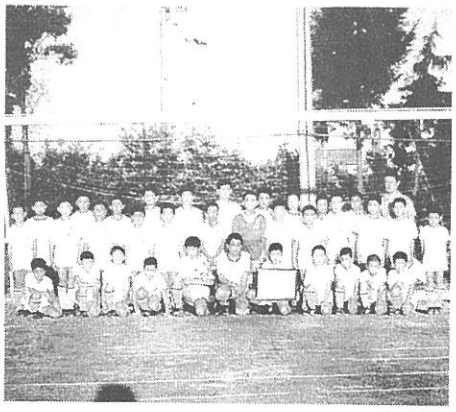
月日	予備日	部門	場所	
10月7日	10月10日	3年生の部	焼津南	
		4年生の部	港	東益津
10月28日		5年生の部	黒石	
		6年生の部	大富	
10月21日		父親の部	和田中	焼津西
10月21日		母親の部	和田中	焼津西
11月3日		各部の決勝		

広幡サッカースポーツ少年団 県表彰を受ける

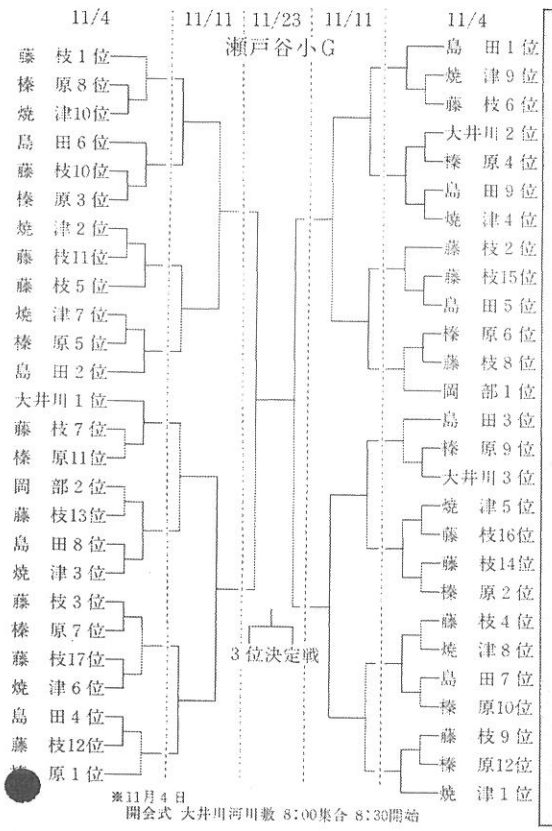
広幡サッカースポーツ少年団（代表 川本剛久、団員59名）は、去る七月二十六日に県総合庁舎で行われた静岡県道路利用者会議の席上で県表彰されました。

「サッカーを通じ団員相互の親睦を図ると共に協調性と社会への奉仕の精神の寛容を目的とし、昭和五十八年から年一～二回、広幡小の通学路の空き缶・空きびん・ごみ拾いを行なって道路の美化に努めている事」が認められた結果です。

また、五月二十日に広幡小周辺の通学路で交通防止キャンペーンを兼ねた美化運動を行い、空き缶・空きびん拾いを実施した事が、五月二十一日の静岡新聞に記載されました。



第9回 松永杯争奪 中西部少年サッカー選手権大会（組み合わせ）



※11月4日
開会式 大井川河川敷 8:00集合 8:30開始

志太リーグ結果

【Aチーム】
①焼津豊田②大富③焼津南④大井川西⑤焼津西⑥小川⑦岡部⑧焼津東⑨東益津⑩港⑪大井川南⑫大井川東⑬黒石⑭朝比奈⑮和田

【Bチーム】
①大富②岡部③焼津西④黒石⑤港⑥焼津南⑦大井川西⑧大小川⑨焼津豊田・東益津⑪小川⑫朝比奈⑬焼津東⑭和田⑮大井川東

【Cチーム】
①焼津豊田②大富③焼津西④焼津南⑤港⑥東益津⑦岡部⑧小川⑨焼津東⑩黒石⑪大井川西⑫大井川南

島田JC杯 六合少年団優勝



島田リーグ 成績表・受賞者

順位 学年	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
3(D)	島二	神座	島一	六合	島三	島五	六合東	島四	
4(C)	六合	島五	島二	島一	島三	神座	六合東	島四	
5(B)	六合	島四	神座	島二	島一	六合東	島三		
6(A)	島四	島二	六合東	島三	六合	島一	神座	島五	大津

【得点王】▼六年 嘉茂弘揮（六合東）▼五年 青嶋 晶（六合）▼四年 新間貴文（六合）▼三年 宮野川一俊（島二）

【優秀選手】▼六年 三浦卓彦（島四）▼五年 山下修司（六合）▼四年 石岡奈穂子（島五）▼三年 鈴木 健（島二）

10月・11月の予定

少年団
- 10月7日～11月3日 第42回焼津市民スポーツ祭サッカーの部（少年3・4・5・6年、母親、父親）
- 11月4日・11日・23日 松永旗杯争奪中西部少年サッカー選手権大会（藤枝市）
- 11月4日 島田市チャイルドサッカー大会（大津小）
- 10月28日 第25回藤枝少年サッカーリーグ戦閉会式（青島北小G）

中学
- 11月3日 県地区選抜サッカー大会（高松中G、大里中G）
- 11月4日 県一年生サッカー大会（さなるカップ）藤枝中G、豊田中G
- 11月11日 県一年生サッカー大会（さなるカップ）準決・決勝（焼津市営G）
- 11月11日 県地区選抜サッカー大会準決・決勝（焼津市営G）
- 10月21日・28日 藤岡地区新人サッカー大会（大洲中）

高校
- 11月4日～ 高校選手権大会、決勝トーナメント
- 10月21日～ 国体サッカー 少年の部

社会人
- 10月21日 中西部社会人リーグ1部最終戦（藤枝日清紡G）
- 10月28日～ 県リーグ昇格 五支部対抗リーグ戦（藤枝市民G）

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■
▽大光自動車㈱ ▽㈱井川商店 ▽㈱中部エージェンシー ▽㈱サンショップ ▽松田園 ▽ダックユニオン㈱ ▽㈱中央防犯 ▽ウスイスポーツ ▽魚松 ▽㈱オオサワ ▽㈱小宮人形 ▽㈱ぽたじゅう ▽㈱山田組 ▽ケンスポーツ ▽大雄建設 ▽建設土木丸川組 ▽進建機材㈱ ▽鈴木食品工業 ▽静穏倉庫 ▽東洋オートパーツ㈱ ▽深津建設 ▽見崎設備 ▽村松工業㈱ ▽㈲上山化成 ▽㈱スウィングスポーツ ▽㈱藤枝事務器商会 ▽仲山鉄工㈱ ▽増田自動車工業 ▽フォトスタジオ85相馬 ▽焼津信用金庫 ▽お好焼こばやし ▽増田工業㈱ ▽初亀醸造㈱ ▽東海ガス ▽㈱永幸 ▽カットサロン・シダ ▽山田屋 ▽松風荘（海の家） ▽㈱P&P浜松 ▽八木石油 ▽ライフスポーツ ▽ペンションふじた ▽近藤スポーツ ▽㈱デザイン企画 ▽竹下冷市商店 ▽㈱尾坂工務店 ▽森本商店 ▽松乃屋食堂 ▽鈴木土建 ▽市野接骨院 ▽ねぎや酒店 ▽㈲エムテック ▽斉田管工㈱ ▽藤枝・高砂殿 ▽彬寿

■個人■
▽山口森三 ▽松永 臻 ▽和田三司 ▽青島武夫 ▽柴田二郎 ▽深津敏夫 ▽松田真平 ▽山本輝雄 ▽松永信夫 ▽八木敏夫 ▽杉本久雄 ▽鈴木啓文 ▽鈴木正治 ▽池谷敏一 ▽式田義邦 ▽神戸晴士 ▽宮崎作次 ▽中山春尚 ▽後藤美喜保 ▽平木理平 ▽滝本義三郎 ▽丸山慎也 ▽海瀬 敬 ▽鈴木昌則 ▽石上瞬二 ▽植田永二 ▽岩田 規 ▽斉藤寛之 ▽半田一雄 ▽樋渡温徳 ▽阿井利夫 ▽八木金平 ▽臼井郁夫 ▽みなみ自転車 ▽パール歯科医院 ▽東名自動車学校 ▽前田書店 ▽㈱飯塚工務店 ▽日新観光㈱（コンコルド井川店） ▽原田造園㈱ ▽㈲大杉組 ▽喫茶 華 ▽㈱さつき自動車 ▽マルニ民宿 ▽㈲水谷商店 ▽共栄社 ▽焼津信用金庫サッカー部 ▽カメラショップなかはら ▽杉本モーター商会 ▽小澤商店 ▽共立印刷 ▽タケダ ▽昭和建設 ▽岡歯科医院 ▽荒畑製作所 ▽服部歯科 ▽丸藤 ▽静岡特産組合 ▽静岡特殊車両 ▽ナショナルベンディング ▽高洲自動車整備工場 ▽スナック欅 ▽ホンダプリモ滝井 ▽ハイナンスポーツ ▽㈲尾白弁当



SSS サッカープロショップ 清水屋スポーツ㈱ TEL 054(641)1358㈹

HOTEL シルビア 〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48 TEL 054-643-0500㈹

大河原建設株式会社 取締役社長 埋田保夫 静岡県島田市4532 TEL 0547(36)2111

平成2年9月9日から 志太地区・静岡の市外局番を「054」に統一し市内局番は、「3ケタ」になりました。 焼津市・藤枝市・岡部町・大井川町のかた、 054-6XX-電話番号です。 くわしくは、最寄りのNTT営業所または、 116番にお問合わせください。 NTT静岡支店

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 11

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎054-635-4651）

高円宮杯第2回全日本ジュニアユース選手権東海大会
藤枝中優勝！全国大会へ



高円宮杯第二回全日本ジュニアユース選手権東海大会が十一月三日、愛知県刈谷市港町グランドで行われた。

中西部からは、県大会で清水五中を破った藤枝中が出場。藤枝中は一回戦、三重県代表の阿山中学校に七対〇の大差で勝った。前半十三分、左サイドを突破した太田のセンターリングをCF安藤が右足で見事な先制点を決めた。気をよくした藤枝中は安藤のハットトリック、太田の二得点二アシストなどの活躍で楽勝した。

決勝戦は岐阜県代表の江並中。前半十五分、CF安藤が左足で弾丸シュートを決め、先制した。安藤の四得点、太田の三アシスト、山田の二得点、小山のPKで準決勝同様、大差で勝ち優勝を決め、全国大会の出場権を獲得した。圧倒的な強さで優勝した藤枝中は全日本大会に出場する。

全日本大会は十二月二十三日、二十四日、二十六日、二十七日、東京・国立競技場、名古屋・瑞穂陸上競技場他において、全国地域代表・十二チームと、中体連全国大会上位四チームの計十六チームで日本一を競う。

試合結果

藤枝中 7（4-0 3-0）0 阿山中（三重）
江並中 3（1-1 1-0 1-0）2 鬼崎中（愛知）

▼三位決定戦
藤枝中 7（2-1 5-0）0 江並中
阿山中 9（3-0 6-0）0 鬼崎中

（藤枝中、江並中は十二月二十三日より本大会へ出場）

▼決勝

燃える藤枝中の選手たち



DF 2 谷下達也　GK 1 鈴木健児　コーチ 大野富夫　監督 滝本義三郎



MF 6 澤本貴司　DF 5 吉野友三　DF 4 丸山敦士　DF 3 本多広一



FW 11 村松初　FW 10 安藤達也　FW 9 太田渉　MF 8 小山淳　MF 7 山田暢久



GK 16 荒浪央嗣　MF 15 松本佳浩　DF 14 久保井大助　MF 13 小林慎吾　FW 12 増田真也

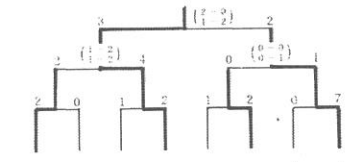
●全国大会を目指して

ストライカーに成長したCF安藤。左右のタッチラインを縦横無尽に突破するチャンスメーカー太田。攻守の要として運動量豊富な山田。状況に応じたテクニックを発揮する小山（二年生）。状況判断抜群の守備を誇る吉野が最終ラインをまとめる。藤枝中イレブンの特徴は、個性豊かで自己を表現するプレイヤーが多く、意外性のある攻撃ができる。守備陣は冷静で堅実なプレーヤーが多く、攻撃に厚みを加える。

全体的にバランスのとれた好チームに成長した。

全日本大会では優勝を目指して、藤枝の名を全国にとどろかせるようがんばりたい。

第二回全日本ジュニアユースサッカー選手権
静岡県大会
藤枝中、清水五中を下し優勝！



優勝　藤枝中学校（東海大会へ出場）
二位　清水第五中学校

第二回全日本ジュニアユースサッカー選手権静岡県大会が九月十五日、十月十四日の二日間、浜松聖隷高校グランドで行なわれた。

この大会には、六月の県中学選手権優勝そして八月の県中体連優勝の清水五中、東海中体連で優勝し全国中学校サッカー大会出場の東海第一中学校、そして各支部推せんの五チームと、県クラブ代表一チームの計八チームで行なわれた。

準決勝に進出した藤枝中学校は県中体連大会で敗れた東海一中と対戦した。

この試合、藤枝中は立ち上がりから積極的に攻撃をしかけたが、前半十分東海一中の反撃にあい、先取点を決められた。しかし、藤枝中はMFの山田、小山、沢本の動きがよく、前線の太田、安藤に再三好パスを送り、チャンスを作った。そして十八分、左サイドからパスを受けた太田がドリブルで中央突破し、見事なシュートを決めた。さらに三十分、MF山田がハーフラインからドリブル突破、右サイドからセンターリングをあげ、ニアーポストに飛び込んだ太田がヘディングシュートで逆転した。

後半に入って東海一中は五分、エース伊藤がシュートを決め、同点に追いついた。

流れが東海一中に移ったかに見えたが、藤枝中は十分、MF山田が東海一中のクリアしたボールを拾い、二十メートルのロングシュートを決めた。さらに途中から出場した村松が三十分に得意の左足でミドルシュートをゴールに突き差し、強豪の東海一中を見事に破った。

藤枝中の決勝戦の相手は、実力ナンバー1と言われる清水五中であった。

藤枝中は準決勝で元気のなかったCF安藤が前半五分、ドリブルで左サイドに持ちこみ、センターリングをMF沢本がゴール右すみに見事なシュートを決めた。

さらに二十五分、バックスからのパスを受けた安藤がドリブル突破、左サイドの太田にスルーパスを出し、太田がディフェンダーとせりあいながらゴール左すみへ素晴しいシュートを決めた。

後半に入って五分、左FWの村松がドリブルし、走り込んだMF小山にパス、相手DFをかわし、右足でシュートを決め三対〇と突き放した。

清水五中は積極的な攻撃をしかけ、藤枝中DFのファウルでPKを決めた。さらに二十五分、ゴール前に混戦からシュートを決め、一点差になった。

藤枝中はSW吉野を軸に、谷下、本多、丸山らの粘り強い守備で勝利を飾り、県チャンピオンとなった。

中西部新人サッカー大会
榛原郡予選 結果（中学）



榛原郡秋季大会（中学）
サッカーの部 開催

（南）会場 榛原中学校

	御前崎	吉田	榛原	相良	順位
御前崎		△ 1-1	× 0-1	△ 1-1	3
吉田	△ 1-1		○ 2-1	○ 8-0	1
榛原	○ 1-0	× 1-2		○ 5-0	2
相良	△ 1-1	× 0-8	× 0-5		4

（北）会場 金谷中学校

	金谷	川根	中川根	順位
金谷		○ 10-0	○ 6-0	1
川根	× 0-10		× 0-2	3
中川根	× 0-6	○ 2-0		2

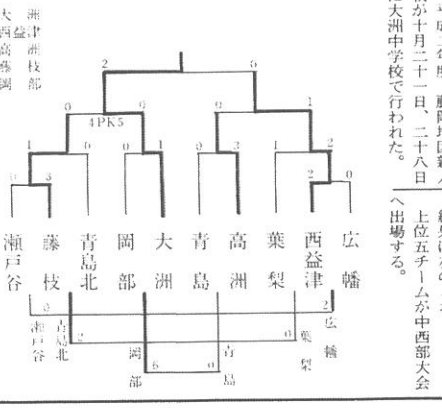
（南北別で開催）

藤枝・岡部地区
中学校新人戦 結果

平成二年度、藤岡地区新人戦が十月二十一日、二十八日に大洲中学校で行われた。

結果は左のとおり。

上位五チームが中西部大会へ出場する。



第25回藤枝市少年サッカーリーグ閉幕

平成二年度の第二十五回藤枝市少年サッカーリーグ戦が、五月三日の開幕から十月二十八日の閉幕まで十節によるリーグ戦が行われた。藤枝市内の全小学校より、五十五チームが参加し、三年から六年までの各学年別に分かれての一回戦総当たりのリーグ戦が熱戦の連続で行われ、六年生の部では藤枝中央小チームが十度目の優勝を全勝（十六勝〇敗）でかざった。また五年生の部では西益津小、四年生の部は高洲南小、三年生以下では藤枝中央小が優勝。

「サッカーの町・藤枝」にふさわしいハイレベルなサッカーを各学年共見せてくれた。

一部の学年では、応援が加熱しすぎた面も見られたが、無事大会が終了出来た事を祝いたい。大会運営に当たったリーグ委員会の皆様、半年間本当にご苦労様でした。



第25回藤枝市少年サッカーリーグ戦順位表

	藤枝市市長杯争奪戦	藤枝市ロータリークラブ杯争奪戦	藤枝市サッカー協会会長杯争奪戦	藤枝市サッカー協会少年団連盟杯争奪戦
	6年の部	5年の部	4年の部	3年の部
1	藤枝中央第1	西益津B	高洲南	藤枝中央第1
2	西益津	青島北	藤枝中央	青島東
3	藤枝	藤枝	葉梨	葉梨西北
4	藤岡	青島東	青島東	葉梨
5	高洲南	葉梨	西益津	西益津
6	葉梨	広幡	青島北	青島北A
7	広幡	藤枝中央	瀬戸谷	藤枝
8	大洲	藤岡	青島	青島北B
9	青島北	高洲	高洲	藤枝中央第2
10	稲葉	大洲	藤岡	青島
11	藤枝中央第2	瀬戸谷	稲葉	高洲南
12	瀬戸谷第1	葉梨西北	大洲	
13	葉梨西北	高洲南	広幡	
14	青島東	西益津A		
15	青島			
16	瀬戸谷第2			
17	高洲			

榛原冬季リーグ戦開幕

榛原サッカー少年団の冬季リーグ戦は、NTTカップ第23回静岡県サッカースポーツ少年団大会の予選を兼ね、十月十日に開幕しました。

開幕にあたり九時より、第一製薬グランドで開会式が挙行されました。榛原サッカー協会の半田会長の挨拶に続き来賓の金谷町の鈴木教育長と、主催者側を代表してNTT静岡支店の増井副支店長より心温まるお言葉をいただきました。その後、選手を代表して自彊サッカースポーツ少年団中村主将より力強い選手宣誓があり、十一月下旬まで続く、熱戦の火ぶたが切られました。

なお、上位四チームが県大会に出場します。

途中結果（10／28現在）

	勝	負	分		勝	負	分
金谷Ⅰ	4	1	1	細江	1	3	0
金谷Ⅱ	0	4	1	川崎	3	2	0
五和	3	2	1	坂部	0	5	1
自彊	4	0	2	勝間田	0	3	1
吉田中央	3	0	1	相良	2	1	1
住吉	1	3	0	白羽	4	0	2

第9回チャイルドサッカー大会

十一月四日行う予定であった将来楽しみな子供まで様々た第九回島田チャイルドサッカー大会が、あいにくの雨で十一月二十五日㈰に延期になった。

親にしても、自分の子供をはサッカーを始めて最初に出場できる小学二年生以下の大会となっている。キック、ドリブル、トラップとまったく技術が身についていない子供達とともにサッカーというスポーツのよさを感じてもらうことを趣旨としている。



藤枝市少年サッカー教室　名簿

平成二年十月二十二日～平成三年三月十一日

〈役員・指導者〉

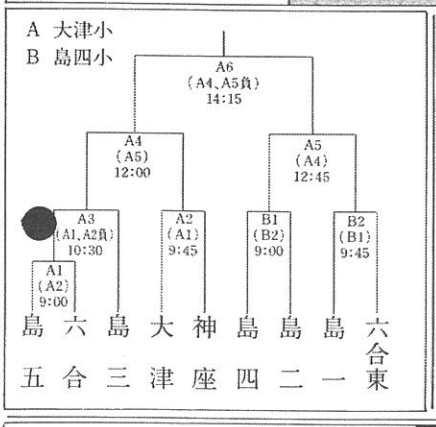
▽代表者・FC・山本輝雄▽代表指導者・FC・山田　晃▽庶務・瀬戸谷サッカー少年団・岡村卓志▽会計・藤岡サッカー少年団・小澤正吉▽以下コーチ▽藤岡サッカー少年団・浜村金隆▽青島北サッカー少年団・柳田幸雄▽稲葉サッカー少年団・高松孝司▽広幡サッカー少年団・河守正記▽青島サッカー少年団・増田英夫▽葉梨サッカー少年団・小柳仁志▽FC岸　茂樹▽FC・江端進吾▽青島東サッカー少年団・大石　巌▽藤枝サッカー少年団・内藤洋介▽葉梨西北サッカー少年団・伊藤博敏▽FC・雄井善治▽高洲南サッカー少年団・川村高則▽西益津小・落合一昭▽高洲サッカー少年団・曽根俊夫▽藤枝養護学校・大石俊二▽西益津サッカー少年団・山本俊夫▽大洲サッカー少年団・相馬強市▽葉梨サッカー少年団・岡村　茂▽青島北サッカー少年団・吉水　学▽瀬戸谷サッカー少年団・勝治博幸▽藤枝中央サッカー少年団・大畑福治

〈六年生〉

▽牧田武彦（GK）▽池谷隆宏（M）▽村松洋助（M）▽曽根宏文（FW）▽大石友芳浩（FW）▽下田剛平（M）▽渡辺由喜男（M）〔以上藤枝〕▽滝下田宅摩（FW）▽渡辺由喜男（F）▽鈴木走司（DF）▽吉一（FW）▽滝　正晴（FW）〔以上瀬戸谷〕▽山口岳（M）高洲▽濱村裕亮（M）〔以上藤枝中央〕▽鎌田雄之（FW）稲葉▽西村和真（F）▽田中洋右（FW）〔以上藤岡〕▽青島良介（M）▽小柳津清智（GK）▽小針富隆（DF）▽鈴木啓介（FW）▽山本直哉（FW）▽鈴木和義（DF）〔以上青島東〕▽石川竜也（FW）▽小沢征敏（M）▽池田進▽杉山暢彦（DF）▽柴田善久（DF）▽池田和博（FW）▽増田雄也（M）▽高林信博（DF）▽名取栄治（DF）▽増田雄也（M）▽高林信作（FW）▽曽根宣章（FW）〔以上西益津〕▽青島健二（DF）▽小川隆志（DF）▽伊藤有紘（GK）▽池谷斉也（DF）▽佐藤雄介（FW）〔以上青島北〕

〈四年生〉

▽太田真嗣（FW）▽大畑篤（GK）▽福永大介（MF）▽曽根淳史（FW）▽大石雅也（MF）〔以上藤枝中央〕▽土屋悠哉（FW）▽杉本祐治（MF）▽杉村高幸（GK）〔以上高洲南〕▽鈴木秀明（MF）▽内藤博展（FW）▽鈴木洋平（FW）〔以上大洲〕▽伊藤敏秀（DF）▽藤江省吾（FW）▽大塚智紀（GK）〔以上葉梨〕▽安倍圭太（GK）▽小針将司（FW）▽山本　匠（FW）〔以上藤枝〕▽木村敏哉（FW）▽山本祐也（DF）▽平井　隆（DF）▽内藤康介（MF）▽田中巧哉（FW）〔以上青島東〕▽岩堀洋平（MF）▽杉本和也（DF）▽吉村開二（DF）▽杉山智昭（MF）▽山梨純平（FW）〔以上高洲〕▽松下高士（FW）〔以上西益津〕▽大畑雅紀（FW）青島北



第23回静岡県サッカー少年団大会　志太支部予選

（11月25日、12月9日）

（Aブロック）志太リーグ戦
1位チーム会場（大富グランド）

試合時間	対戦チーム
9：30	焼津西－朝比奈
11：00	大　富－朝比奈
12：30	大　富－焼津西

（Bブロック）志太リーグ戦
2位チーム会場（焼津豊田グランド）

試合時間	対戦チーム
9：30	東益津－黒　石
10：30	岡　部－豊　田
12：00	岡　部－東益津
13：00	豊　田－黒　石
14：30	岡　部－黒　石
15：30	豊　田－東益津

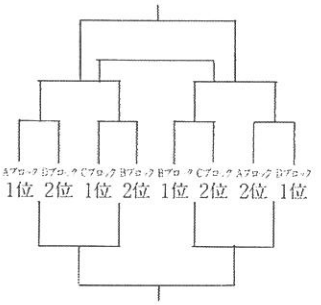
（Cブロック）志太リーグ戦
3位チーム会場（大井川西グランド）

試合時間	対戦チーム
9：30	大井川西－和　田
10：30	大井川南－焼津南
12：00	大井川南－大井川西
13：00	焼津南－和　田
14：30	大井川南－和　田
15：30	焼津南－大井川西

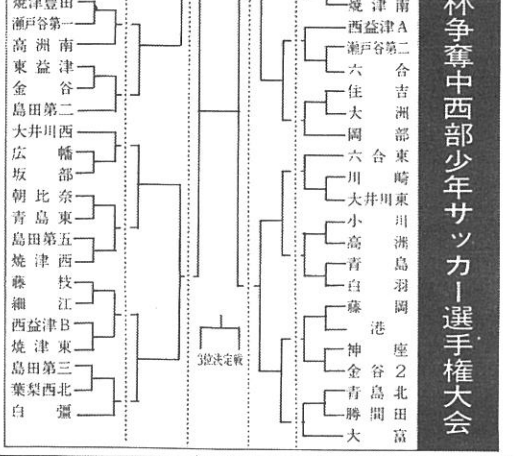
（Dブロック）志太リーグ戦
4位チーム会場（小川小グランド）

試合時間	対戦チーム
9：30	焼津東－大井川東
10：30	港　－小　川
12：00	港　－焼津東
13：00	小　川－大井川東
14：30	港　－大井川東
15：30	小　川－焼津東

●第２日目（トーナメント戦）
日時　平成２年12月９日㈰（予備日12月16日）
会場　大井川河川敷グランド



第9回松永杯争奪中西部少年サッカー選手権大会



藤枝市民サッカーフェスティバル
藤枝のサッカーを考える

パネルディスカッション●開催
桑原氏（PJM監督）を招いて

藤枝市サッカー協会は十月一と一貫した指導体制をつくっていくことが課題としてあげられた。一方清水は、昭和四十年代後半より藤枝に勝つということから世界を目指す組織体制づくりが行われた。協会理念として"ゆりかごから墓場まで"を掲げ、育てる風土、競う風土、楽しむ風土、世界を目指す風土といった方向性を持ち、その為に協会として何をすべきかを考え行動していったと報告された。

指導者の育成、指導者の条件、FC・TCの役割、子供達の育成等について約一時間にわたって討議され、藤枝としての数々の問題点が課題として浮きぼりにされた。最後に藤枝サッカー協会理事長より今後の課題として、

一、一貫性ある指導体制をつくりあげる。

二、協会の事務所の設置

三、四万人規模の収容能力を持つスタジアム建設を行

いプロチームの誘致が掲げられた。また清水サッカー協会理事長は、『組織は根であり選手は花である。良い花を咲かせるには良い根がなくてはならない』と述べ、知識は大切だが知識を使う知恵が大事であり、サッカーにおいても子供達にサッカーの技術を教えることだけでなく生活を指導することが大事であるというアドバイスがなされた。

二部はPJMフューチャーズ監督・桑原勝義氏を招いて講演会を行なった。監督の今までの貴重かつ豊富な体験を通して、自分がやりたい事を夢みてその夢の実現のために努力すれば必ず夢は実現する。そして一流の選手になるには、三つのポイントがあり

一、Ability（素質・能力）

二、Ambition（大志・向上心）

三、Attitude（心がまえ）

コーチから教わるだけでなく自分で上手になっていかなくてはならない。

また、二年後のプロリーグ発足に向けフランチャイズとして藤枝を考えていることを発表し、マラドーナの獲得にも意欲的に動いていること、九割以上の感触を得ていることも話された。これが実現できれば藤枝にとってもサッカーを通じての市の活性化が行われるであろう。

そして最後に監督の言葉として"鮮やかに想像して、熱烈に望んで、心から信じて、魂をこめ、熱意をもって行動すれば何事も必ず実現する"という言葉でしめくくられた。

東海リーグ全日程終了
中央防犯の日本リーグ入りに期待

◇東海社会人サッカーリーグ最終成績◇

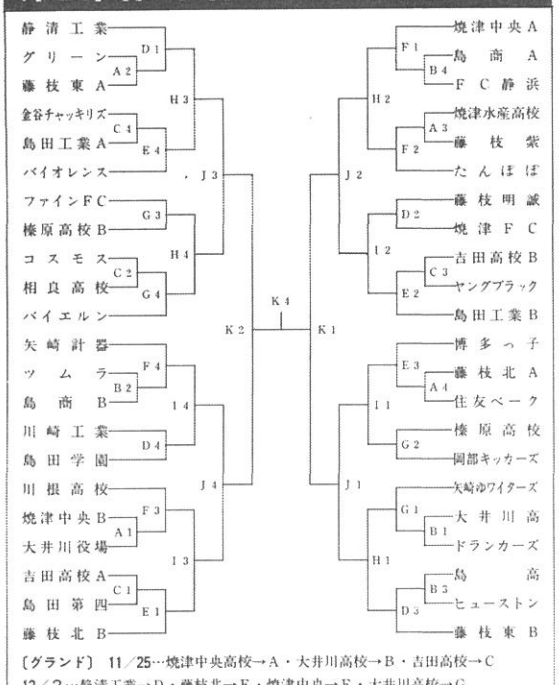
	順位	チーム名	勝点	勝ち	分け	負け	得点	失点	得失点
上位リーグ	①	西濃運輸	29	14	1	1	39	11	28
	②	中央防犯	20	9	2	5	28	20	8
	③	藤枝市役所	19	7	5	4	27	19	8
	④	ヤマハク	17	7	3	6	26	21	5
	⑤	ジャトコ	17	7	3	6	31	27	4
	⑥	豊田工機	14	6	2	8	21	29	−8
下位リーグ	⑦	日本電装	19	8	3	5	36	23	13
	⑧	芙蓉ク	17	5	7	4	22	21	1
	⑨	マルヤス工業	15	5	5	6	23	25	−2
	⑩	名古屋ク	10	3	4	9	18	30	−12
	⑪	トヨタ蹴球団	10	2	6	8	13	33	−20
	⑫	静岡ガス	5	1	3	12	11	36	−25

【最終個人成績】
▼得点　①平口一利（藤枝市役所）8点①荻原直樹（ジャトコ）8点③田代正信（ヤマハク）7点③川上靖（中央防犯）7点③松井毅（西濃運輸）7点⑥三枝正和（ジャトコ）6点
▼アシスト　①吉川修（西濃運輸）10点②望月利利（ジャトコ）7点③望月昭秀（ジャトコ）6点④荻原直樹（ジャトコ）5点④井上和彦（ジャトコ）5点④ジャイール（中央防犯）5点


▶アシスト四位　ジャイール


◀得点王　平口一利

平成2年度
第21回松永杯中西部選手権大会



〔グランド〕 11／25…焼津中央高校→A・大井川高校→B・吉田高校→C
12／2…静清工業→D・藤枝北→E・焼津中央→F・大井川高校→G
12　9…藤枝東→H・藤枝北→I　12／16…藤枝東→J　12／23…未定→K

昨年Aブロックベスト4とBブロック一位をこの中西部地区の学校で独占した教育長杯が、今年も始まった。

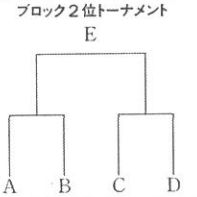
この大会は、県下の学校教職員が、各学校単独でチームを組み、どの学校の教員チームがサッカーの上で最強であるかを競い合うものである。

今年は、何と県下で二百十五校が頂点をめざすマンモス大会となった。

尚、Aブロックで争うのは過去に県大会出場または前年Bブロックベスト4以上の学校チームである。この中西部でエントリーし、地区予選を行なっているのは次にあげる各チームである。今年も上位を独占するとの期待が高まっている。

【Aブロック】▼A　吉田小・中、大洲小・中、榛原高工業高、青島中、葉梨小・中、▼B　大井川中、藤枝東高、藤枝南高、大富中　▼C　相良中、牧島田学園高　▼C　西益津小・中、島田高、良高、御前崎中、相良小、自彊小　▼D　大井川高、之原小・中、相良小、自彊小　島田工業高、岡部小・中　▼D　藤枝養護、吉田高、榛原中、金谷中、金谷高　▼E　（各ブロック一位は県大会へ、第五代表Eとしてブロック二位トーナメントを行なう。）　島田商業高、島田四小　▼F　川根高、島田一中、島田二中、【Bブロック】▼A　藤枝明誠高、藤枝西高、藤枝北高、焼津中、焼津中央高、豊田中、焼津水産高、小川小・中、焼高洲中、藤枝中　▼B　静清

ブロック2位トーナメント



第22回教育長杯争奪
教職員サッカー大会
開幕

●中西部社会人リーグ
一部終了する



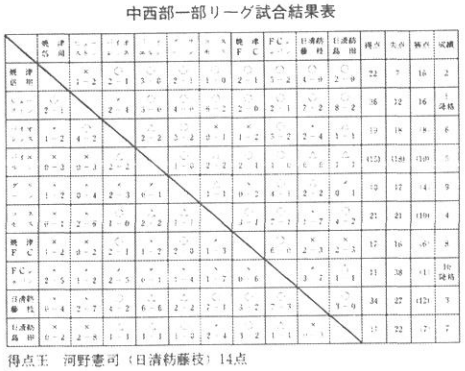
十月二十一日に、藤枝日清紡グラウンドにて一部リーグの最終戦が行われた。この試合は、それまで全勝の焼津信用と連絡ミスにより同リーグ最下位との裁定を受けたものの一敗で成績の上では二位につけていたバンヤンヒューストンの事実上の優勝決定戦であった。

好天の中、勝てば事実上の優勝となるバンヤンと、全勝で五支部リーグ戦参入をねらう焼津信用の意地と意地のぶつかりあいとなった。先手をとったのは焼津信用の柳本。バンヤンは優勢に試合を進めるものの攻めあぐむ状態が続いた。しかし、前半終了近くPKをバンヤンの森田が決めて同点となった。このあと、一進一退の好ゲームが展開された。

後半、同リーグ首位を決める貴重なシュートをバンヤンの内田がゴールにおしこんだものの、終了間際に今度はバンヤンがPKをとられ、絶体絶命のピンチをむかえることになった。同点にすれば優勝の焼津信用だったが、GK吉田は、阿井の放ったシュートをファインセーブし、二対一でバンヤンの得失点差による同リーグ首位の成績となった。


▶バンヤンGK吉田

中西部一部リーグ試合結果表



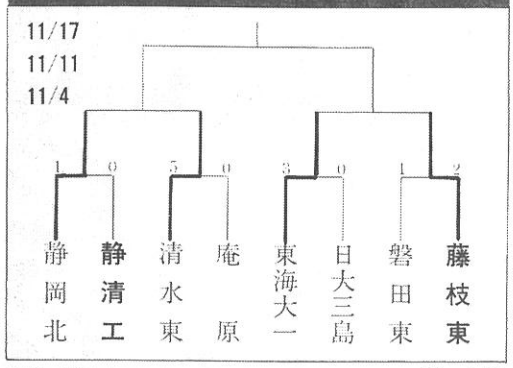
得点王　河野憲司（日清紡藤枝）14点

第13回
全日本女子サッカー選手権
静岡予選結果

▼準決勝
焼津Q 2（1-1 1-0）1 桐葉高校
清水第八 2（1-0 1-0）0 藤枝妹
▼決勝
清水第八 8（4-1 4-0）0 焼津Q

優勝した清水第八は東海大会出場が決定した。準決勝の清水対藤枝の試合は、GK大塚の攻守により二点におさえることができたが、決勝では実力の差が随所に見られた。まだまだ清水の壁は厚いようだ。

全国高校サッカー選手権静岡県大会決勝トーナメント



鈴村路子レポート⑤
三本足の烏のいわれ

昭和六年六月三日の理事会で採用された日蒙子実三氏考案の日本蹴球協会旗章は、よそ六十年たった今も、新生日本代表のユニフォームや、優勝賞状に使われており、少しも古さを感じさせない斬新なデザインです。このマークに使われている三本足の烏がいわれについて、今回お話しましょう。

中国は漢の時代の「淮南子」という書に、太陽の中に三足烏が、月にはウサギとヒキガエルがいると記されており、また、日本では神武天皇を大和（奈良県）へ先導したという熊野（和歌山県）の八咫烏の伝説があり、三足烏にはなじみがありました。「優名類聚鈔」という平安時代に編纂された日本で一番古い百科事典にも、この烏について書かれています。

こうした中国や日本の故事から、ボールを押さえた三足烏は、日本のサッカー界を統括、指導するシンボルとされたのです。烏の背景の黄色は公正を、ふちの青は青春を意味しています。

ところで、日本の戦国時代、八咫烏を旗印に、鉄炮を以て三足烏で結ばれている。考えてみると不思議ですね。

いずれにしても、三足烏のついた賞状を、一枚でも多く皆さんが手にすることと、このマークを胸につける選手が一人でも多く出ることを心から願っています。


雑賀孫市の紋（八咫三足烏）


日本サッカー協会の旗章

藤枝市長旗争奪
サッカー定期戦

第10回藤枝東高校対藤枝北高校サッカー定期戦が十月十日藤枝市民グランドサッカー場で行われた。試合結果は次の通り。

藤枝東2（1－1／1－1）2藤枝北

また、同グランドで行われた第5回静清工業高校対明誠高校サッカー定期戦の結果は、

静清工7（3－0／4－0）0藤枝明誠


静清工 VS 明誠

県スポーツ祭高校の部（一年生大会）
中西部地区代表の藤枝東・吉田の四校決勝へ!!

本年度、県スポーツ祭高校の部（一年生大会）が、十月七日、静岡工グラウンドで行なわれ、中西部地区代表の藤枝東（市の部）、吉田（町村の部）の両校は、順調に決勝へとコマを進めた。

藤枝東は、初戦の清水東を早めのチェックと速攻で圧倒し、3－1と破った。続く磐田東戦も終始ゲームの主導権を握り、2－0と完勝した。

吉田は、庵原のスピードに悩まされながらも、相手GKのミスにつけ込むしぶとい攻めを見せ、3－2と逃げ切った。

なお両チームは十一月二十三日に、藤枝東は静岡北と、吉田は韮山と各々決勝で対戦する。両チームの健闘を期待したい。

藤枝東3（0－0／3－1）1清水東

吉田3（1－1／2－1）2庵原　藤枝東2（1－0／1－0）0磐田東


藤枝東 VS 清水東

11月・12月の予定

少年団
- 11月11日、18日、23日
  第9回松永杯争奪中西部少年サッカー選手権大会（藤枝市）
- 11月23日
  中西部少年サッカー指導者研修会（藤枝市民会館第一会議室）
- 11月23日、25日、12月2日、9日
  第23回静岡県サッカー少年団大会、藤枝・島田地区予選会（藤枝市）
- 11月25日
  榛原サッカー少年団冬期リーグ戦閉会式（第一製薬G）
- 12月2日
  第16回島田市ジュニア（3年生以下）サッカー大会（六合東小他）

中学
- 11月25日
  県ジュニア選考会（聖隷高校G）
- 11月23日、12月2日
  中西部新人戦準決勝・決勝（西益津中他）
- 12月23日、24日、26日、27日
  第2回全日本ユースジュニア選手権（東京国立競技場）

高校
- 11月4日、11日、17日
  全国高校サッカー選手権大会静岡県大会決勝トーナメント
- 11月25日、12月2日、9日、16日
  第21回松永杯（社会人・高校）中西部選手権
  （中西部地区高校グラウンド）

社会人
- 11月11日
  榛南社会人町対抗選抜大会（第一製薬G）



特別賛助会員
（順不同）

■法人・商店■
- ㈱大光自動車（三ヨロ）
- ㈱井川商店（三ヨロ）
- ㈱中部エージェンシー（三ヨロ）
- ㈱サンショップ（三ヨロ）
- 松田園（三ヨロ）
- ダックユニオン㈱（三ヨロ）
- ㈱中央防犯（三ヨロ）
- ウスイスポーツ
- 魚松
- ㈱オオサワ
- ㈱小宮人形
- ㈱ぱたじゅう
- ㈱山田組
- ケンスポーツ
- 大雄建設
- 建設土木丸川組
- 進建機材㈱
- 鈴木食品工業
- 静穏倉庫
- 東洋オートパーツ㈱
- 深津建設
- 見崎設備
- 村松工業㈱
- ㈲上山化成
- ㈱スウィングスポーツ
- ㈱藤枝事務器商会
- 仲山鉄工㈱
- 増田自動車工業
- フォトスタジオ85相馬
- 焼津信用金庫
- お好焼こばやし
- 増田工業㈱
- 初亀醸造㈱
- 東海ガス
- ㈱永幸
- カットサロン・シダ
- 山田屋
- 松風荘（海の家）
- ㈱P&P浜松
- 八木石油
- ライフスポーツ
- ペンションふじた
- 近藤スポーツ
- ㈱デザイン企画
- 竹下冷市商店
- ㈱尾坂工務店
- 森本商店
- 松乃屋食堂
- 鈴木土建
- 市野接骨院
- ねぎや酒店
- ㈲エムテック
- 斉田管工㈱
- 藤枝・高砂殿
- 杉寿
- みなみ自転車
- パール歯科医院
- 東名自動車学校
- 前田書店
- ㈱飯塚工務店
- 自新観光㈱（コンコルド大井川店）
- 原田造園㈱
- ㈲大杉組
- 喫茶 華
- ㈱さつき自動車
- マルニ民宿
- ㈲水谷商店
- 共栄社
- 焼津信用金庫サッカー部
- カメラショップなかはら
- 杉本モーター商会
- 小澤商店
- 共立印刷
- クケダ
- 昭和建設
- 岡歯科医院
- 荒畑製作所
- 服部歯科
- 丸藤
- 静岡特産組合
- 静岡特殊車両
- ナショナルベンディング
- 高洲自動車整備工場
- スナック欅
- ホンダプリモ滝井
- ハイナンスポーツ
- ㈲尾白弁当



■個人■
- 山口森三
- 松永 臻
- 和田三司
- 青島武夫
- 柴田二郎
- 深津敏夫
- 松田真平
- 山本輝雄
- 松永信夫
- 八木敏夫
- 杉本久雄
- 鈴木啓文
- 鈴木正治
- 池谷敏一
- 式田義郎
- 神戸晴士
- 宮崎作次
- 中山春尚
- 後藤美喜保
- 平木理平
- 滝本義三郎
- 丸山慎也
- 海瀬 敬
- 鈴木昌則
- 石上瞬二
- 植田永二
- 岩田 規
- 斉藤寛之
- 半田一雄
- 樋渡温徳
- 阿井利夫
- 八木金平
- 臼井郁夫

TIGER adidas PUMA Admiral PATRICK MIKASA Kappa Sport molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 054(641)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054-643-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長 埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成3年1月1日火午前2時より NTT
「東京03地域の」
「3ケタの市内局番が」
「3からはじまる4ケタに」
（例）03-740-□□□□のお客様の場合は、03-3740-□□□□となります。
市内局番4ケタ 東京新番号

中西部 ヤングサッカーニュース 1990 12

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎054-635-4651）

平成２年度静岡県民スポーツ祭　サッカー高校の部（１年生大会）

藤枝東が市の部で見事優勝

中西部地区代表 吉田（町村の部） 惜しくも二位

十一月二十三日、本年度静岡県民スポーツ祭＝サッカー高校の部＝決勝戦が行われた。本大会は、高校一年生大会として行われており、市の部で藤枝東が見事優勝を遂げた。

静岡南高グラウンドで行われた第一試合は、町村の部決勝戦。吉田高校と韮山高校が好試合を展開したが、ディフェンスの乱れをついて韮山が得点。吉田も健闘したが、そのまま終了。惜しくも二位に終った。

第二試合は、藤枝東が連続優勝をかけて静岡北と対戦。静岡北伊藤、鈴木らのテクニックに苦戦を強いられたが、スピードのある攻撃で相手ディフェンスをほんろう。着々と加点した。前半二対一で折り返した後半、激しい点の取り合いとなり、一点差に追い上げられた。藤枝東はそのキックオフから左サイドの小黒につなぎ、速いセンターリングを松本がダイレクトシュートで試合を決定づけた。

個々には光る選手もいた静岡北だが、藤枝東の闘志が上回った一戦であった。

韮　山 1（0-0 1-0）0 吉　田

藤枝東 5（2-1 3-2）3 静岡北

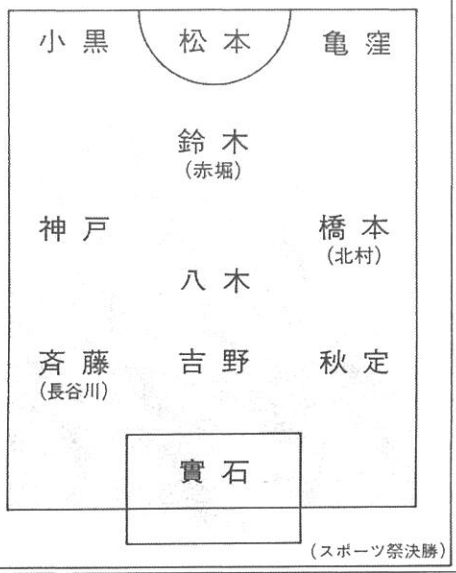
〈得点〉

藤枝東　松本4（鈴木）（小黒3）鈴木（松本）

静岡北　北条（なし）（鈴木）（PK）岡田（川口）



藤枝東ポジション



藤枝東メンバー

氏　名	出身中学
橋本　卓幸	青島北
長谷川剛士	岡　部
松本　剛明	港
斎藤　孝郎	和　田
小黒　祐輔	藤　枝
實石　知之	和　田
蒔山竜之助	葉　梨
赤堀　規和	島田一
吉野　友之	藤　枝
片山　康行	岡　部
加藤　一洋	吉　田
北村健太郎	東海一
鈴木　貴博	青　島
八木　吉幸	焼　津
梅原　洋二	西益津
亀窪慎太郎	藤　枝
秋定　実	西益津
神戸　大輔	藤　枝



「心にも余裕を」

中西部高校部長　河村　駿

十一月十七日の選手権を最後に平成二年の高校の大会が幕を閉じました。新人戦から始まり春のフェスティバル・県総体・夏期休暇に入っては県内外での大会・練習試合・遠征合宿・そして選手権第一次トーナメント・第二次リーグ・国体そして選手権第三次トーナメントと選手諸君はすべての力と精神を集中させ全力を出して頑張って来ました。又顧問の先生方もひたすら選手の期待と将来への夢をかなえさせんが為に精一杯の努力をかたむけてくれました。心からそのご苦労に感謝を申し上げたいと思います。

高校スポーツの人気は相変わらず高く、中でもサッカーに対しては格別です。それだけに高校生としては、やりがいもあり、プレッシャーも一段と強く感じます。ここ中西部地区の成績を見ても、優勝こそないが常に県の上位に勝ち残っています。高校レベルが落ちているというご指摘もございますが、決してそうは思いません。勿論いずれのチームも現在の成績に甘んじている訳ではなく、全チームが優勝をめざしている事はいうまでもありません。と同時に少年団・中学校と同じように高校も次のステップがあります。永いサッカー人生を送れるように細やかな指導をしております。高校時代に花が咲かなくとも、これからのサッカー人生の中で大きな花が咲けばすばらしい事だと思います。

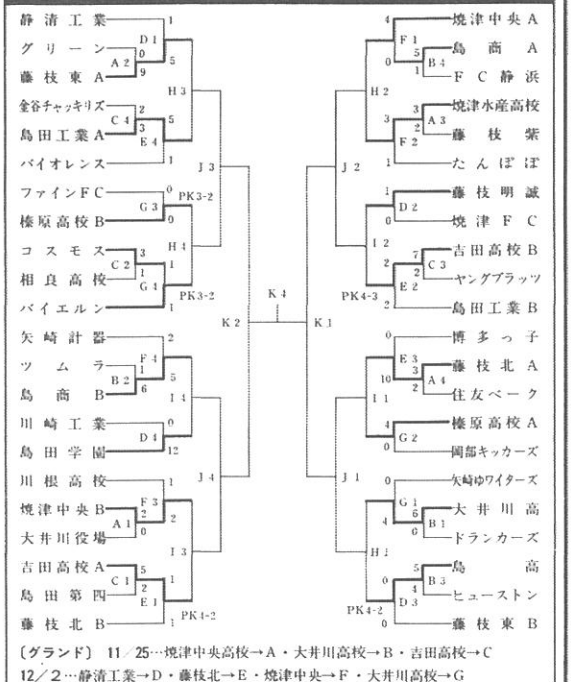
さて、各チームでも大会を終って選手・顧問共々一年をふり返って反省と平成三年にむけてのミーティングを終えた頃かと思います。私なりにいくつかのゲームを見た中で感じた事があります。その一つは、個人技術の習得が甘いと思います。高校生ではすべての個人技が厳しいプレッシャーの中で生きてこなければ実戦には適応できません。日頃の練習の中でもお互いに厳しいプレッシャーを与え、トップレベルのサッカーを想定して望んでほしい。

二つ目は、攻めに入った時の意識の甘さ、激しい攻めに対してディフェンスはいやなものです。ゴールが見えたら臆れ・ディフェンスに隙を与えず攻撃する「がめつさ」。

三つ目は、私が一番強く感じた事の一つです。それは精神面でも余裕を持ちたいという事です。ゲームでは十一名の選手がコートの中にいる訳ですが、性格的にもそれぞれ異っています。相手の選手によっては気持ちの上で負けてしまう事もあります。周囲の者が声をかけ、励まし、心を楽にしてやる事だと思います。一本の綱で結ばれたイレブンがお互いに助けあい、心のこもったプレーでいくらでもプレーが生きかえって来ます。来年に向け、今のうちに一つ一つの課題をこなし大きな夢に向って精進して下さい。

サッカーファンの皆さん、次代の中西部を背負っていく高校生に温かい声援と拍手を送ってください。高校時代でサッカーは終わった訳ではありません。これからの夢はもっと大きい。その夢を開かせるのはサッカーファン皆さんの励ましの言葉です。高校生はすべての面でまだ若い。皆さんで育てサッカーを選んだ事を誇りに思う若者が多くこの地に生まれるよう、ご協力をお願い申し上げます。

平成２年度 第21回松永杯中西部選手権大会



〔グランド〕 11／25…焼津中央高校→A・大井川高校→B・吉田高校→C
12／2…静清工業→D・藤枝北→E・焼津中央→F・大井川高校→G
12／9…藤枝東→H・藤枝北→I　12／16…藤枝東→J　12／23…未定→K

松永杯争奪中西部少年サッカー選手権

藤枝中央２度目のV


準優勝　焼津南


優勝した藤枝中央イレブン


4位　川崎

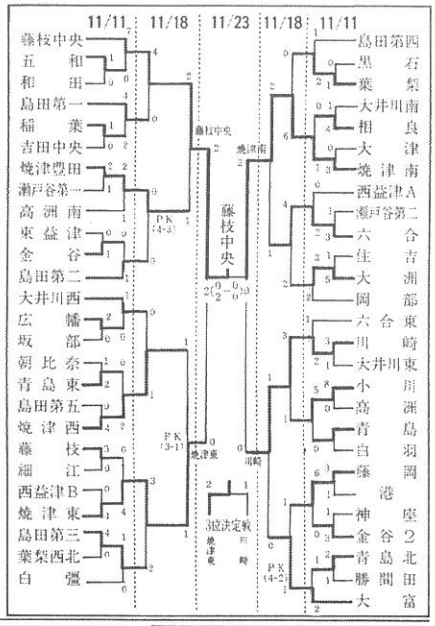

3位　焼津東

中西部地区サッカー少年団・十八日・二十三日の三日間最大のイベントである第九回松永杯争奪中西部少年サッカー選手権大会が、各地区から参加した五十三チームで藤枝市を主会場に十一月十一日開催された。

開催にあたり、十一日午前八時三十分より大井川町河川敷グランドで盛大に開会式が行われ、熱戦の火ぶたが切られた。

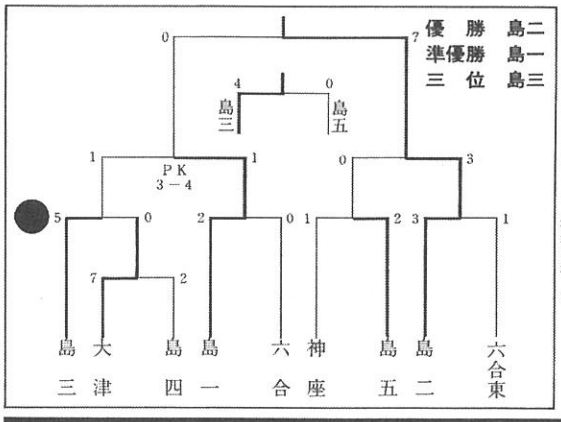
決勝戦では、藤枝中央と焼津南が激突し、後半十四分に先取点を奪った藤枝中央が十七分に追加点を入れ、焼津南をふりきり二度目の優勝を飾った。

なお、三位決定戦は、川崎が先行したが、後半焼津東が追いつき延長戦にもつれる熱戦になり、延長前半に一点を入れた焼津東が勝った。





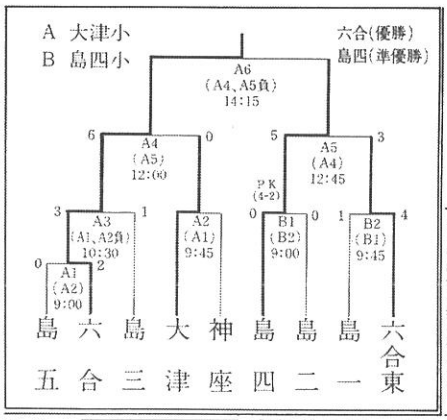
第16回 島田市サッカースポーツ少年団 ジュニア大会開催



十二月二日、第16回島田市サッカースポーツ少年団ジュニア大会が開催され、島田第二が優勝、準優勝には島田第一、三位には島田第三という結果に終った。

第9回 チャイルドサッカー大会 六合が優勝


優勝した六合サッカースポーツ少年団





中西部少年サッカー指導者研修会 今年も盛大に開催

中西部地域の少年サッカー指導者が「指導技術の向上」を目指し例年開催する研修会が今年は十一月二十三日に藤枝市民会館大会議室に一六〇人の指導者を集め行われた。

講師は、二人に依頼した。静岡学園高校サッカー部監督の井田勝通先生と、清水商業高校の名波浩選手である。

井田先生はビデオテープでの説明と共に熱く少年サッカー指導者の質の向上を話された。特に強く言われたのが、「少年期のサッカー指導に必要なのは試合での勝敗では無く、楽しく個人技（基礎）を教える事だ」と強調された。集った指導者に真剣に話され、感動した。又、名波選手は昼間の試合を終え、すぐ来てくれ、西益津小学校時代から現在までの感じた事を、話してくれた。特に少年期に「山田晃」という名指導者に教わった事が自分として最大限に成長出来た原因と話していた。

やはり小学生サッカーに必要な事は、「指導者の質の向上」が改めて確認され、勉強になった研修会であった。

二人の講師には、この紙面を借りてお礼申上げます。

第23回ＮＴＴカップ静岡県サッカースポーツ少年団大会開催
（藤枝・島田地区予選）

12月2日（NTTG）
Gブロック

	藤枝中央	大洲	広幡	勝	分	敗	順位
藤枝中央		○ 5－0	○ 2－1	2	0	0	1
大洲	● 0－5		● 0－1	0	0	2	3
広幡	● 0－2	○ 1－0		1	0	1	2

12月2日（高洲南G）
Iブロック

	西益津第1	高洲南	稲葉	勝	分	敗	順位
西益津第1		● 1－2	○ 4－1	1	0	1	2
高洲南	○ 2－1		○ 3－0	2	0	0	1
稲葉	● 1－4	● 2－3		0	0	2	3

Hブロック

	島田第三	藤岡	葉梨西北	勝	分	敗	順位
島田第三		● 0－3	○ 4－1	1	0	1	2
藤岡	○ 3－0		○ 3－1	2	0	0	1
葉梨西北	● 1－4	● 1－3		0	0	2	3

Jブロック

	島田第四	六合	青島北	勝	分	敗	順位
島田第四		○ 3－1	○ 1－0	2	0	0	1
六合	● 1－3		○ 3－2	1	0	1	2
青島北	● 0－1	● 2－3		0	0	2	3

榛原少年サッカー冬季リーグ戦閉幕 白羽が優勝

榛原少年サッカー冬季リーグ戦が十一月二十五日閉幕した。

この大会は、第二十三回ＮＴＴ杯静岡県少年サッカー選手権大会の予選を兼ねており、連日熱戦が繰り広げられたが攻守に安定した白羽が優勝を飾った。

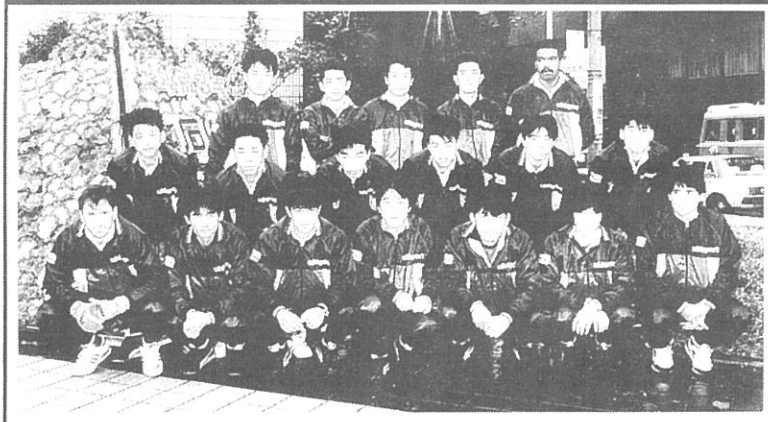
また二位には吉田中央、三位に自彊、四位は混戦から抜け出した五和が入り、この四チームが県大会の出場権を獲得した。

〈得点王（9点）〉
中村（自彊）・増田（五和）
・河村（相良）・西村（相良）
・藤浦（川崎）

順位	チーム	勝	分	敗
1	白羽	8	3	
2	吉田中央	8	2	1
3	自彊	7	3	1
4	五和	7	1	3
5	川崎	7		4
6	相良	6	2	3

順位	チーム	勝	分	敗
7	金谷Ⅰ	5	3	3
8	細江	3	1	7
9	金谷Ⅱ	2	2	7
10	住吉	1	2	8
11	静岡田	1	2	8
12	坂部		1	10

第26回全国社会人サッカー選手権大会
中央防犯　V2達成！



第二十六回全国社会人サッカー選手権大会が、平成二年十一月十日から十四日までの五日間、石川県金沢市で開催され、静岡県代表として中央防犯サッカー部が出場した。

中央防犯は一回戦シードの後、二回戦で関西代表の三菱自工京都と対戦。初戦でやや堅さが見られたが、前半十三分、FW青木がゲットすると波に乗り、五対一で二回戦を突破した。

三回戦（準々決勝）は、九州地区代表の三菱化成黒崎と対戦。昨年も三回戦で対戦し、一対〇で三菱を中央防犯は破っている。前半から激しい闘いとなったが、FW川上のハットトリックなどで八得点を挙げ、大勝した。

準決勝は関東地区代表の東京ガス。前半は互いに攻め合い、一対一で折り返した。後半十七分、カウンターから川上、遠藤がキーパーの頭上を抜く絶妙のシュートを入れ、二対一で東京ガスを退けた。

決勝は関東地区代表の茨城日立。準決勝で岐阜県代表の西濃運輸を一対〇で破り、波に乗っているチームである。

前半、互いに相手チームの出かたを見たためか、スローベースで決勝戦が始まった。

先手を取ったのは中央防犯。前半二十分、FW遠藤からのパスを受けたFW渡辺が右サイド二人のディフェンスをかわしセンターリング。そこへFW青木がタイミング良く飛び込みヘディングシュートを決め、一対〇とリード。これに対し茨城日立も三十分、中央防犯のクリヤーミスにつけ込み同点とし、前半を終了した。

後半開始から積極的に攻撃に出た中央防犯は、四十六分FW川上が巧みなドリブルでゴール前に切り込んだところを日立バックスがファウルし、中央防犯はPKを得た。これを難なく入れ、二対一とリード。勢いに乗る中央防犯は、五十二分にもFW青木がため押しとも思える三点目をたたき出した。茨城日立も反撃するが、中央防犯の粘り強いディフェンスを崩すことができず、三対一のままタイムアップを迎え、中央防犯が二年連続優勝を飾った。

■対戦成績■

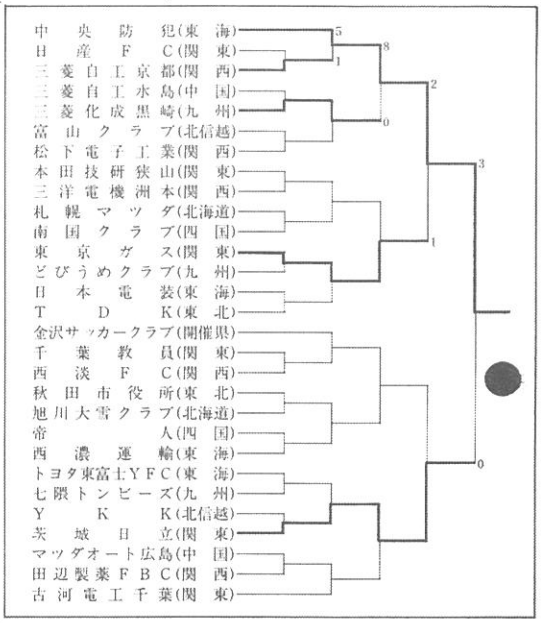
【一回戦】
シード

【二回戦】
中央防犯5－1三菱自工京都
▼得点者
青木（秋山）、遠藤（川上）、渡辺、大塚（ジャイル）、川上（ジャイル）

【三回戦】
中央防犯8－0三菱化成黒崎
▼得点者
川上（ジャイル）、川上（大塚、ジャイル）、石上（大塚、川上）、大塚、ジアス、ジャイル、川上（ジャイル）、ジアス

【四回戦】
中央防犯2－1東京ガス
▼得点者
自殺点、遠藤（川上）

【決勝戦】
中央防犯3－1茨城日立
▼得点者
青木（渡辺、遠藤）、川上、青木（川上）


海東
東西
関国
関州
信越
東関
関東
関東
北海道
四国
九州
東州
東海
北陸
関催
関東
関東
東北
東海道
四国
東海
東州
関越
関国
関中
関西
広島
千葉
日立
FF
ヒーリー
富士ゼロックス
東京ガス
ヨタ自動車
七十七銀行
茨城サッカークラブ
マツダ
古河電工
帝人
秋田銀行
淡路
鈴木
教員
FF
クラブ
電電
D
ヤマハ
ヤンマー
ヨネックス
三菱重工
三菱自工京都
三菱化成黒崎
三菱化成水島
三菱重工広島
三菱重工神戸
三菱重工横浜
三菱自工
三菱化学
三菱電機
三菱電機
三菱電機

全日本ジュニアユース・サッカー大会
藤枝中全国制覇に挑戦



山田暢久、安藤達也らを中心にカーの町復活をかけがんばっては、太田渉主将、吉野友三に全国優勝をめざして、サッてほしい。

ジュニア合宿参加候補選手決まる

県競技力向上ジュニア対策事業・通称ジュニア合宿の候補選手二十名が決定した。

この合宿は、毎年十二月二十四日から二十九日の五泊六日の日程で、静岡北高を会場にして開催される。県下の中学・高校を代表する計四十名の選手が、厳しいトレーニングを行う。

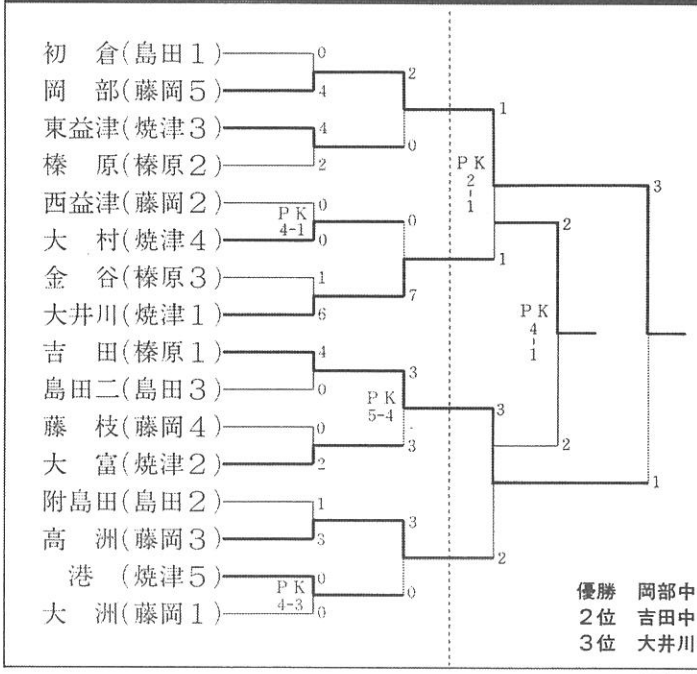
十一月二十五日にヤマハグランドにおいて選考試合が行われた結果、中西部地区からは次の選手が参加することになった。

■中学（二年生）■
小山　淳（藤枝中）全日本大会出場
小長谷　誠（大富中）GK
鈴木　淳（島田一中）DF
朝比奈　伸（大洲中）DF
青野朋章（大井川中）MF
和田大紀（大井川中）MF
市野光洋（大富中）FW
鈴木　康（吉田中）FW
■高校（一・二年生）■
小林秀多（藤枝東）
牧田一幸（藤枝東）
實石知之（藤枝東）
原田大治郎（静清工）

高円宮杯第二回全日本ジュニアユースサッカー選手権大会が東京・国立競技場を中心に十二月二十三日から二十七日の五日間行われる。

東海地域代表の藤枝中学校は、太田渉主将、吉野友三、

第６回中西部地区サッカー新人戦
岡部中初優勝



12月・1月の予定

少年団	• 12月16日 つま恋大会榛原予選（第一製薬） • 12月23、24日 ジュニア選手権大会榛原予選（第一製薬他） • 1月２日 焼津新春サッカーフェスティバル（大富小G） • 1月３、４日 島田ロータリー杯争奪少年サッカー大会（神座スポーツ広場） • 12月23日、24日、1月６日、13日 第６回静岡県ジュニア選手権大会、藤枝島田地区予選会（藤枝市内G） • 1月19日 ＮＴＴカップ第23回静岡県サッカースポーツ少年団大会代表者会議（藤枝市民会館）
中学	• 12月23日～27日 高円宮杯第２回ジュニアユース選手権（東京・神奈川・名古屋） • 12月25日～27日 京都招待サッカー大会 • 12月27日～29日 ＧＢＳ杯全国招待サッカー大会（岐阜） • 1月３日～４日 ＪＣ杯藤枝招待サッカー（藤枝中、青島北中） • 1月20日・27日 県新人サッカー大会（浜松市）岡部中、吉田中、大井川中出場
高校	• 12月９日・16日・23日 松永杯・サッカー大会 • 1月13日～ 新人戦、中部大会 • 12月～ ジュニア合宿
社会人	• 12月23、24日 全国ママさんサッカー大会（清水） • 12月16日 県女子サッカーリーグ戦（山崎新田）・教職員サッカー決勝（草薙） • 12月２日、16日 焼津ＯＢサッカー大会（焼津市営） • 1月４日、５日 県婦人フラミンゴ杯サッカー大会

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■
▽大光自動車㈱（三ヨ）
▽㈱井川商店（三ヨ）
▽㈱中部エージェンシー（三ヨ）
▽㈱サンショップ（二ヨ）
▽松田園（二ヨ）
▽ダックユニオン㈱（二ヨ）
▽ヴィヴィエル富士見（二ヨ）
▽㈱中央防犯
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽進建機材㈱
▽鈴木食品工業
▽静穏倉庫
▽東洋オートパーツ㈱
▽深津建設
▽見崎設備
▽斉田管工㈱
▽藤枝・高砂殿
▽村松工業㈱
▽㈲上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽㈱藤枝事務器商会
▽仲山鉄工㈱
▽増田自動車工業
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽初亀醸造㈱
▽東海ガス
▽永幸
▽カットサロン・シダ
▽山田屋
▽松風荘（海の家）
▽㈱Ｐ＆Ｐ浜松
▽八木石油
▽ライフスポーツ
▽ベンションふじた
▽近藤スポーツ
▽㈱デザイン企画
▽竹下冷市商店
▽㈱尾坂工務店
▽森本商店
▽松乃屋食堂
▽鈴木土建
▽市野接骨院
▽ねぎや酒店
▽㈲エムテック
▽みなみ自転車
▽バール歯科医院
▽東名自動車学校
▽前田書店
▽㈱飯塚工務店
▽日新観光㈱（コンコルド大井川店）
▽原田造園㈱
▽大杉組
▽喫茶　華
▽㈱さつき自動車
▽マルニ民宿
▽㈲水谷商店
▽共栄社
▽焼津信用金庫サッカー部
▽カメラショップなかはら
▽杉本モーター商会
▽小澤商店
▽共立印刷
▽タケダ
▽昭和建設
▽岡歯科医院
▽荒畑製作所
▽服部歯科
▽丸藤
▽静岡特産組合
▽静岡特殊車両
▽ナショナルベンディング
▽高洲自動車整備工場
▽スナック檸
▽ホンダプリモ滝井
▽ハイナンスポーツ
▽㈲尾白弁当
▽彬寿



■個人■
▽山口森三
▽松永　臻
▽和田三司
▽青島武夫
▽柴田二郎
▽深津敏夫
▽松田真平
▽山本輝雄
▽松永信夫
▽八木敏夫
▽杉本久雄
▽鈴木啓文
▽池谷敬一
▽式田義邦
▽神戸晴士
▽宮崎作次
▽中山春尚
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽滝本義三郎
▽丸山慎也
▽海瀬　敏
▽鈴木昌則
▽石上瞬二
▽植田永二
▽岩田　規
▽斉藤寛之
▽半田一雄
▽樋渡温徳
▽阿井利夫
▽八木金平
▽臼井郁夫

adidas TIGER　adidas　PUMA
Admiral　PATRICK　MIKASA
Kappa Sport　molten
SSS サッカープロショップ
清水屋スポーツ㈱
TEL 054(641)1358㈹

HOTEL シルビア
〒426 静岡県藤枝市稲川1丁目11－48
TEL 054-643-0500㈹

大河原建設株式会社
取締役社長　埋田保夫
静岡県島田市4532
TEL 0547(36)2111

平成3年1月1日(火)午前2時より　NTT
「東京03地域の」
「3ケタの市内局番が」
「3からはじまる4ケタに」
(例)03-740-□□□□のお客様の場合は、03-3740-□□□□となります。
市内局番4ケタ
東京新番号